



# SMART Board® MX | MX Pro

シリーズインタラクティブディスプレイ

## インストールおよびメンテナンスガイド

SMART Board MX (V4)シリーズ | SMART Board MX Pro (V4)シリーズ  
SMART Board MX (V3)シリーズ | SMART Board MX Pro (V3)シリーズ  
SMART Board MX (V2-C) シリーズ | SMART Board MX Pro (V2-C)シリーズ  
SMART Board MX (V2)シリーズ | SMART Board MX Pro (V2)シリーズ  
SMART Board MXシリーズ

(特定のモデルについては、16 ページを参照してください。)

IDX55-4 | IDX65-4 | IDX75-4 | IDX86-4 | IDX55-3 | IDX65-3 | IDX75-3 | IDX86-3 | IDX55-2 | IDX65-2 | IDX75-2 | IDX86-2 | IDX65-1 | IDX75-1 | IDX86-1



この文書は参考になりましたか？

[smarttech.com/docfeedback/171555](https://smarttech.com/docfeedback/171555)

**SMART®**



## 詳細

このガイド、および SMART Board MX および MX Proシリーズインタラクティブディスプレイ向けのリソースは、SMART ウェブサイトのサポートセクション ([smarttech.com/support](https://smarttech.com/support)) からご利用いただけます。お使いのモバイルデバイスでこのQRコードを読み取ると、リソースにアクセスできます。



ENERGY STARは政府が支援するエネルギー効率のシンボルであり、消費者や企業が十分な情報に基づいた意思決定を行うために頼りにできるシンプルで信頼性の高い公平な情報を提供します。ENERGY STAR認定製品はエネルギー効率のためのシンプルな選択肢であり、消費者と企業はコストを削減し、環境を保護しながら簡単に購入を行うことができます。米国環境保護庁 (EPA) は、そのラベルを取得した各製品が、ユーザーが期待する品質や、性能、そしてコスト削減を提供する事を個別に認定されている事を保証します。

ディスプレイは出荷された状態でENERGY STARのパフォーマンスとコスト削減を実現します。ですが、一部の設定を変更するとENERGY STAR認証に求められる制限を超えてエネルギー消費量が増加する可能性があります。例えば、明るさとコントラストを上げると消費電力が増加します。

ENERGY STAR以外の設定を選択する際は環境を考慮してください。

### 使用許諾契約



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI trade dress、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

### 商標表示

SMART Board、SMART Notebook、SMART TeamWorks、SMART Meeting Pro、Lumio、Object Awareness、smarttech、SMARTロゴ、およびすべてのSMARTタグラインは、米国および/またはその他の国におけるSMART Technologies ULCの商標または登録商標です。Android、Chrome、Google DriveはGoogle Inc.の商標であり、Microsoft、Windows、OneDriveは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。Mac、macOS、iOS、およびAirPlayは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。Intel およびCoreは、Intel Corporationの米国やその他の国における商標です。その他すべてのサードパーティ製品および会社名は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

### 著作権表示

© 2019年 -2023 SMART Technologies ULC。無断複写・転載を禁じます。SMART Technologies ULCの事前の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、転載、頒布、ならびに形式、方法を問わず他言語へ翻訳することは禁止されています。本マニュアルの情報は予告なく変更される場合があり、SMARTのコミットメントを示すものではありません。

ここに記載された本製品やその使用方法は、以下の米国の特許によって保護されています。

[www.smarttech.com/patents](https://www.smarttech.com/patents)

2023年4月14日

# 注意事項

## ❗ 重要事項

ディスプレイの機能がすべて使用できる最良の状態を維持するためにインストールが必要な、重要なソフトウェアアップデートがあります。これらのアップデートと将来のアップデートが自動的にダウンロードおよび適用されるようにするには、インターネットにアクセスできる有線ネットワークまたはワイヤレスネットワークにディスプレイを接続してください。

## ⚠ 警告

- ディスプレイに付属した設置指示書に従わない場合、保証書で補償されない場合のある作業者のケガや製品の損傷に繋がる事があります。
- ディスプレイを開けたり分解しないで下さい。筐体内の高電圧で感電する危険性があります。また、筐体を開けた場合には、保証は適用されません。
- ディスプレイの画面にタッチするために椅子に乗らないでください。(特にお子様には)ご注意ください。椅子などを使用する必要がないように、適切な高さに製品を取り付けてください。
- 火事や感電の恐れがありますので、ディスプレイは雨にさらしたり湿気のあるところに置かないでください。
- ディスプレイに部品の交換が必要な場合は、SMART Technologiesの指定する交換部品、または元の部品と同等の特性を持つ部品を使用することをご確認ください。
- 床に配線されたディスプレイのケーブル類は、適切に束ねた上で、つまずきの危険防止標識が付けられていることを確認してください。
- 危険な電圧部分に触れる可能性があり、保証の対象ではない恐れのある電気ショック、火災や製品損傷の原因となるので、キャビネットの換気口内に物を入れないでください。
- 電源ケーブルの上に重い物を置かないでください。ケーブルが損傷すると、衝撃、火災、または製品の損傷を引き起こす可能性があります。保証の対象外です。
- ディスプレイの有極プラグに完全に対応することができる延長コードと差込口のみを使用します。
- ディスプレイに付属の電源ケーブルを使用します。電源ケーブルが供給されない場合は、供給業者にお問い合わせください。電源コンセントのAC電圧に一致する電源ケーブルのみを使用し、さらに国の安全基準を遵守します。
- ガラスが破損している場合は、液晶に触れないでください。怪我を防ぐために、廃棄の際にはガラスの破片を慎重に取扱います。
- 取っ手にロープやワイヤーをつないでディスプレイを移動または取付しないでください。ディスプレイが重いと、ロープ、ワイヤー、取っ手の不具合が、怪我につながる恐れがあります。

## 注意事項

- ディスプレイに付属のマウント以外のマウントを使用する場合は、VESA®準拠のマウントのみを使用してください。
- ディスプレイのすべての電源ケーブルをコンセントから外し、次のいずれかが発生した場合、資格のあるサービス担当者からの支援を求めます。
  - 電源ケーブルまたは電源プラグが破損している
  - ディスプレイに液体をこぼした
  - ディスプレイに物を落とした
  - ディスプレイの落下
  - ひび割れなどの、構造上の損傷の発生
  - 取扱説明書厳守時のディスプレイの予期せぬ動作
- ディスプレイにOPSを挿入したり取り外したいりする前に、ディスプレイ背面にあるスイッチを使用してディスプレイの電源を切ってください。詳細については[Open Pluggable Slot computer\(OPS\)の免責事項](#)を参照してください。

### 注意事項

- 画面をクリーニングする前にディスプレイをOFFにします。こうすることで、スクリーンを拭いたときにデスクトップアイコンがばらばらになったり、アプリケーションの誤起動を防ぐことができます。
- 過度に埃や湿気の多い場所、または煙が充満した場所ではディスプレイを使用しないでください。
- ディスプレイの近くに電源用のコンセントがあり、使用中に手が簡単に届くことを確認してください。
- ディスプレイは、ヨーロッパのTNおよびTT出力分配システムのみでの使用にする必要があります。

ヨーロッパの一部の国で使用されている旧式のITタイプの出力分配システムには適合していません。このシステム(ITタイプ)は地面から離れた状態で広く使用されていますが、一部フランスでは230/400Vでインピーダンスを通して接地され、ノルウェイでは電圧制限器により中性非分配型で230Vのライン間電圧で使用されています。

ディスプレイを設置する際に使用可能な電源システムのタイプに関して不明な点がある場合は、担当者までお問い合わせください。

- アクセサリスロットの最大利用可能電力は60wです。スロットには電源の制限はありません。火災の危険性を減らすために、スロットに接続する付属品がIEC 62368-1の防火エンクロージャ要件を満たすことを確認します。
- 必ず、ディスプレイに付属のUSBケーブルを使用し、USBロゴマークのあるコンピューターのUSBインターフェースに接続してください。また、USB接続元のコンピュータは、IEC 62368-1に準拠している必要があります。このソースコンピュータにはカナダおよび米国のCEマークと安全認証マークが付いていなければなりません。こうした規定は、安全な操作と、ディスプレイへの損傷を防ぐためのものです。
- この製品には、EU REACH規則(EC)1907/2006に基づく候補SVHCである物質が含まれている場合があります。 <https://echa.europa.eu/scip-database> を確認する最新情報については。

❗ **重要事項**

- 以下は、スピーカーを含むSMART Board MX(V4) およびMX Pro (V4) Proシリーズモデルの通常の動作電力要件です。

モデル	電源条件
SBID-MX255-V4、SBID-MX255-V4-PW、 SBID-MX055-V4、SBID-MX055-V4-PW	100V ~ 240V AC、50 Hz ~ 60 Hz、88 W
SBID-MX265-V4、SBID-MX265-V4-PW、 SBID-MX065-V4、SBID-MX065-V4-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、124W
SBID-MX275-V4、SBID-MX275-V4-PW、 SBID-MX075-V4、SBID-MX075-V4-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、143W
SBID-MX286-V4、SBID-MX286-V4-PW、 SBID-MX086-V4、SBID-MX086-V4-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、178W

- 以下は、スピーカーを含むSMART Board MX(V3) およびMX Pro (V3) Proシリーズモデルの通常の動作電力要件です。

モデル	電源条件
SBID-MX255-V3N、SBID-MX255-V3、 SBID-MX255-V3N-PW、 SBID-MX255-V3-PW、SBID-MX055-V3N、 SBID-MX055-V3、SBID-MX055-V3N-PW、 SBID-MX055-V3-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、90W
SBID-MX265-V3N、SBID-MX265-V3、 SBID-MX265-V3N-PW、 SBID-MX265-V3-PW、SBID-MX065-V3N、 SBID-MX065-V3、SBID-MX065-V3N-PW、 SBID-MX065-V3-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、120W
SBID-MX275-V3N、SBID-MX275-V3、 SBID-MX275-V3N-PW、 SBID-MX275-V3-PW、SBID-MX075-V3N、 SBID-MX075-V3、SBID-MX075-V3N-PW、 SBID-MX075-V3-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、150W
SBID-MX286-V3N、SBID-MX286-V3、 SBID-MX286-V3N-PW、 SBID-MX286-V3-PW、SBID-MX086-V3N、 SBID-MX086-V3、SBID-MX086-V3N-PW、 SBID-MX086-V3-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、150W

- 以下は、スピーカーを含むSMART Board MX(V2-C) およびMX Pro (V2-C) Proシリーズモデルの通常の動作電力要件です。

## 注意事項

モデル	電源条件
SBID-MX255-V2-C、SBID-MX255-V2-CPW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、98W
SBID-MX265-V2-C、SBID-MX265-V2-CPW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、119W
SBID-MX275-V2-C、SBID-MX275-V2-CPW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、151W
SBID-MX286-V2-C、SBID-MX286-V2-CPW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、167W

- 以下は、スピーカーを含むSMART Board MX (V2) およびMX Pro (V2) Proシリーズモデルの通常の動作電力要件です。

モデル	電源条件
SBID-MX255-V2、SBID-MX255-V2-PW、 SBID-MX055-V2、SBID-MX055-V2-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、98W
SBID-MX265-V2、SBID-MX265-V2-PW、 SBID-MX065-V2、SBID-MX065-V2-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、103W
SBID-MX275-V2、SBID-MX275-V2-PW、 SBID-MX075-V2、SBID-MX075-V2-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、151W
SBID-MX286-V2、SBID-MX286-V2-PW、 SBID-MX086-V2、SBID-MX086-V2-PW	AC100v-240v、50Hz-60Hz、167W

- 以下は、スピーカーを含むSMART Board MXシリーズモデルの通常の動作電力要件です。

モデル	電源条件
SBID-MX365	AC100v-240v、50Hz-60Hz、最大115W
SBID-MX375	AC100v-240v、50Hz-60Hz、最大253W
SBID-MX386	AC100v-240v、50Hz-60Hz、最大265W
SBID-MX265	AC100v-240v、50Hz-60Hz、最大106W
SBID-MX275	AC100v-240v、50Hz-60Hz、最大244W
SBID-MX286	AC100v-240v、50Hz-60Hz、最大256W

- 追加要件およびその他の情報は、ディスプレイの仕様書 (17 ページ詳細情報) を参照してください。

# 目次

注意事項	3
第1章 ようこそ	10
本ガイドについて	10
ディスプレイの機能とコンポーネントについて	11
モデルの見分け方	16
アクセサリ	16
詳細情報	17
第2章 ディスプレイの設置	18
展開チェックリストの参照	18
ディスプレイの設置場所への移動	19
壁へのディスプレイの設置	20
スタンドにディスプレイを設置します。	26
iQ機器とIntel Compute Cardのインストール	26
ネットワークに接続	27
電源の接続とディスプレイに初めて電源を入れる際	30
省エネモードについて	33
第3章 コンピュータおよび他のデバイスの接続	34
SMARTソフトウェアのインストール	35
ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続	36
SMART OPS PCモジュールの接続	44
その他のデバイスの接続	44
コネクタ図	50
第4章 ディスプレイのメンテナンス	60
ディスプレイをオフ、オン、およびリセット	60
ハードウェアのクリーニングと管理	62
SMART Board MXシリーズモデルのファームウェアアップデートのためのネットワークの設定	65
SMART Board MXシリーズモデルのファームウェアの更新	65
iQシステムソフトウェアの更新	66
ディスプレイの向きを変える	67
第5章 トラブルシューティング	68
ディスプレイの電源が入っていません	68
画面に何も表示されていないか、画面上の画像に問題があります	69
音が出ない、または音に問題がある	72
タッチが正常に動作していません	73
ペンと消しゴムが正常に動作していません	74
NFC サインインが期待どおりに機能しない	75
iQアプリが正常に動作していません	75

接続されたコンピュータのSMARTソフトウェアが正常に動作していません	75
SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しない	76
Intel Compute Cardが正常に動作していない	76
RS232が正常に動作していません	76
最低限必要な SMART 製品ドライバーのバージョン	76
その他のサポート、販売店 へのお問い合わせ	76
<b>付録 A iQ設定の調整</b>	<b>78</b>
ネットワークの設定	78
カスタマイズ	79
アプリケーションの設定	80
システム設定	82
<b>付録 B iQ Pro の設定を調整する</b>	<b>90</b>
ネットワークの設定	90
アプリケーションの設定	91
システム設定	92
<b>付録 C ディスプレイ設定の調整</b>	<b>99</b>
ネットワーク	99
画面ロック	100
詳細	100
更新	102
リカバリ	102
バージョン情報	102
ディスプレイ設定の終了	103
<b>付録 D RS-232を使用 SMART Board MX (V2)、MXプロ(V2)、およびそれ以降のシリーズモデルの管理</b>	<b>104</b>
シリアルインタフェース設定を構成します。	105
コマンドと応答	106
電源状態コマンド	108
入力コマンド	110
明るさコマンド	110
フリーズコマンド	110
スクリーンシェードのコマンド	111
ボリュームコマンド	111
ミュートコマンド	111
ファームウェアバージョンのコマンド	111
モデル番号コマンド	112
シリアル番号のコマンド	112
パーツ番号のコマンド	112
非同期メッセージ	112
<b>付録 E RS-232を使用 SMART Board MXシリーズモデルの管理</b>	<b>114</b>
シリアルインタフェース設定を構成します。	115
通信体制	115
電源状態	118
コマンド	119

目次

付録 F SMART Remote Managementにディスプレイを登録する .....	121
証明書およびコンプライアンス .....	122

# 第1章 ようこそ

本ガイドについて	10
ディスプレイの機能とコンポーネントについて	11
タッチ	11
書き込み、描画、および消去	12
iQ	12
ディスプレイ	12
オーディオ	12
NFCサインイン	13
マイクアレイ	13
ネットワーク接続	13
教室のコンピューターとゲストのノートパソコン	13
アクセサリスロット	13
フロントコントロールパネル	14
前面コネクタパネル	14
周囲光センサー	15
電源ステータスライト	15
リモコンと赤外線センサー	15
モデルの見分け方	16
アクセサリ	16
SMART OPS PCモジュール	17
スタンド	17
USB延長ケーブル	17
詳細情報	17

SMART Board® MXまたはMX Proシリーズのインタラクティブディスプレイは、教室や会議室のハブです。

## 本ガイドについて

本ガイドでは、SMART Board MXまたはMX Proシリーズのインタラクティブディスプレイのインストールおよびメンテナンスの方法についてご説明します次の情報が含まれています。

- ディスプレイを設置する方法
- 電源とデバイスを接続する方法
- 最初にディスプレイをオンにしてiQエクスペリエンス設定する方法
- 長年使用したディスプレイをメンテナンスする方法
- ディスプレイに関する問題をトラブルシューティングする方法

さらに、本ガイドは、ディスプレイの設定、リモート管理のサポートについての情報を含んでいます。

このガイドは、本ディスプレイの設置およびメンテナンス担当者向けに作成されています。ディスプレイを使用するユーザーには、その他のドキュメントやリソースがあります(17 ページ [詳細情報](#) を参照)。

### 注記

このガイドでは、次のシリーズについて説明します。

 V4	SMART Board MX (V4)シリーズ	 V4 Pro	SMART Board MX Pro (V4)シリーズ
 V3	SMART Board MX (V3) シリーズ	 V3 Pro	SMART Board MX Pro (V3)シリーズ
 V2-C	SMART Board MX (V2-C) シリーズ	 V2-C Pro	SMART Board MX Pro (V2-C)シリーズ
 V2	SMART Board MX (V2) series	 V2 Pro	SMART Board MX Pro (V2)シリーズ
 MX	SMART Board MXシリーズ		

特定のシリーズに適用される情報は、上記の記号でマークされています。

## ディスプレイの機能とコンポーネントについて

このディスプレイには様々な機能と部品が含まれています：



### タッチ

ディスプレイの表面にタッチすることにより—アプリケーションの開閉、他の人と会う、新規ドキュメントの作成または既存のもの編集、ウェブサイトの閲覧、ビデオの再生と操作等—コンピューターで行えることはディスプレイですべて行うことができます。

アプリケーションでは縮小、拡大、回転、ズームイン、ズームアウトなどの様々なジェスチャを使用することができます。

## 書き込み、描画、および消去

このディスプレイには2つのペンが付属しており、画面に書き込む際に使用する事ができます。

画面上のデジタルインクを消去するには拳や手のひらを使用してください。

Object Awareness™機能を使用すると、ディスプレイがペンや、指、手のひらなどの使用しているツールまたはオブジェクトに自動的に反応します。このディスプレイの同時ツール識別技術によって、2人の人物が独立して同時に書き込む事ができます。

## iQ

ディスプレイのiQエクスペリエンスにより、ホワイトボード、ワイヤレス画面共有、ウェブブラウザなどのコラボレーションツールにワンタッチでアクセスできます。最小限のネットワーク統合によって、ワイヤー、ケーブル、ソフトウェアやファームウェアの手動更新は不要になっています。

iQのホーム画面からは、iQアプリを開く、入力を切り替える、設定を調整することができます。

## ディスプレイ

4K超高精細LCEディスプレイが鮮明な画像と広い視野角を実現します。

画面サイズはモデルにより異なります：

モデル	画面サイズ(対角)
SBID-MX255-V4、SBID-MX255-V4-PW、SBID-MX055-V4、SBID-MX055-V4-PW、 SBID-MX255-V3N、SBID-MX255-V3、SBID-MX255-V3N-PW、SBID-MX255-V3-PW、 SBID-MX055-V3N、SBID-MX055-V3、SBID-MX055-V3N-PW、SBID-MX055-V3-PW、 SBID-MX255-V2-C、SBID-MX255-V2-CPW、SBID-MX255-V2、SBID-MX255-V2-PW、 SBID-MX055-V2、SBID-MX055-V2-PW	55"
SBID-MX265-V4、SBID-MX265-V4-PW、SBID-MX065-V4、SBID-MX065-V4-PW、 SBID-MX265-V3N、SBID-MX265-V3、SBID-MX265-V3N-PW、SBID-MX265-V3-PW、 SBID-MX065-V3N、SBID-MX065-V3、SBID-MX065-V3N-PW、SBID-MX065-V3-PW、SBID- MX265-V2-C、SBID-MX265-V2-CPW、SBID-MX265-V2、SBID-MX265-V2-PW、SBID-MX065-V2、 SBID-MX065-V2-PW、SBID-MX365、SBID-MX265	65"
SBID-MX275-V4、SBID-MX275-V4-PW、SBID-MX075-V4、SBID-MX075-V4-PW、 SBID-MX275-V3N、SBID-MX275-V3、SBID-MX275-V3N-PW、SBID-MX275-V3-PW、 SBID-MX075-V3N、SBID-MX075-V3、SBID-MX075-V3N-PW、SBID-MX075-V3-PW、 SBID-MX275-V2-C、SBID-MX275-V2-CPW、SBID-MX275-V2、SBID-MX275-V2-PW、 SBID-MX075-V2、SBID-MX075-V2-PW、SBID-MX375、SBID-MX275	75"
SBID-MX286-V4、SBID-MX286-V4-PW、SBID-MX086-V4、SBID-MX086-V4-PW、 SBID-MX286-V3N、SBID-MX286-V3、SBID-MX286-V3N-PW、SBID-MX286-V3-PW、 SBID-MX086-V3N、SBID-MX086-V3、SBID-MX086-V3N-PW、SBID-MX086-V3-PW、 SBID-MX286-V2-C、SBID-MX286-V2-CPW、SBID-MX286-V2、SBID-MX286-V2-PW、 SBID-MX086-V2、SBID-MX086-V2-PW、SBID-MX386、SBID-MX286	86"

## オーディオ

このディスプレイには二つのスピーカーが内蔵されており、部屋の前面で音声を提供するように設計されています。

## ヒント

より広いスペースでサウンドを提供する場合は、外部オーディオシステムを接続することもできます(47ページ外部オーディオシステムの接続を参照)。

## NFCサインイン



SMART Board MX (V4)およびMX Pro (V4)シリーズモデルでは、近距離無線通信(NFC)を使用してSMARTアカウントにサインインできます:SMART IDカードをディスプレイのフレームのカードリーダー領域にかざしてPINを入力するだけです。この機能により、ユーザー名やパスワードを入力することなく、サインインの時間を短縮することができます。

## マイクアレイ



SMART Board MX (V4)およびMX Pro (V4)モデルの内蔵マイクアレイを会議アプリで使用できます。マイクアレイの採用により、音の検出力を向上させました。また、接続したコンピュータのマイクの代わりに、ディスプレイの内蔵マイクアレイを使用することもできます。

## ネットワーク接続

このディスプレイには、ソフトウェアとファームウェアのアップデートをダウンロードするためのネットワーク接続が必要で、多くのiQアプリにもネットワーク接続が必要です。

Wi-Fiもしくはディスプレイ上のRJ45 LANジャックを用いてネットワークに接続することができます:

- Wi-Fiは2.4GHz帯と5GHz帯の両方をサポートしています。
- 2つのRJ45ジャックを使用すればディスプレイとコンピュータなどの外部デバイスをイーサネットのネットワークに接続することができます。

詳細については、27ページネットワークに接続を参照してください。

## 教室のコンピューターとゲストのノートパソコン

部屋のコンピュータおよびゲストのラップトップを接続し、それらの表示と操作を行うためにディスプレイを利用することができます。

このディスプレイには接続されたコンピュータにインストールできるSMARTソフトウェアが付属しており、接続されたコンピュータを使用しながらディスプレイの機能を最大限に活用できます。

詳細については、34ページコンピュータおよび他のデバイスの接続を参照してください。

## アクセサリスロット



以下のモデルでは、iQ機器は背面のアクセサリスロットに接続されています。

- SBID-MX365
- SBID-MX375
- SBID-MX386
- SBID-MX265
- SBID-MX275
- SBID-MX286

### 注記

SBID-MX365、SBID-MX375、SBID-MX386モデルでは、機器にIntel® Compute Cardを挿入することで、外部PCやケーブルを必要とせず、手元にWindows® 10ソリューションを完備することが可能です。



それ以外の機種では、アクセサリスロットにSMART OPS PCモジュールなどのOPS対応機器を装着することができます。SMART OPS PCモジュールは、Windows10 Proの完全なインストールを提供します。

SMART OPS PCモジュールの詳細については、17 ページ SMART OPS PCモジュールを参照してください。

### ⚠ 注意事項

アクセサリスロットの最大使用可能電力は、ディスプレイモデルによって異なります。

モデル	最大利用可能電力
	100 W
	60 W

スロットは限られた電源ではありません。火災の危険性を減らすために、スロットに接続する付属品がIEC 62368-1の防火エンクロージャ要件を満たすことを確認します。

## フロントコントロールパネル

前面コントロールパネルにはディスプレイのオン/オフや、音量の調整、画面のフリーズとフリーズ解除、そして画面シェードの表示/非表示を切り替えるボタンがあります。

フロントコントロールパネルの詳細については、SMART Board MX および MX Proシリーズインタラクティブディスプレイのユーザーガイド ([smarttech.com/kb/171554](http://smarttech.com/kb/171554)) を参照してください。

## 前面コネクタパネル

前面コネクタパネルにはUSB周辺機器およびコンピュータまたはその他の入力ソース用のコネクタが含まれています。

## 周囲光センサー

周囲光センサーはディスプレイのフレームの右下隅にあります。

周囲光センサーは部屋の明るさを検出し、それに応じて画面の明るさを調整します。

この機能は有効または無効にできます(「iQ の場合は 82 ページシステム設定」または「iQ Pro の場合は 92 ページシステム設定」を参照してください)。

## 電源ステータスライト

電源ステータスはディスプレイのフレームの右下隅にあります。

この電源ステータスLEDはディスプレイのステータスを示しています。

電源ステータスライト	ディスプレイの状態
Red	スタンバイモード
Green	通常の動作モード

## リモコンと赤外線センサー

リモコンを使用して、ディスプレイのON/OFFやディスプレイの調整などを行うことができます。

リモコンの赤外線センサーはディスプレイのフレームの右下隅にあります。

リモコンの詳細については、*SMART Board MX* および *MX Pro* シリーズインタラクティブディスプレイのユーザーガイド ([smarttech.com/kb/171554](http://smarttech.com/kb/171554)) を参照してください。

## モデルの見分け方

SMART Board MX および MX Proシリーズのインタラクティブディスプレイにはいくつかのシリーズがあります。

V4 V4 Pro	V3 V3 Pro	V2-C V2-C Pro	V2 V2 Pro	MX
SBID-MX255-V4	SBID-MX255-V3N	SBID-MX255-V2-C	SBID-MX255-V2	SBID-MX365
SBID-MX265-V4	SBID-MX255-V3	SBID-MX265-V2-C	SBID-MX265-V2	SBID-MX375
SBID-MX275-V4	SBID-MX265-V3N	SBID-MX275-V2-C	SBID-MX275-V2	SBID-MX386
SBID-MX286-V4	SBID-MX265-V3	SBID-MX286-V2-C	SBID-MX286-V2	SBID-MX265
SBID-MX255-V4-PW	SBID-MX275-V3N	SBID-MX255-V2-CPW	SBID-MX255-V2-PW	SBID-MX275
SBID-MX265-V4-PW	SBID-MX275-V3	SBID-MX265-V2-CPW	SBID-MX265-V2-PW	SBID-MX286
SBID-MX275-V4-PW	SBID-MX286-V3N	SBID-MX275-V2-CPW	SBID-MX275-V2-PW	
SBID-MX286-V4-PW	SBID-MX286-V3	SBID-MX286-V2-CPW	SBID-MX286-V2-PW	
SBID-MX055-V4	SBID-MX255-V3N-PW		SBID-MX055-V2	
SBID-MX065-V4	SBID-MX255-V3-PW		SBID-MX065-V2	
SBID-MX075-V4	SBID-MX265-V3N-PW		SBID-MX075-V2	
SBID-MX086-V4	SBID-MX265-V3-PW		SBID-MX086-V2	
SBID-MX055-V4-PW	SBID-MX275-V3N-PW		SBID-MX055-V2-PW	
SBID-MX065-V4-PW	SBID-MX275-V3-PW		SBID-MX065-V2-PW	
SBID-MX075-V4-PW	SBID-MX286-V3N-PW		SBID-MX075-V2-PW	
SBID-MX086-V4-PW	SBID-MX286-V3-PW		SBID-MX086-V2-PW	
	SBID-MX055-V3N			
	SBID-MX055-V3			
	SBID-MX065-V3N			
	SBID-MX065-V3			
	SBID-MX075-V3N			
	SBID-MX075-V3			
	SBID-MX086-V3N			
	SBID-MX086-V3			
	SBID-MX055-V3N-PW			
	SBID-MX055-V2-PW			
	SBID-MX065-V3N-PW			
	SBID-MX065-V3-PW			
	SBID-MX075-V3N-PW			
	SBID-MX075-V3-PW			
	SBID-MX086-V3N-PW			
	SBID-MX086-V3-PW			

### ヒント

SMART Board MX (V2)、MX Pro (V2)、またはそれ以降のシリーズモデルの場合、ディスプレイの左側のラベルを使用して、そのシリーズを識別できます。詳細については、76 ページその他のサポート、販売店へのお問い合わせを参照してください。

## アクセサリ

ディスプレイのアクセサリは次の通りです：

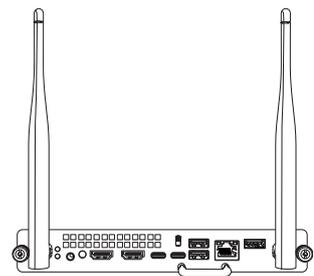
- SMART OPS PCモジュール
- スタンド
- USB延長ケーブル

#### 注記

さらなる情報もしくはその他のアクセサリについては[smarttech.com/accessories](https://smarttech.com/accessories)をご覧ください。

## SMART OPS PCモジュール

SMART Open Pluggable Specification (OPS) PCモジュールは、Intel Core™プロセッサに基づいた手間のかからないWindows Proのインストールを提供し、SMART Boardインタラクティブディスプレイと特に連携するように設計されています。すべてのOPS PCモジュールは、Windows Proで完全にライセンスされています。OPS PCモジュールをディスプレイのアクセサリスロットに取り付けると、外付けPCや追加のケーブルを必要とせずに完全な4K UHD Windowsインスタレーションが簡単に提供されます。



SMART Notebook®や、SMART TeamWorks™、SMART Meeting Pro®のような使い慣れたWindowsアプリソフトウェアライセンスをインストールしてディスプレイのネットワーク接続を通して直接インターネットにアクセスしましょう。OPS PCモジュールのサービスとアップグレードはディスプレイをマウントから取り外すことなく簡単に行えます。

## スタンド

ディスプレイを移動したい場合は、SMARTモバイルスタンドに取り付けることができます。もしディスプレイの全重量を支える事ができない壁に設置する場合は、ディスプレイをSMARTフロアスタンドに取り付けることもできます。

## USB延長ケーブル

ディスプレイの仕様に記載されているように、ディスプレイとコンピュータ間のUSBケーブル接続には最大長があります。

より長いUSB接続が必要な場合は、USB-XTエクステンダーを使用してください。USB-XTエクステンダーの仕様 ([smarttech.com/kb/119318](https://smarttech.com/kb/119318))を参照してください。

#### 注記

USB接続の延長の詳細については [USB cable extenders](#)をご覧ください。

## 詳細情報

本ガイドの他に、SMARTはSMARTのウェブサイト ([smarttech.com/support](https://smarttech.com/support)) のサポートセクションで、このディスプレイのための文書を提供しています。2 ページのQRコードをスキャンして、SMART Board MXおよびMXProシリーズのインタラクティブディスプレイドキュメントやその他のサポートリソースへのリンクを表示します。

## 第2章 ディスプレイの設置

展開チェックリストの参照	18
ディスプレイの設置場所への移動	19
移動用の補助具の使用	19
出入り口、廊下、エレベーターでの移動	19
割れ、欠け、砕けたガラスの処置	20
納品時の梱包材の保管	20
壁へのディスプレイの設置	20
設置場所の選択	21
設置高さの選択	23
壁の状態	23
取付金具の選定	23
ウォールマウントの選択	23
ディスプレイの取付け	24
スタンドにディスプレイを設置します。	26
SMART可動スタンドの使用	26
サードパーティー製スタンドの使用	26
iQ機器とIntel Compute Cardのインストール	26
ネットワークに接続	27
AM50 iQ機器	30
電源の接続とディスプレイに初めて電源を入れる際	30
省エネモードについて	33

SMARTはディスプレイを設置する設置者の方のみが訓練するのを推奨します。

この章は、設置者向けです。設置者はこの情報と共にディスプレイを設置する前に、ディスプレイに付属している設置手順をお読みください。

### 警告

ディスプレイの不適切な設置は、怪我や製品の損傷の原因になります。

## 展開チェックリストの参照

### 教育モデルのみ



ディスプレイを総合的なSMART教育ソリューションの一部としてインストールする場合は、SMART教育ソフトウェアおよびハードウェアの事前インストールチェックリスト([smarttech.com/kb/171723](https://smarttech.com/kb/171723))とSMART教育ソフトウェアおよびハードウェアのインストールチェックリスト([smarttech.com/kb/171724](https://smarttech.com/kb/171724))を参照してください。

## ディスプレイの設置場所への移動

ディスプレイが届いたら、設置を予定している場所に移動させる必要があります。

場合によっては、ディスプレイを最初に取り付けた後、ディスプレイを別の場所に移動する必要がある場合もあります。

### ❗ 重要事項

- ディスプレイの移動はお客様の責任で行ってください。SMARTは、ディスプレイの移動中に生じた製品への損傷や作業者の怪我については責任を負いません。
- ディスプレイの移動時：
  - 設置場所の安全規則と基準にしたがってください。
  - ディスプレイをパレットとともに元の梱包にパックしてください。
  - 上部のフレームが上を向くようにディスプレイを移動します。
  - ディスプレイの移動するには、少なくとも2人で持ちます。

### ヒント

ディスプレイの梱包材に前面を示すラベルが付いている場合があります。移動中の箱の向きを決める際、梱包に"FRONT"の表示を探してください。

## 移動用の補助具の使用

ディスプレイの移動には、次のような補助装置を使用することができます。

- カート
- 家具用台車
- 吊り上げ装置

## 出入り口、廊下、エレベーターでの移動

状況によっては、狭い出入り口や廊下、エレベーターに通すためにディスプレイの保護材を外す必要もあります。この場合、緩衝材をディスプレイの角に設置してください。これは、移動中にディスプレイをいったん床に降ろす必要が生じた際に、ディスプレイを保護するためです。

また、ディスプレイを横向きにする必要のある場合もあります。ディスプレイは移動のために横向きにすることはできますが、設置は必ず縦向きに(上枠が上側になるように)しなければなりません。

## 割れ、欠け、砕けたガラスの処置

ディスプレイには安全強化ガラスが使用されています。このガラスは衝撃に耐える熱強化ガラスですが、相当な力で衝撃が加わると割れたり欠けたり、粉々に砕けることがあります。(強化ガラスは、割れても鋭利な破片にはならず細かく砕けるようにできています。)温度変化によって小さなひび割れや断片が広がり、ガラスが粉々に砕けることもあります。使用していない場合でもディスプレイのガラスが粉碎する状況については、[ナレッジベースの記事、インタラクティブディスプレイのガラスの破損](#)を参照してください。

ディスプレイのガラスに割れや欠けが生じた場合、専門的な検査の上でSMART認定の修理センターで修理を行います。ディスプレイのガラスが粉碎した場合は、周辺を丁寧に掃除し、ディスプレイを修理または交換してください。

### ⚠ 警告

ガラスに割れや欠けが生じたり粉碎した場合は、安全上の理由および損傷が悪化することを防ぐため、ディスプレイの設置作業や使用を中断してください。

## 納品時の梱包材の保管

納品時に付属していた梱包材は可能な限り保管しておき、設置したディスプレイを再度移動させる時にご使用ください。この梱包材には、衝撃や振動からディスプレイを保護する目的があります。

### 📝 注記

納入時の梱包材を使用できない場合には、同じ梱包材を、SMART認定販売店から直接ご購入いただけます ([smarttech.com/where](https://smarttech.com/where))。

### ⚠ 注意事項

ディスプレイの移動時には、納品時の梱包材または、SMARTの認定販売業者から購入した交換用の梱包材のみを使用してください。正しい梱包材で保護せずにディスプレイを移動すると、ディスプレイが損傷し、保証が無効になる場合があります。

## 壁へのディスプレイの設置

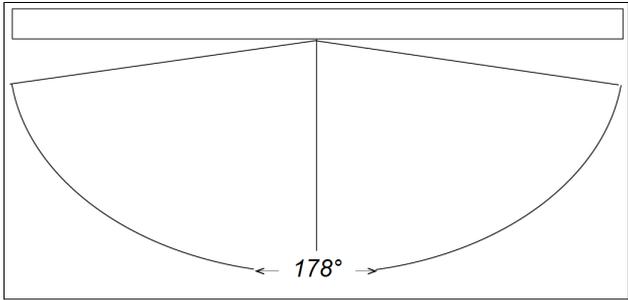
基本的に、ディスプレイは教室や会議室の壁に設置します。

## 設置場所の選択

ディスプレイは通常、教室や会議室の正面などの部屋の中心となる位置に設置します。

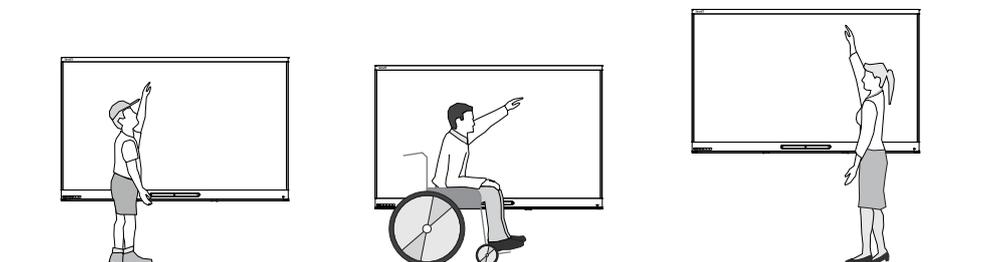
適切な場所を選択することは、ディスプレイで可能な限り最高のエクスペリエンスを確保するために重要です。設置場所の選定について、次の要素を考慮してください。

要素	検討内容
室内の状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 車椅子の人も含めたユーザーがアクセスできる場所。地域のバリアフリーに関する規則を参考にしてください。</li> <li>• この場所は同時に複数の方がディスプレイにアクセスできます。</li> <li>• 人の動線を考慮し転倒の危険性がない場所。</li> <li>• ドアやゲートがぶつかるおそれのある場所には設置しない。</li> <li>• ラジエーター、ヒートベント、エアコンなど、ディスプレイに向けられた近くの加熱または冷却ソースはありません。</li> <li>• ディスプレイに当たる可能性のあるドアや引出しのある棚ユニット、机または他の家具はありません。</li> <li>• 家具、壁の装飾、その他ライトスイッチや温度計などディスプレイの妨げになるまたはディスプレイが様食べるもの無き事。(移動できるものがあれば、移動させた上でディスプレイを設置してもよい。)</li> </ul>
電源その他の接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設置場所は以下に近接しています： <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 電源コンセント</li> <li>◦ ネットワーク接続(有線ネットワーク接続を使用する場合)</li> <li>◦ 室内のコンピューター(室内のコンピューターに接続する場合)</li> <li>◦ このディスプレイに接続したい外部オーディオシステムおよびその他のデバイス</li> </ul> </li> </ul> <p><b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 近くに電源コンセントがない場合、電気工業者に相談してください。</li> <li>◦ 電源タップ、追加のケーブル、および延長ケーブルなどが必要かどうかを判断してください。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物の主電源の引き込み口ではない。</li> </ul>

要素	検討内容
見やすさ	<p>室内の全員からディスプレイがはっきり見える。SMARTでは、178°の視野角内に座ることを推奨します。</p>  <p><b>注記</b> 画面の見える範囲は、ディスプレイの解像度のほか様々な要因により異なります。詳細に関しては、ナレッジベースの記事、<a href="#">SMART Boardインタラクティブディスプレイの推奨視聴距離および角度を参照してください</a>。</p>
照明	<p>窓際や強力な天井照明などの明るい光源から離れた場所。 光干渉のリスクには次を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>視界の制限:</b> 光源によりディスプレイの画面にグレアが生じることがあり、これにより視界が制限されます。</li> <li>○ <b>タッチシステムの干渉:</b> 赤外線(IR)光を、タッチシステムのキーコンポーネントとして表示します。ディスプレイの画面に直接あたる強い光によりタッチシステムとの干渉が発生し、ディスプレイが正しく機能できなくなる場合があります。</li> </ul> <p><b>ヒント</b> 光の干渉を低減するには、窓や天窓にブラインドやシェードを設置し、ディスプレイ画面に光が届く照明については調光や消灯操作の可能なスイッチを設置します。太陽光は、季節により窓から差し込む角度が異なることに注意してください。</p>
音響	<p>部屋の音響は良好です(<a href="#">最高のオーディオパフォーマンスを得るためのディスプレイの構成を参照</a>)。</p>
環境と換気	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この場所はディスプレイの仕様の環境要件を満たしています(17 ページ <a href="#">詳細情報を参照</a>)。</li> <li>● ディスプレイが強い振動や塵にさらされない。</li> <li>● 換気装置の空気がディスプレイに直接吹き付けない。</li> <li>● ディスプレイ周辺に、ディスプレイと取付具から熱を逃すための十分な換気または空調が設置されている。SMART は、適切な通気を確保するためにディスプレイの全ての側面に少なくとも5 cmのスペースを推奨します。</li> <li>● 平らでない場所にディスプレイを設置する場合、排熱と換気のために最低10cmをディスプレイと壁の間にスペースを確保してください。</li> </ul>

## 設置高さの選択

ディスプレイの設置高さは、使用者全体の平均的な高さを考慮した上で決定します。



SMARTIはディスプレイ上部をを床から1.9 mになるように設置することを推奨しています。

### 注記

参加者が(階段教室等の)急な傾斜のある場所に座る場合、設置高さや角度を調整する必要があります。

## 壁の状態

ディスプレイを設置する壁面が、ディスプレイや取付具の重量を支えられるかどうかを確認してください。もし可能でないなら、壁からフロアまでの重量のいくらかを分散できるSMARTウォールスタンドのご使用を検討してください([smarttech.com/accessories](http://smarttech.com/accessories)を見る)。

### 注記

ディスプレイの重量仕様を参照してください(17 ページ詳細情報を参照)。

状況により、壁がディスプレイを支えられるかどうかを判断するために、専門的な調査の依頼が必要になる場合があります。

## 取付金具の選定

設置に必要な取付金具は、ディスプレイを取り付ける壁の種類によって異なります。

SMARTウォールマウント(WM-SBID-200)を使用する場合、必要な取り付け金具については、ウォールマウントの図解付き取り付け説明書をご覧ください([smarttech.com/kb/171373](http://smarttech.com/kb/171373))。

## ウォールマウントの選択

ディスプレイの最適な設置場所は、壁です。壁がディスプレイの重量を支えることができない場合は、追加の金具を使用して、重量の一部を床面に逃がします。

モデルによっては、ディスプレイに壁掛けブラケットが取り付けられている場合があります、これを使用してディスプレイを壁に取り付けることができます。

モデル	付属の壁掛けブラケット	図解インストール手順
	<input type="checkbox"/>	<a href="https://smarttech.com/kb/171840">smarttech.com/kb/171840</a>
	<input checked="" type="checkbox"/>	<a href="https://smarttech.com/kb/171785">smarttech.com/kb/171785</a>
	<input checked="" type="checkbox"/>	<a href="https://smarttech.com/kb/171547">smarttech.com/kb/171547</a>
	<input checked="" type="checkbox"/>	<a href="https://smarttech.com/kb/171274">smarttech.com/kb/171274</a>

SMARTの取付オプションの詳細につきましては認定 SMART販売代理店 ([smarttech.com/where](https://smarttech.com/where)) にお問い合わせください。

SMARTの取り付けオプションではなく、サードパーティ製のオプションを選択する場合は、そのウォールマウントがディスプレイの寸法に対応し、ディスプレイの重量と付属アクセサリの重量を支えられることを確認してください。

## ディスプレイの取付け

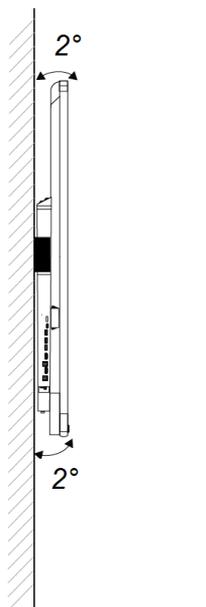
同梱されている取扱説明書に従ってディスプレイを取り付けます。さらに、以下をご確認ください。

ディスプレイの電気部品および機械部品は、ディスプレイが設置手順に記載されている向きに取り付けられているときに正しく動作するように設計されています。ディスプレイを別の向きに設置すると誤動作の原因となり、ディスプレイの保証が無効になります。

ディスプレイを非標準の向きまたは角度で取り付ける事には多くの危険性があります：

- ディスプレイを(テーブルトップな)水平面上に取り付けるとガラスが垂れ下がり、ディスプレイが損傷したり、ディスプレイのタッチシステムに干渉したりすることがあります。
- 非標準的な向きは換気に影響を与え、機器にホットスポットを生み出し、早すぎる故障や、プロジェクタを使用するディスプレイではプロジェクタ電球の破裂を引き起こす可能性があります。

- ディスプレイは垂直方向に(床を基準としてプラス90°または許容差マイナス2°)、横向きに取り付けます。SMARTは、他の角度や縦向きのディスプレイの取り付けをサポートしていません。



- 付属のウォールマウント(含まれている場合)を使用してください。このディスプレイの重量とサイズに適合するVESA認定を受けた取り付けプレートを使用する事もできます。
- 付属のボルトを使用して壁掛け台をディスプレイに固定しない場合は、次の表を参照してください。

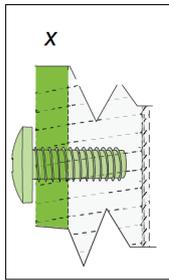


ディスプレイ	ボルトタイプ	最小長さ	最大長さ
55" モデル	M8	14 mm + x mm	30 mm + x mm
65" モデル	M8	14 mm + x mm	18 mm + x mm
75" モデル	M8	18 mm + x mm	30 mm + x mm
86" モデル	M8	14 mm + x mm	30 mm + x mm



ディスプレイ	ボルトタイプ	最小長さ	最大長さ
65" モデル(部品番号:1031028)	M6	14 mm + x mm	18 mm + x mm
65" モデル(部品番号:1033445)	M8	14 mm + x mm	18 mm + x mm
75" モデル	M8	18 mm + x mm	30 mm + x mm
86" モデル	M8	14 mm + x mm	30 mm + x mm

xは壁用マウントと座金の合計の厚みです



- 固定力 : 97.36–177.01in-lb.(11–20 N-m)

**⚠ 注意事項**

ボルトを締め付けすぎないでください。

## スタンドにディスプレイを設置します。

ディスプレイを移動したい場合や壁にディスプレイを設置できない場合は、スタンドに設置することができます。

### 注記

SMART Board MX(V4) およびMX Pro(V4) 86インチモデルをSMARTの様々な電動昇降スタンドと使用する場合は、最初にSMARTの壁掛け金具(モデル番号WM-SBID-200、部品番号1031766)を取り付ける必要があります、[smarttech.com/kb/171405](http://smarttech.com/kb/171405)を取り付ける必要があります。ディスプレイをスタンドに取り付ける前に、ディスプレイに取り付けてください。(これは、モバイルスタンドのFSE-400、FSE-410、およびFSE-420モデル、およびウォールスタンドのWSE-400およびWSE-410モデルに適用されます)。

## SMART可動スタンドの使用

SMART モバイルスタンドは、SMART Board インタラクティブディスプレイ用に設計されています。高さ調整機能が付いています。一部のモデルには、内蔵スピーカーや、機器を固定するロック機能付きキャビネット、回転や固定を容易に行えるキャスターなどが付属しています。

SMART可動スタンドの詳細に関しては、[smarttech.com/accessories](http://smarttech.com/accessories)を参照してください。

## サードパーティー製スタンドの使用

サードパーティー製スタンドの選択と使用については、[スタンドへのディスプレイの取り付け](#)を参照してください。

## iQ機器とIntel Compute Cardのインストール

MX

SMART Board MXシリーズディスプレイへのiQ機器のインストールに関する詳細については、SMART Board MXシリーズインタラクティブディスプレイのインストール手順 ([smarttech.com/kb/171274](http://smarttech.com/kb/171274))をご覧ください。

### ⚠ 注意事項

AM50 iQ機器とIntel Compute Card は、初めてディスプレイの電源を入れる前にインストールしてください。

### ❗ 重要事項

AM50 iQアプライアンスを使用している場合は、ディスプレイのファームウェアバージョンが1.8.7以降であることを確認してください。ディスプレイのファームウェアバージョンが古い場合、ディスプレイが正しく機能しない可能性があります。65 ページ *SMART Board MX* シリーズモデルのファームウェアの更新を参照してください。

SBID-MX365、SBID-MX375、SBID-MX386モデルでは、AM50 iQ機器の slots に Intel Compute Card を挿入し、ディスプレイからカードの Windows 10 OS にアクセスすることが可能です。

### ❗ 重要事項

ディスプレイの電源を入れる前に、Intel Compute Card が挿入されていることを確認してください。

### 注記

デフォルトでは、HDMI出力はWindowsのデスクトップを拡張するため、特定の構成では表示上の問題が発生することがあります。問題が発生した場合は、HDMI出力をデフォルトの拡張デスクトップではなく、ミラーリングされたデスクトップに設定してください。右クリックし、ディスプレイの設定を選択し、セカンダリーディスプレイがファーストディスプレイをミラーリングするように設定します。

### ヒント

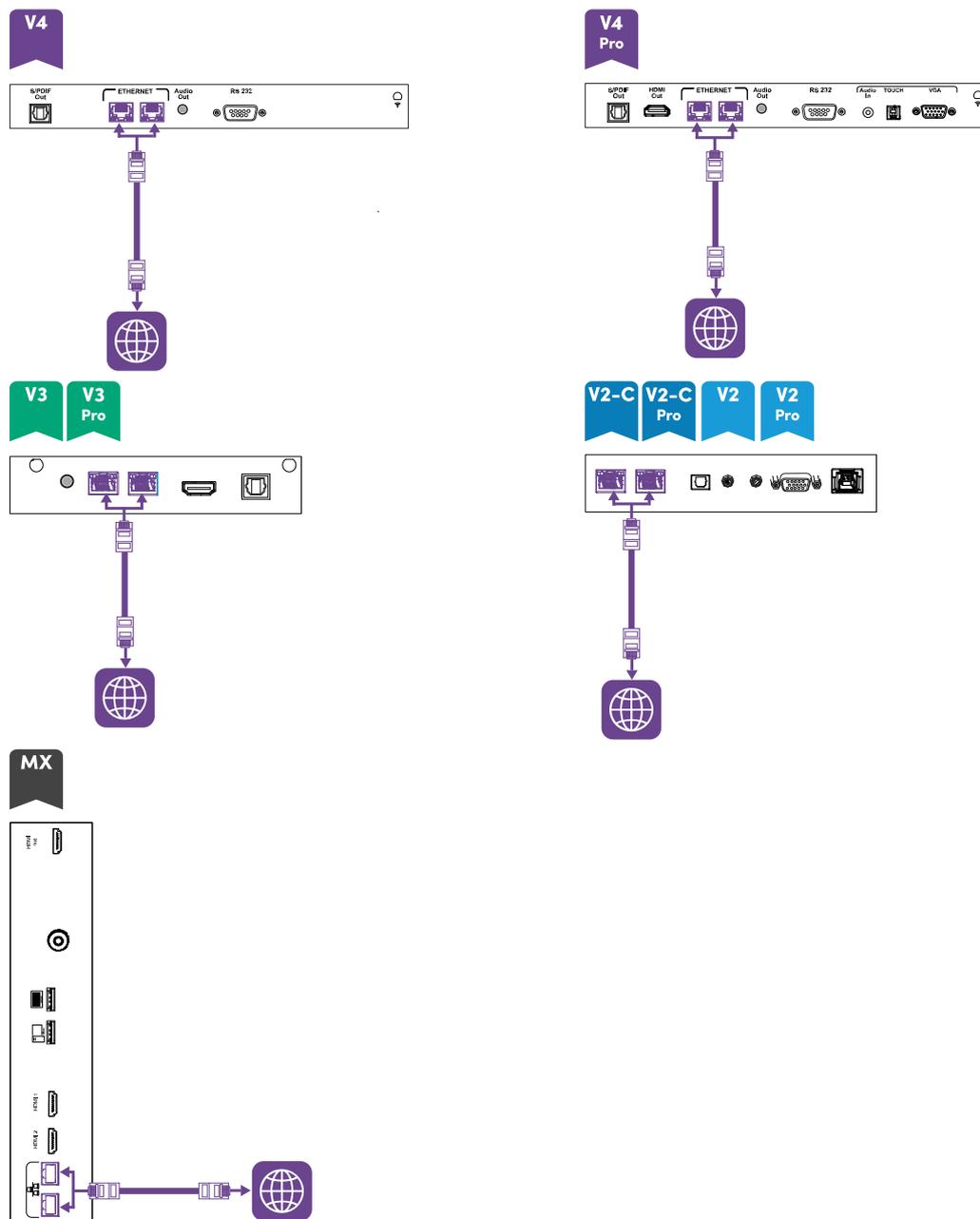
キーボードやマウスなどのアクセサリも、iQコントローラのUSBポート経由でIntel Compute Cardに接続することができます。

## ネットワークに接続

ディスプレイを接続する前に、あなたの組織のネットワーク管理者は、ユーザーがディスプレイのファームウェアを自動的に更新し、iQ エクスペリエンスの全ての機能を使用できるようにネットワークを構成する必要があります。iQ搭載 SMART Board ディスプレイ用に組織のネットワークを設定するを参照してください。

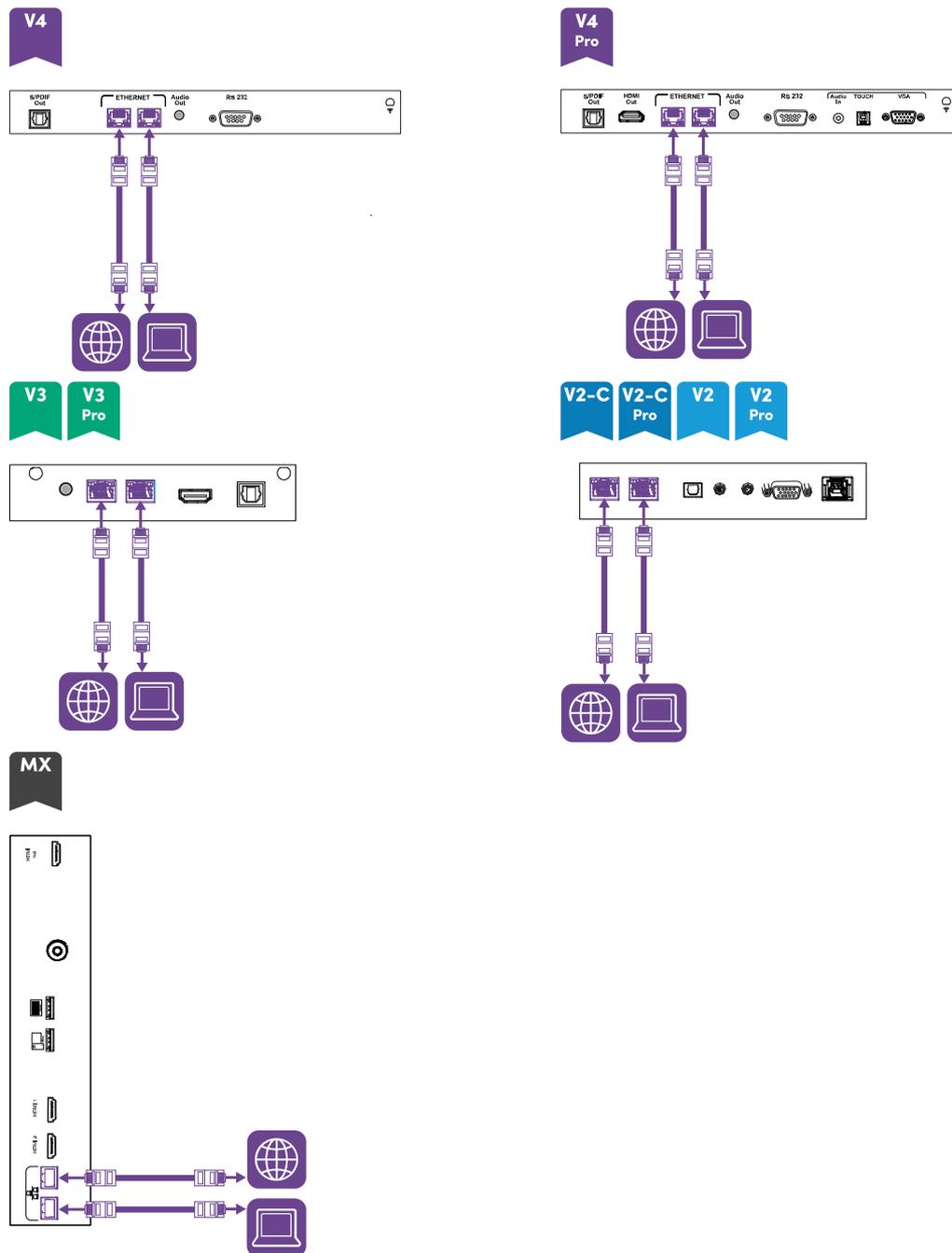
このディスプレイには、ソフトウェアとファームウェアのアップデートをダウンロードするためのネットワークとインターネットの接続が必要で、多くのiQアプリにもネットワーク接続が必要です。Wi-FiまたはRJ45 jacksの一つを使用してネットワークに接続できます。

## 第 2 章 ディスプレイの設置



ヒント

ディスプレイのRJ45ジャックをネットワークへの接続に使用する場合、コンピューターからネットワークへのアクセス用には別のRJ45ジャックを接続することができます(図)。これは室内に有線ネットワーク接続がつかない場合に役立ちます。ネットワークアクセスは、[設定]で[ネットワークスタンバイ]が有効になっている場合に使用できますが、[設定]で[スタンバイ]が有効になっている場合は使用できません。

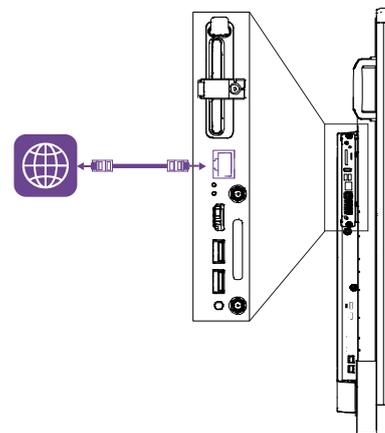


## AM50 iQ機器

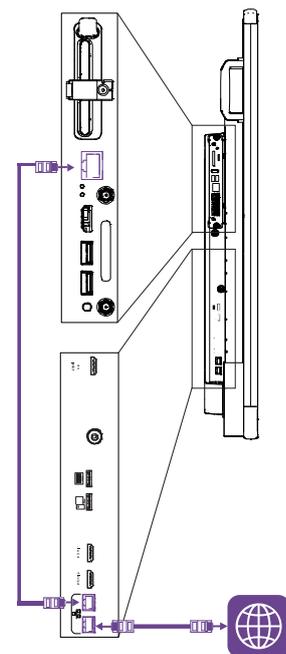
MX

SBID-MX365、SBID-MX375、およびSBID-MX386モデルに含まれるAM50アプライアンスをネットワークに接続する方法は3つあります：

- Wi-Fi を使用して接続する
- ネットワークコンセントからイーサネットケーブルをAM50機器のRJ45ジャックに直接接続します。



- イーサネットケーブルをネットワークコンセントからディスプレイのRJ45ジャックの1つに接続し、別のイーサネットケーブルをディスプレイの他のRJ45ジャックからAM50アプライアンスのRJ45ジャックに接続します



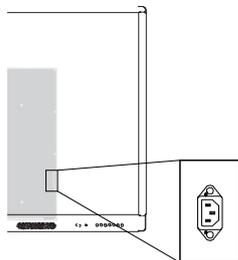
## 電源の接続とディスプレイに初めて電源を入れる際

このディスプレイの設置と構成の最後のステップは、電源を接続して電源を入れることです。このディスプレイを初めてオンにするとセットアップウィザードが表示されます。ウィザードの手順に従ってセットアップを完了します。

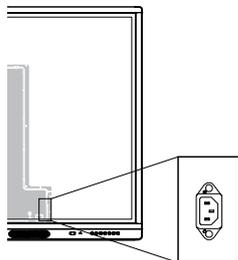
## ディスプレイの電源への接続

付属の電源ケーブルでコンセントとディスプレイ背面のAC電源入力を接続します。

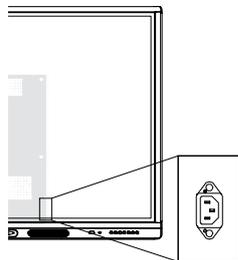
55" および 65" モデル



75" モデル



86" モデル



### 注記

電力要件と消費電力についてはディスプレイの仕様を参照してください(17 ページ詳細情報を参照)。

## ディスプレイへの初回電源投入と設定

### ❗ 重要事項

ディスプレイをONにする前にOPS PCモジュールをインストール。

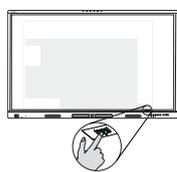
### 注記

- ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレイがタッチに反応するようになります。
- USBドライブがディスプレイのサービスポートレセプタクルに接続されている場合は、USBドライブを取り外さないでください。このUSBドライブには重要なファームウェアの更新情報が含まれています。

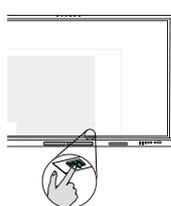
1. AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置のONにフリックします。



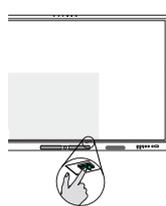
55" モデル



65" モデル

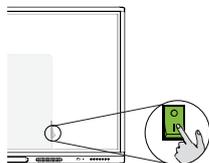


75" および 86" モデル

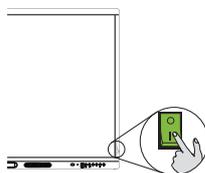




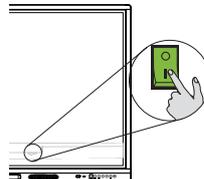
55" モデル



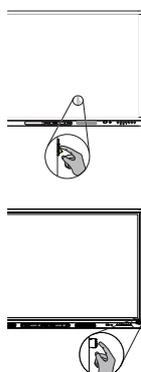
65" モデル



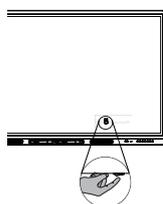
75" および 86" モデル



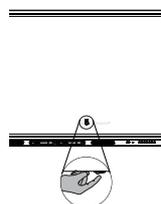
65" モデル



75" モデル



86" モデル



2. フロントコントロールパネルまたはリモコンの電源 ボタン  を押してください。
3. 希望の言語を選択し、次へをタップします。
4. 国名を選択し、次へをタップします。
5. タイムゾーンを選択し、次へをタップします。
6. 日付を設定し、次へをタップします。
7. 時刻を設定し、次へをタップします。
8. ディスプレイに名前を付け、次へをタップします。
9. ディスプレイで有線ネットワーク接続を使用しない場合、無線ネットワークを選択し、次へをタップします。

#### 重要事項

このディスプレイには、重要な更新をダウンロードしてインストールするためのインターネット接続が必要です。iQに適したネットワークが正しく構成されていることをネットワーク管理者に確認してください（ネットワーク構成の詳細については、[iQを搭載したSMART Boardディスプレイの組織のネットワークの構成](#)を参照してください）。

10. アプリライブラリに表示させたいアプリを選択し、**次へ**をタップしてください。

**ヒント**

アプリライブラリに表示するアプリを変更するには、80 ページアプリケーションの設定を参照してください。

11. **完了**をタップします。

ようこそ画面が表示されます。

または

このディスプレイは、ファームウェアとシステムソフトウェアのための更新をダウンロードして適用します。

## 省エネモードについて

ディスプレイには、いくつかの省エネモードがあります。

モード:	説明
ネットワークスタンバイ	電源ボタン $\downarrow$ を押すとディスプレイがすばやくオンになる低電力状態。
スタンバイ	電源ボタン $\downarrow$ を押すとディスプレイがオンになる非常に低電力の状態。

スタンバイは、EU内の場所に設定されたディスプレイのデフォルトの省エネモードです。他の場所では、ネットワークスタンバイがデフォルトの省エネモードです。ディスプレイの省エネモードは、**[設定] > [システム設定] > [電源] > [スタンバイ (シャットダウン)]** または **[設定] > [システム設定] > [電源] > [ネットワークスタンバイ (スリープ)]** から選択できます。

# 第3章 コンピュータおよび他のデバイスの接続

SMARTソフトウェアのインストール	35
ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続	36
接続したコンピューターの入力の表示	42
接続されたコンピューターの解像度とリフレッシュレートの設定	43
接続されているコンピューターのトラブルシューティング	44
SMART OPS PCモジュールの接続	44
その他のデバイスの接続	44
USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続	45
外部ディスプレイの接続	46
外部オーディオシステムの接続	47
室内コントローラの接続	49
コネクタ図	50
SMART Board MX (V4)シリーズ	50
側面と底面のコネクタパネル	50
前面コネクタパネル	51
SMART Board MX Pro (V4)シリーズ	52
側面と底面のコネクタパネル	52
前面コネクタパネル	53
SMART Board MX(V4) およびMX Pro(V4) シリーズ	54
側面と底面のコネクタパネル	54
前面コネクタパネル	55
SMART Board MX(V2-CおよびV2)およびMXプロ(V2-CおよびV2)シリーズ	56
側面と底面のコネクタパネル	56
前面コネクタパネル	57
SMART Board MXシリーズ	58
側面と底面のコネクタパネル	58
前面コネクタパネル	59
AM40およびAM50機器	59

## ⚠ 警告

床に配線されたディスプレイのケーブル類は、適切に束ねた上で、つまずきの危険防止標識が付けられていることを確認してください。

## SMARTソフトウェアのインストール

このディスプレイには接続されたコンピュータにインストールできる次のソフトウェアが付属しています:

ソフトウェア	説明	注
SMART Notebook	SMART Boardインタラクティブディスプレイで使用するために設計された無料のソフトウェア。SMART Notebookソフトウェアには、学生のための魅力的なレッスンを作成、編集、提供するために使用できる多くの機能が付属しています。	<a href="#">SMART Notebook</a> を参照してください。
SMART Meeting Pro	事実上無制限のインタラクティブなワークスペースでアイデアを捉えることができるソフトウェアです。	Proモデルのみ。
SMART Product Drivers	コンピュータがディスプレイからの入力を検出できるようにするソフトウェアです。	SMART Notebook および SMART Meeting Pro ソフトウェアに含まれています。
SMART Ink	アプリケーションや、ファイル、フォルダ、ウェブサイト、およびその他の開いているウィンドウの上にデジタルインクで書き込みおよび描画できるソフトウェアです。	SMART Notebook および SMART Meeting Pro ソフトウェアに含まれています。
SMART Remote Management	リモート管理、サポート、コントロール、そしてディスプレイとその他のデバイスのセキュリティのためのクラウドベースモバイルデバイス管理ソフトウェア。	付属の保証期間のサブスクリプション <sup>1</sup>

### ヒント

他のコンピューターにもインストールするには、SMARTソフトウェアのための追加ライセンスまたはサブスクリプションを購入できます。

以下のソフトウェアも用意されていますが別売りです:

ソフトウェア	説明	注
SMART Learning Suite	レッスン提供、アクティビティ、評価、共同ワークスペースを組み合わせたデスクトップとオンラインソフトウェアのセット。SMART Notebook Plus ソフトウェアと SMART の Lumio™ が含まれています。	詳細については、 <a href="#">SMART Learning Suite</a> を参照してください。
SMART TeamWorks Room	ミーティングをシンプルに、さらに容易に、離れた場所の人も参加者ももっと自然に交流できるソフトウェア。	詳細については、 <a href="#">SMART TeamWorks</a> を参照してください。

SMARTソフトウェアの購入については、SMART正規販売店 ([smarttech.com/where](http://smarttech.com/where)) にお問い合わせください。

<sup>1</sup>サブスクリプション条件は地域によって異なる場合があります。

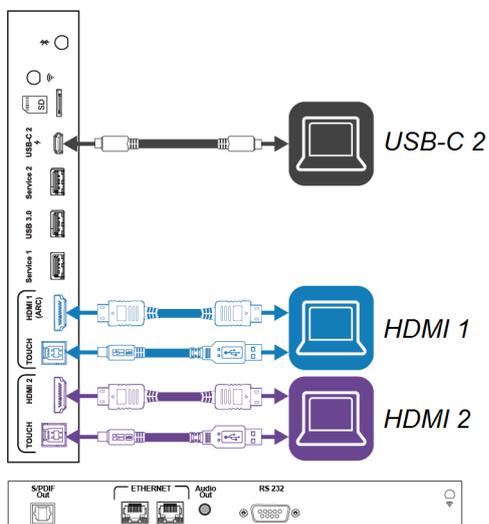
SMARTソフトウェアを[smarttech.com/downloads](http://smarttech.com/downloads)からダウンロードし、SMART Notebookのインストールおよびメンテナンス、SMART TeamWorksのインストールまたはSMART Meeting Proのインストールおよびメンテナンスの手順に従ってインストールしてください。

## ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続

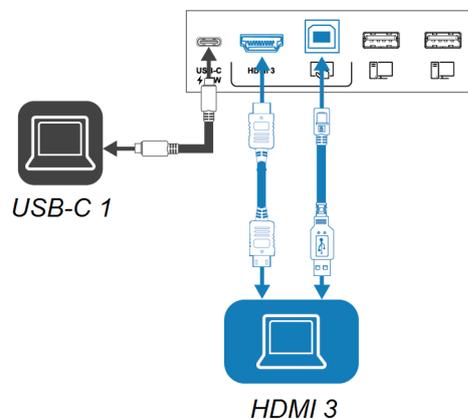
ルームコンピュータとゲストのノートパソコン用のケーブルを接続できます。ディスプレイを壁に搭載した後は、接続ポートに手が届きにくくなるため、これらの周辺機器等のケーブルを先に接続しておきます。接続したケーブルは、適宜、床や壁裏などに配線します。

V4

### 側面と底面のコネクタパネル

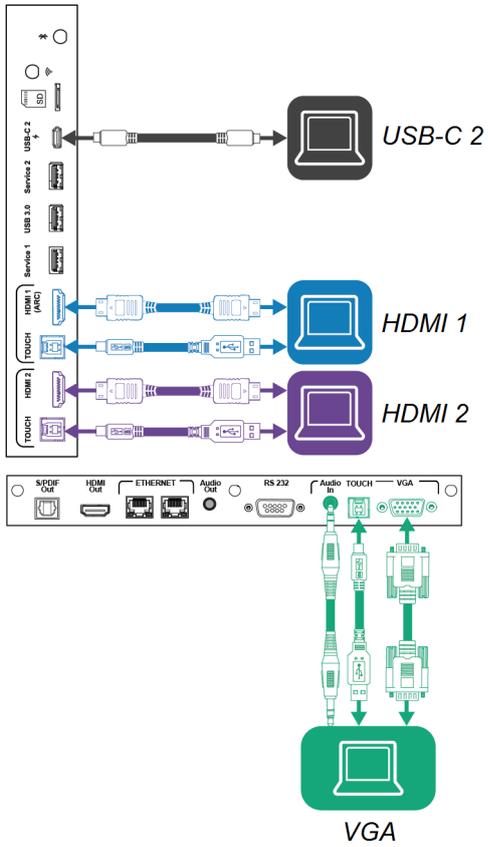


### 前面コネクタパネル

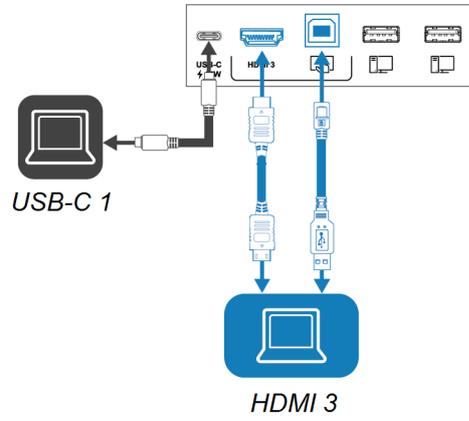


V4  
Pro

### 側面と底面のコネクタパネル

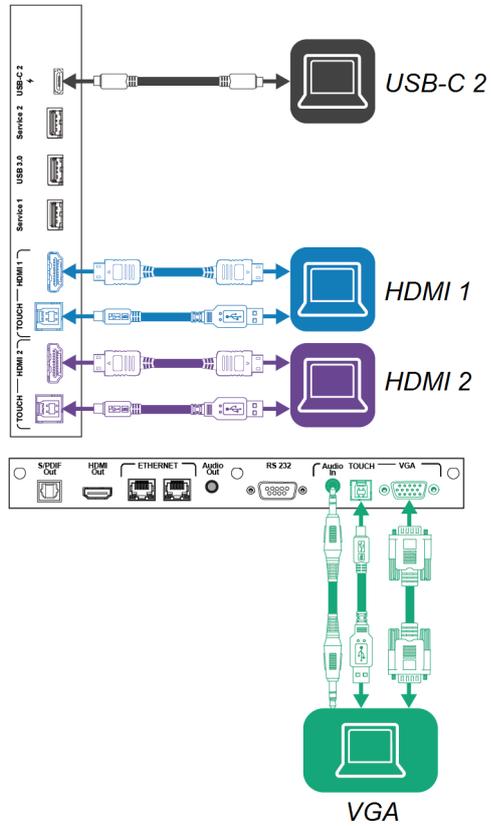


### 前面コネクタパネル

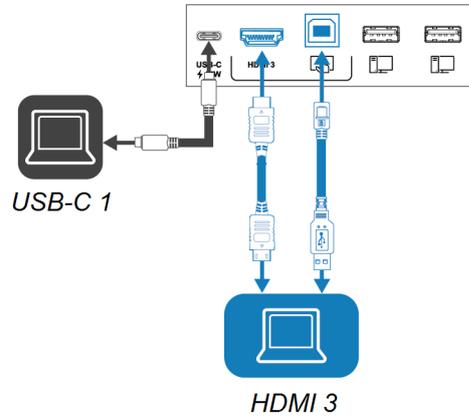




### 側面と底面のコネクタパネル

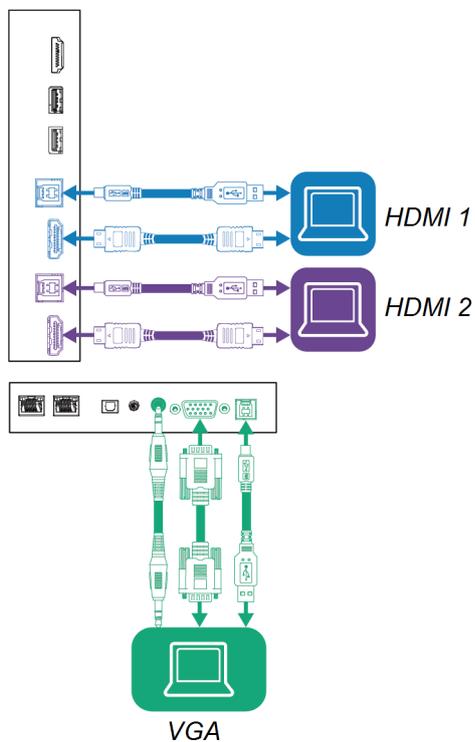


### 前面コネクタパネル

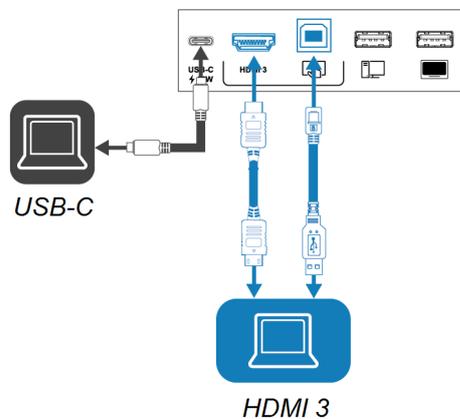




### 側面と底面のコネクタパネル

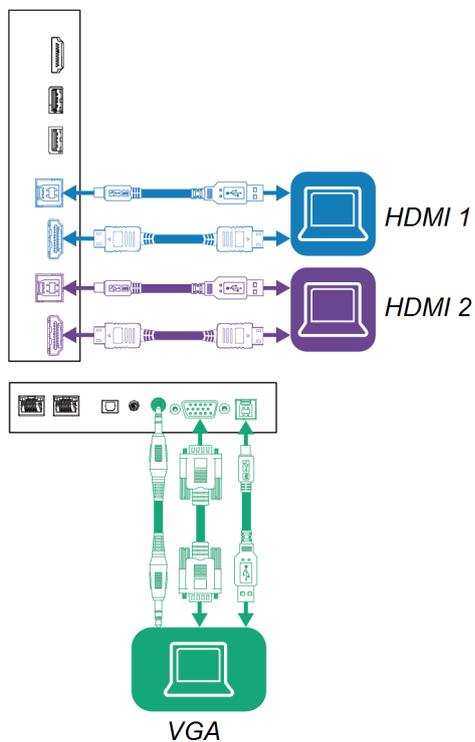


### 前面コネクタパネル

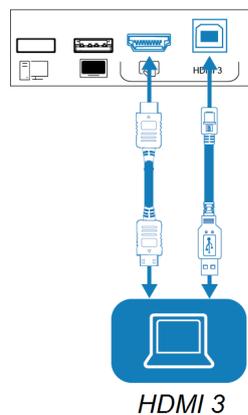




### 側面と底面のコネクタパネル

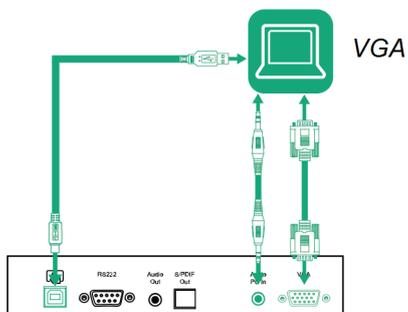
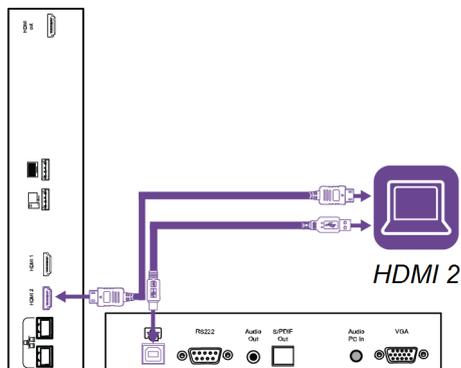
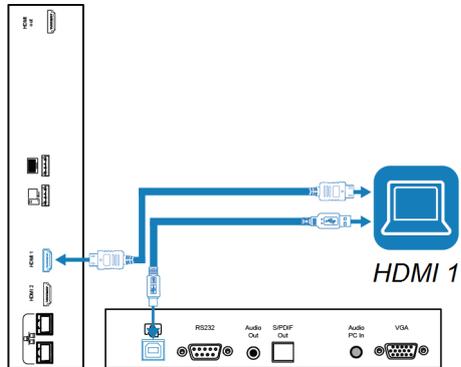


### 前面コネクタパネル

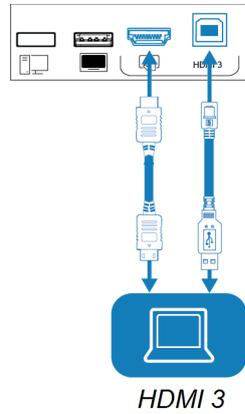


MX

### 側面と底面のコネクタパネル



### 前面コネクタパネル



### 注記

- ディスプレイに接続する全てのコンピュータにSMARTソフトウェアをインストールしてください(35 ページ SMARTソフトウェアのインストールを参照)。

- ディスプレイの USB タイプ C レセプタクルを使用してデバイスを充電できます。

モデル	USB タイプ C レセプタクルの位置	最大充電容量
	前面コネクタパネル	15W
	サイドコネクタパネル(アクセサリスロットにモジュール未装着時)	65 W
	サイドコネクタパネル(モジュールをアクセサリスロットに装着した場合)	30 W

- 接続されたコンピューターが「USB ハブが多すぎます」または「起動できません(コード 10)」と報告する場合は、ナレッジベースの記事 [SMART Board インタラクティブディスプレイと USB 層構造の使用](#) を参照してください。

## 接続したコンピューターの入力の表示



- ディスプレイにコンピューターを接続します。
- 次のいずれかの方法で使用可能な入力を表示します。
  - iQ が有効になっている場合は、ホーム画面で「**入力** 
」をタップします。  
または
- iQ が無効になっている場合は、**ホームボタン**( または ) を押します。
- 前面コントロールパネルの**入力**  を押してください。
- リモコンの**入力**  を押してください。

ディスプレイの入力に接続されているデバイスを示す、小さい画像が表示されます。

- 画像が灰色表示の場合、デバイスは入力ポートに接続されていません。
  - サムネイルが黒の場合、デバイスは入力ポートに接続されていますが、スタンバイモードになっています。
  - プレビュー画面を表示している画像は、アクティブなデバイスが入力ポートに接続されていることを示します。
  - タッチが有効になっている**  サムネイルは、ディスプレイとデバイス間に USB ケーブルが接続されており、タッチが使用可能であることを示しています。
- コンピューターの画像をタップします。

MX

1. ディスプレイにコンピューターを接続します。
2. フロントコントロールパネルの入力  を押します。

入力選択メニューが表示されます。

**注記**

接続されたデバイスのある入力は青色で表示され、接続がない入力は黒色で表示されます。

3. コンピュータの入力メニューオプションをタップします。

### 接続されたコンピュータの解像度とリフレッシュレートの設定

この表は、ディスプレイのUSB-CおよびHDMI入力の推奨解像度とリフレッシュレートを示しています。

解像度	入力アスペクト比	モード:	リフレッシュレート
3840 × 2160	16:9	UHD / 2160p	59.94 Hz / 60 Hz 50 Hz 29.97 Hz / 30 Hz 25 Hz 23.98 Hz / 24 Hz
1920 × 1080	16:9	FHD / 1080p	59.94 Hz / 60 Hz 50 Hz 29.97 Hz / 30 Hz 25 Hz 23.98 Hz / 24 Hz
1360 × 768	16:9	HD	60.015 Hz
1366 × 768	16:9	HD	60.015 Hz
1280 × 720	16:9	HD / 720p	59.94 Hz / 60 Hz 50 Hz 29.97 Hz / 30 Hz 25 Hz 23.98 Hz / 24 Hz
720 × 480	16:9	480p (DVDプレーヤー)	60 Hz

この図はディスプレイの入力の推奨解像度とリフレッシュレートを提示します。

解像度	入力アスペクト比	モード:	リフレッシュレート
1920 × 1080	16:9	[N/A]	60.000 Hz
1600 × 1200	4:3	[N/A]	60.000 Hz
1360 × 768	16:9	該当なし	60.015 Hz

解像度	入力アスペクト比	モード :	リフレッシュレート
1280 × 1024	5:4	SXGA 60	60.020 Hz
1024 × 768	4:3	XGA 60	60.004 Hz
		XGA 70	70.069 Hz
		XGA 75	75.029 Hz
800 × 600	4:3	SVGA 60	60.317 Hz
		SVGA 72	72.188 Hz
		SVGA 75	75.000 Hz
640 × 480	4:3	VGA 60	59.940 Hz

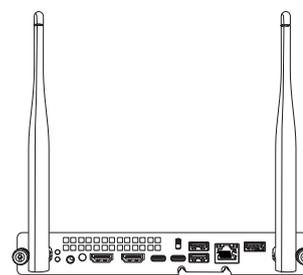
可能ならば、これらの解像度とリフレッシュレートに接続されたコンピューターを設定してください。手順に関しては、接続しているコンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

### 接続されているコンピューターのトラブルシューティング

接続されているコンピューターのトラブルシューティング情報については、68 ページのトラブルシューティングを参照してください。

## SMART OPS PCモジュールの接続

組織がSMART OPS PC モジュールを購入した場合、ユーザーまたは組織のインストーラーは、OPS PC モジュールのインストール手順 ([smarttech.com/kb/171775](http://smarttech.com/kb/171775) または [smarttech.com/kb/171544](http://smarttech.com/kb/171544)) に従って、ディスプレイのアクセサリスロットに OPS PC モジュールを取り付けることができます。その後、OPS PCモジュールの入力をディスプレイに表示できます。



SMART OPS PCモジュールの詳細については、SMART OPS PC モジュールのユーザーガイド ([smarttech.com/kb/171747](http://smarttech.com/kb/171747)) を参照してください。

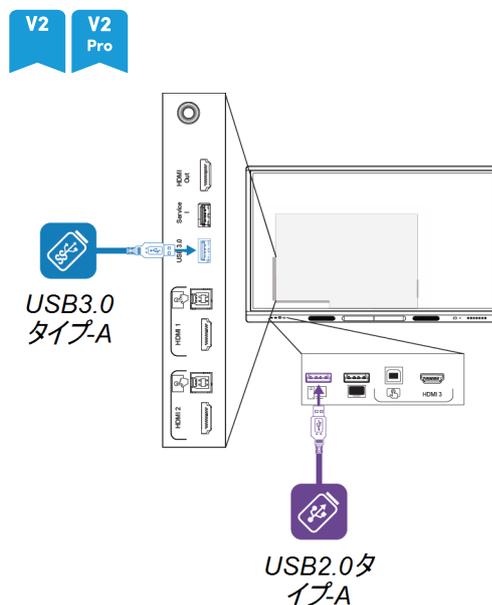
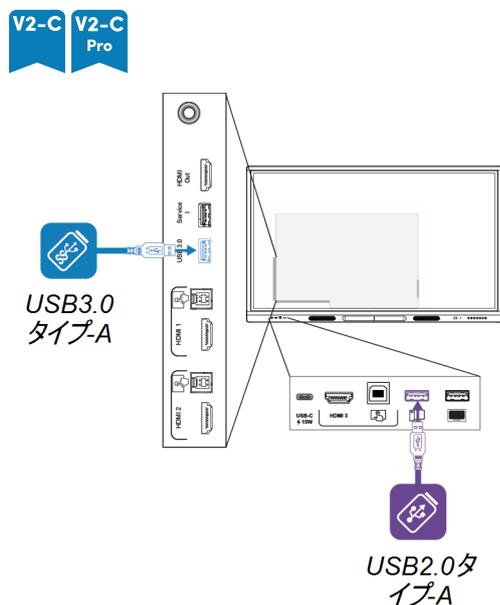
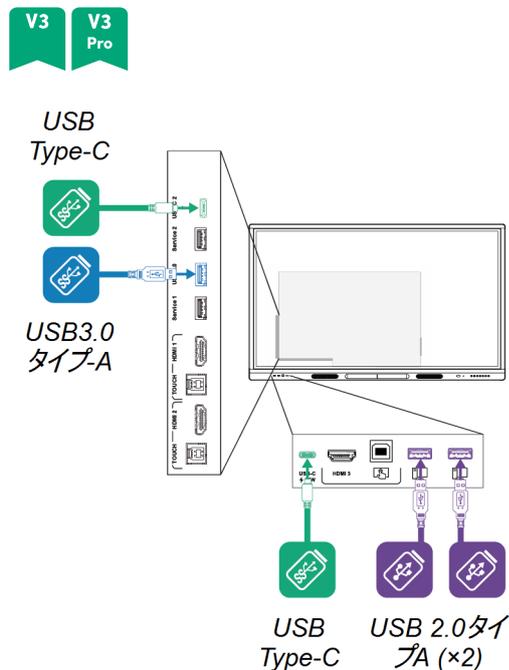
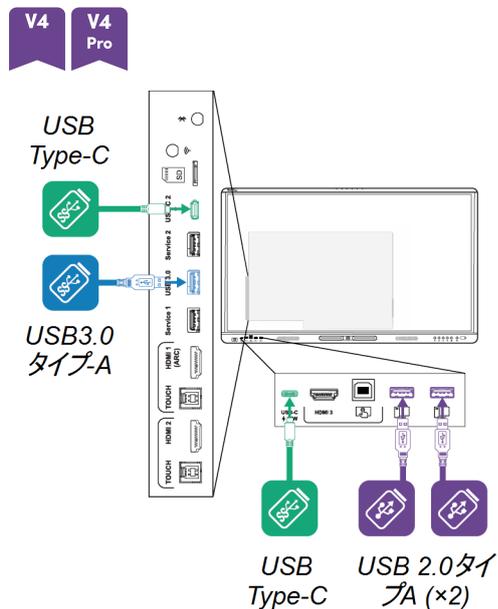
## その他のデバイスの接続

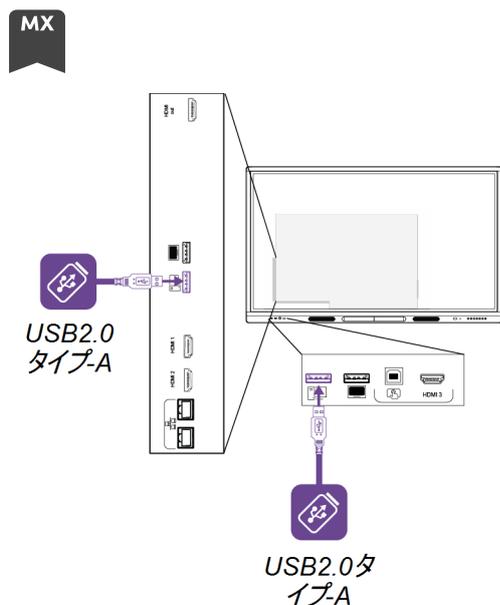
コンピューターに加えて、さまざまな他のデバイスをディスプレイに接続することができます。

- USBドライブ、周辺機器、およびその他のデバイス
- 外部ディスプレイ
- 外部オーディオシステム
- 室内制御システム

## USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続

ディスプレイには、次のUSBレセプタクルが含まれています。これらのコネクタにUSBドライブ、周辺機器（キーボードなど）、およびその他のデバイスを接続し、iQ、接続されたコンピュータ、およびアクセサリスロットにインストールされたデバイス（SMART OPS PCモジュールなど）でデバイスを使用できます。





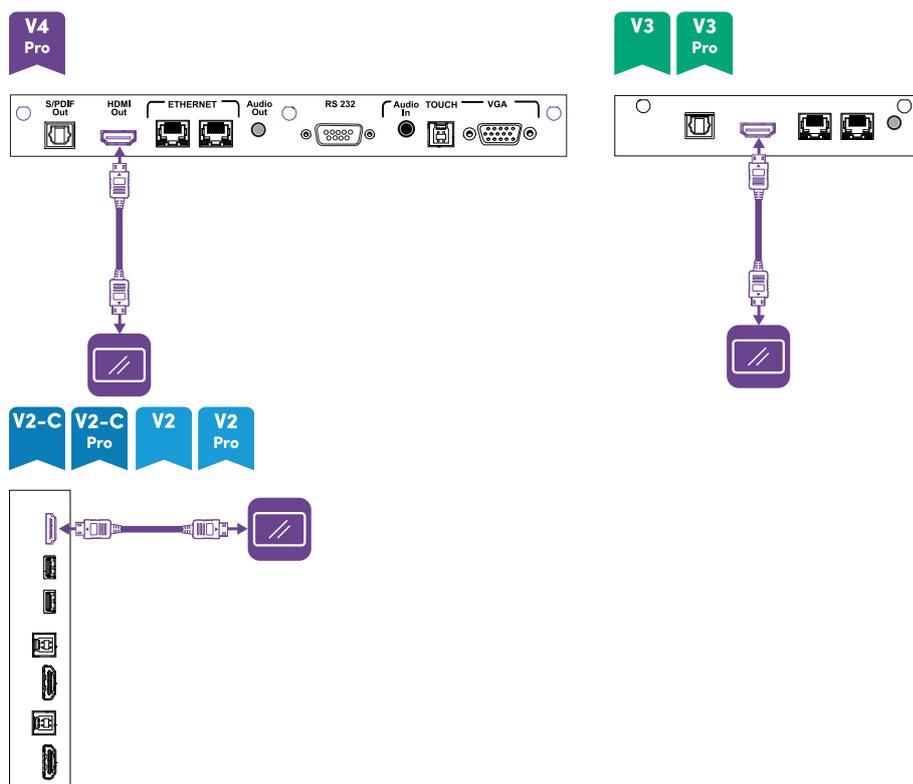
次の表に、各入力でサポートされているUSB速度を示します。

入力	USB2.0タイプ-A	USB3.0タイプ-A	USB Type-C
iQ	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード
USB-C 1	ハイスピード	ハイスピード	ハイスピード
USB-C 2	ハイスピード	ハイスピード	ハイスピード
HDMI 1	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード
HDMI 2	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード
HDMI 3	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード
VGA	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード
アクセサリスロット	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード

## 外部ディスプレイの接続



コネクタパネルにHDMI2.0出力コネクタがあるモデルに外部ディスプレイを接続できます。この外部ディスプレイにも同じ画像が表示されます。この機能は、2つ目のディスプレイがあれば便利な講堂やその他の広い空間でディスプレイを使用する場合に役立ちます。



#### 注記

SMART Board MX(V3N)モデルには、HDMI出力コネクタは含まれていません。

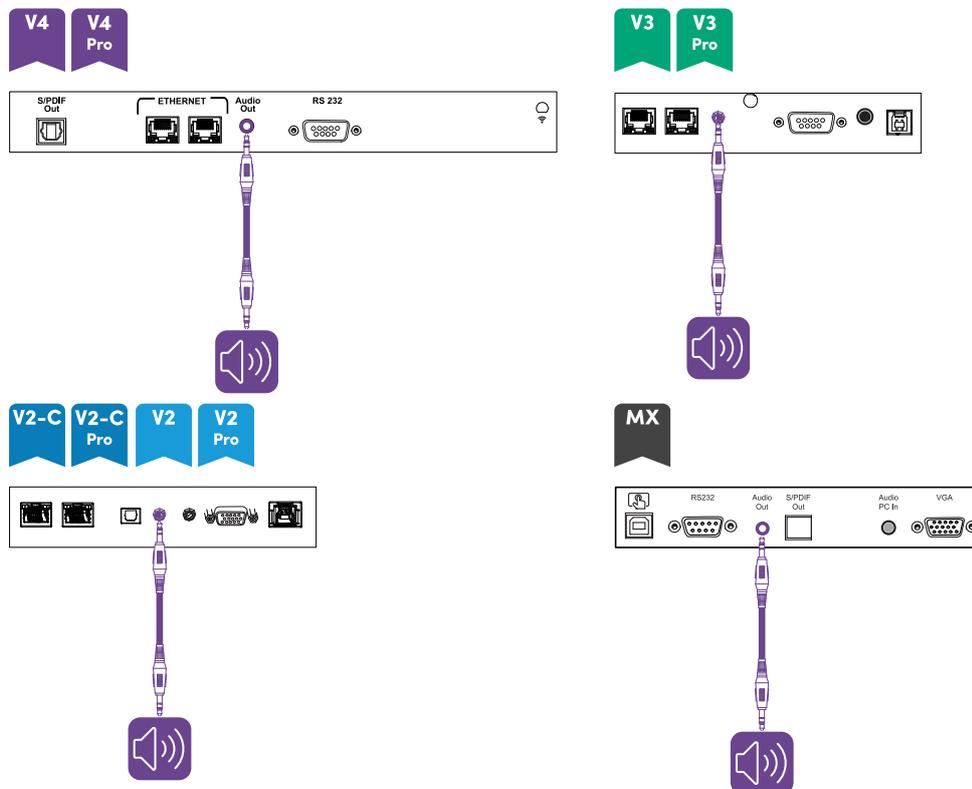
#### ❗ 重要事項

接続されている外部ディスプレイがHDCPIに対応していない場合は、外部ディスプレイの画像の解像度は480pに制限されます。完全な解像度の出力をしたい場合は、HDCPIに対応したディスプレイを接続してください。

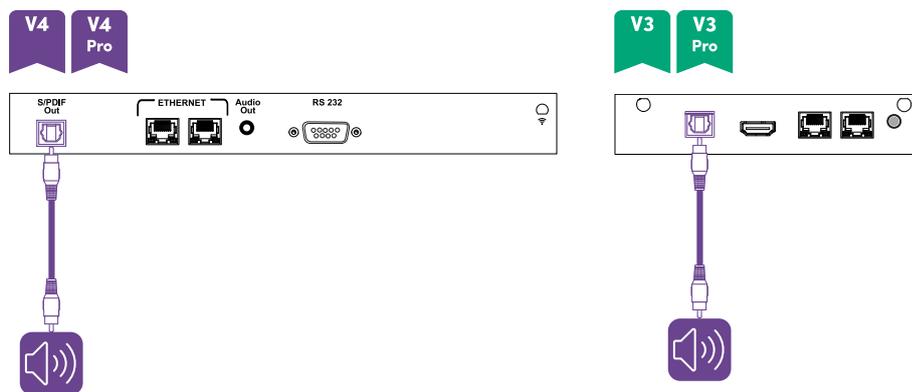
### 外部オーディオシステムの接続

ディスプレイにはスピーカー2台が付属し、これらスピーカーは室内の正面で音を出すよう設計されています。より広いスペースでサウンドを提供する場合は、外部オーディオシステムを接続する事もできます。

ステレオ3.5 mm出力コネクタを使用して、外部オーディオシステムをディスプレイに接続できます。これによりディスプレイの内部スピーカーが無効になります。室内のコンピューターに直接的に外部音声システムを接続することもできます。



ディスプレイには、3.5mmステレオ出力ポートのほか、ソニー / フィリップスデジタルインターフェース (S/PDIF) 出力ポートも搭載されています。S/PDIFは、デジタルオーディオを伝送する媒体です。この接続をアナログにデコードするには、S/PDIF入力を持つオーディオシステムが必要です。ほとんどの外部サウンドバーにはS/PDIFコネクタが付いています。





#### 注記

S/PDIFオーディオは固定音量出力です。内蔵スピーカーのディスプレイの音量を調整しても、S/PDIFポートの音量出力には影響しません。

## 室内コントローラの接続

室内制御システムでは、部屋の照明、オーディオシステムとディスプレイを制御することができます。一部の設置のケースでは、ディスプレイを室内制御システムと統合させる必要があります。

サードパーティー外部コントロールシステムを接続するためにディスプレイのRS-232コネクタに使用できます (104 ページRS-232を使用 SMART Board MX (V2)、MXプロ(V2)、およびそれ以降のシリーズモデルの管理 または114 ページRS-232を使用 SMART Board MXシリーズモデルの管理をご覧ください)。

#### 注記

ディスプレイは、ユニバーサルリモートコントロールなどの一元的な遠隔制御システムとの互換性はありません。

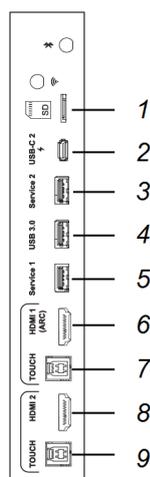
# コネクタ図



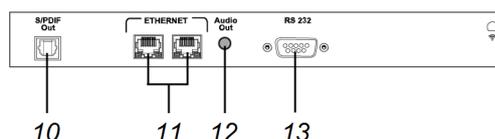
## 側面と底面のコネクタパネル

この図と表は、SMART Board MX(V4)シリーズモデルの側面および下部コネクタパネルのコネクタを示しています。

### 側面



### 下

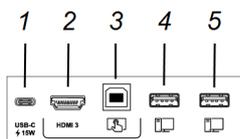


No.	コネクタ	接続先	注
1	Micro SD	該当なし	該当なし
2	USB Type-C	USB Type-C 2入力	36 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
3	USB3.0タイプ-A	該当なし	このコネクタはサービスポートです。
4	USB3.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
5	USB2.0タイプ-A	該当なし	このコネクタはサービスポートです。
6	HDMI 2.0 IN	HDMI 1入力 (ビデオおよびオーディオ)	36 ページ および <a href="#">HDMI ケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
7	USB3.0タイプ-B	HDMI 1入力 (タッチ)	36 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
8	HDMI 2.0 IN	HDMI 2入力 (ビデオおよびオーディオ)	36 ページ および <a href="#">HDMI ケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
9	USB3.0タイプ-B	HDMI 2入力 (タッチ)	36 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください</a> 。

No.	コネクタ	接続先	注
10	S/PDIF出力	デジタルオーディオ出力	47 ページおよび <u>デジタルオーディオケーブルおよびコネクタ</u> を参照してください。
11	RJ45 (×2)	ネットワーク	27 ページ および <u>イーサネット(ネットワーク)ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
12	ステレオ3.5mm出力	外部オーディオシステム	47 ページ および <u>アナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
13	RS-232	室内制御システム	104 ページおよび <u>RS-232のケーブルおよびコネクタ</u> を参照してください。

### 前面コネクタパネル

次の図と表は、SMART Board MX(V4)シリーズモデルの前面コネクタパネルのコネクタを示しています。



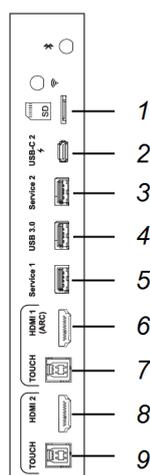
No.	コネクタ	接続部分	注
1	USB Type-C	USB Type-C 1入力	36 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
2	HDMI 2.0 IN	HDMI 3入力(ビデオ およびオーディオ)	36 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
3	USB3.0タイプ-B	HDMI 3入力(タッチ)	36 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
4	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
5	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。



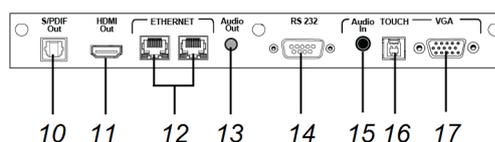
### 側面と底面のコネクタパネル

この図と表は、SMART Board MX Pro(V4)シリーズモデルの側面および下部コネクタパネルのコネクタを示しています。

#### 側面



#### 下

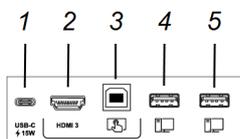


No.	コネクタ	接続先	注
1	Micro SD	該当なし	該当なし
2	USB Type-C	USB Type-C 2入力	36 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください。</a>
3	USB3.0タイプ-A	該当なし	このコネクタはサービスポートです。
4	USB3.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください。</a>
5	USB2.0タイプ-A	該当なし	このコネクタはサービスポートです。
6	HDMI 2.0 IN	HDMI 1入力 (ビデオおよびオーディオ)	36 ページ および <a href="#">HDMI ケーブルとコネクタを参照してください。</a>
7	USB3.0タイプ-B	HDMI 1入力 (タッチ)	36 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください。</a>
8	HDMI 2.0 IN	HDMI 2入力 (ビデオおよびオーディオ)	36 ページ および <a href="#">HDMI ケーブルとコネクタを参照してください。</a>
9	USB3.0タイプ-B	HDMI 2入力 (タッチ)	36 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください。</a>
10	S/PDIF出力	デジタルオーディオ出力	47 ページ および <a href="#">デジタルオーディオケーブルおよびコネクタを参照してください。</a>

No.	コネクタ	接続先	注
11	HDMI 2.0 OUT2	外部ディスプレイ	46 ページ <u>外部ディスプレイの接続</u> および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
12	RJ45 (×2)	ネットワーク	27 ページ および <u>イーサネット (ネットワーク) ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
13	ステレオ3.5mm出力	外部オーディオシステム	47 ページ および <u>アナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
14	RS-232	室内制御システム	104 ページ および <u>RS-232のケーブル</u> および <u>コネクタ</u> を参照してください。
15	3.5 mmステレオ入力	VGA入力 (オーディオ)	36 ページ および <u>アナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
16	USB3.0タイプ-B	VGA入力 (タッチ)	36 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
17	VGA IN	VGA入力 (ビデオ)	36 ページ および <u>VGAケーブルとコネクタ</u> を参照してください。

### 前面コネクタパネル

この図と表は、SMART Board MX Pro(V4)シリーズモデルのフロントコネクタパネルのコネクタを示しています。



No.	コネクタ	接続部分	注
1	USB Type-C	USB Type-C 1入力	36 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
2	HDMI 2.0 IN	HDMI 3入力 (ビデオ および オーディオ)	36 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
3	USB3.0タイプ-B	HDMI 3入力 (タッチ)	36 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
4	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブレット、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
5	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブレット、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。

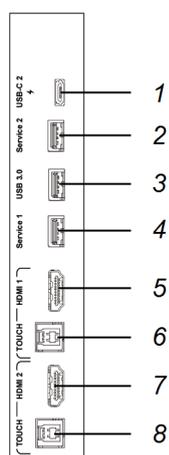
<sup>2</sup>SMART Board MX(V3N)モデルには、HDMI出力コネクタは含まれていません。



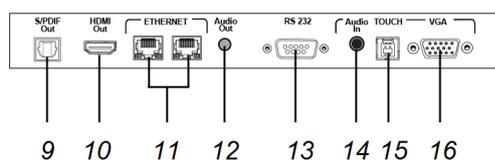
### 側面と底面のコネクタパネル

この図と表は、SMART Board MX (V3)およびMX Pro (V3)シリーズモデルの側面および下部コネクタパネルのコネクタを示しています。

#### 側面



#### 下

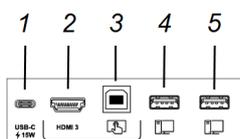


No.	コネクタ	接続先	注
1	USB Type-C	USB Type-C 2入力	36 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
2	USB3.0タイプ-A	該当なし	このコネクタはサービスポートです。
3	USB3.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
4	USB2.0タイプ-A	[N/A]	このコネクタはサービスポートです。
5	HDMI 2.0 IN	HDMI 1入力 (ビデオおよびオーディオ)	36 ページ および <a href="#">HDMI ケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
6	USB3.0タイプ-B	HDMI 1入力 (タッチ)	36 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
7	HDMI 2.0 IN	HDMI 2入力 (ビデオおよびオーディオ)	36 ページ および <a href="#">HDMI ケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
8	USB3.0タイプ-B	HDMI 2入力 (タッチ)	36 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
9	S/PDIF出力	デジタルオーディオ出力	47 ページおよび <a href="#">デジタルオーディオケーブルおよびコネクタを参照してください</a> 。

No.	コネクタ	接続先	注
10	HDMI 2.0 OUT3	外部ディスプレイ	46 ページ <u>外部ディスプレイの接続</u> および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
11	RJ45 (×2)	ネットワーク	27 ページ <u>およびイーサネット (ネットワーク) ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
12	ステレオ3.5mm出力	外部オーディオシステム	47 ページ <u>およびアナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
13	RS-232	室内制御システム	104 ページ <u>およびRS-232のケーブル</u> および <u>コネクタ</u> を参照してください。
14	3.5 mmステレオ入力	VGA入力 (オーディオ)	36 ページ <u>およびアナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
15	USB3.0タイプ-B	VGA入力 (タッチ)	36 ページ <u>および USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
16	VGA IN	VGA入力 (ビデオ)	36 ページ <u>および VGAケーブルとコネクタ</u> を参照してください。

### 前面コネクタパネル

この図と表は、SMART Board MX(V3)およびMX Pro(V3)シリーズモデルのフロントコネクタパネルのコネクタを示しています。



No.	コネクタ	接続先	注
1	USB Type-C	USB Type-C1入力	36 ページ <u>および USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
2	HDMI 2.0 IN	HDMI 3入力 (ビデオ およびオーディオ)	36 ページ <u>およびアナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
3	USB3.0タイプ-B	HDMI 3入力 (タッチ)	36 ページ <u>および USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
4	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ <u>および USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
5	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ <u>および USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。

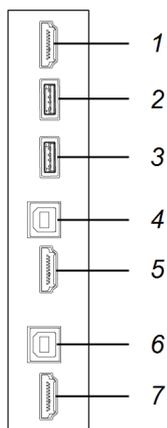
<sup>3</sup>SMART Board MX(V3N)モデルには、HDMI出力コネクタは含まれていません。



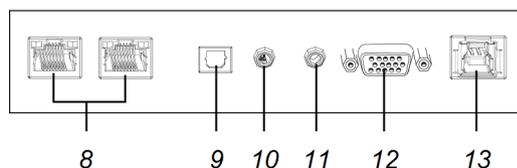
### 側面と底面のコネクタパネル

この図と表は、SMART Board MX (V2-CおよびV2)およびMX Pro (V2-CおよびV2)シリーズモデルの側面および下部コネクタパネルのコネクタを示しています。

#### 側面



#### 下



No.	コネクタ	接続先	注
1	HDMI 2.0 OUT	外部ディスプレイ	46 ページ <u>外部ディスプレイの接続</u> および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
2	USB2.0タイプ-A	該当なし	このコネクタはサービスポートです。
3	USB3.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
4	USB3.0タイプ-B	HDMI 1入力 (タッチ)	36 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
5	HDMI 2.0 IN	HDMI 1入力 (ビデオおよびオーディオ)	36 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
6	USB3.0タイプ-B	HDMI 2入力 (タッチ)	36 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
7	HDMI 2.0 IN	HDMI 2入力 (ビデオおよびオーディオ)	36 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
8	RJ45 (×2)	ネットワーク	27 ページ および <u>イーサネット (ネットワーク) ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
9	S/PDIF出力	デジタルオーディオ出力	47 ページ および <u>デジタルオーディオケーブルおよびコネクタ</u> を参照してください。
10	ステレオ3.5mm出力	外部オーディオシステム	47 ページ および <u>アナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。

No.	コネクタ	接続先	注
11	3.5 mmステレオ入力	VGA入力 (オーディオ)	36 ページ および <u>アナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
12	VGA IN	VGA入力 (ビデオ)	36 ページ および <u>VGAケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
13	USB3.0タイプ-B	VGA入力 (タッチ)	36 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。

### 前面コネクタパネル

この図と表は、SMART Board MX(V2-CおよびV2)およびMX Pro(V2-CおよびV2)シリーズモデルのフロントコネクタパネルのコネクタを示しています。



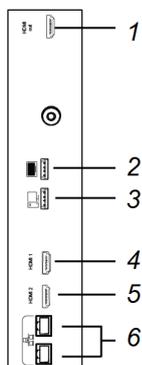
No.	コネクタ	接続先	注
1	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
2	USB2.0タイプ-A	対応するUSBドライブ	ディスプレイのファームウェアを更新するにはUSBドライブを接続してください。
3	USB2.0タイプ-B	HDMI 3入力(タッチ)	36 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
4	HDMI 2.0 IN	HDMI 3入力(ビデオ およびオーディオ)	36 ページ および <u>アナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
5	USB Type-C	USB Type-C入力	36 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。



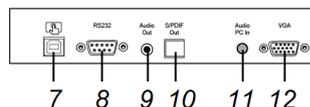
### 側面と底面のコネクタパネル

この図と表は、SMART Board MXシリーズモデルの側面および下部コネクタパネルのコネクタを示しています。

#### 側面



#### 下

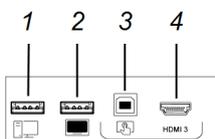


No.	コネクタ	接続先	注
1	HDMI1.4出力 (HDCP-対応)	外付けモニタ	このコネクタは、HDCP暗号化 HDMIです。 <b>注記</b> HDMI 出力はオプション機能です。詳しい注文方法については、SMART正規販売店 ( <a href="http://smarttech.com/where">smarttech.com/where</a> )にお問い合わせください。
2	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	ディスプレイのファームウェアを更新するにはUSBドライブを接続してください。 <b>注記</b> ディスプレイのトラブルシューティングを行う場合は、USBマウスを接続してディスプレイのオンスクリーンメニューを操作してください。
3	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
4	HDMI 2.0 IN	HDMI 1入力 (ビデオおよびオーディオ)	36 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
5	HDMI 2.0 IN	HDMI 2入力 (ビデオおよびオーディオ)	36 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。

No.	コネクタ	接続先	注
6	RJ45 (×2)	ネットワーク	27 ページ およびイーサネット (ネットワーク) ケーブルとコネクタを参照してください。
7	USB2.0タイプ-B	HDMI 1、HDMI 2、またはVGA 入力 (タッチ式)	36 ページ および USBケーブルとコネクタを参照してください。
8	RS-232	室内制御システム	114 ページおよびRS-232のケーブル およびコネクタを参照してください。
9	ステレオ3.5mm出力	外部オーディオシステム	47 ページ およびアナログオーディオ ケーブルとコネクタを参照してください。
10	S/PDIF出力	デジタルオーディオ出力	47 ページおよび デジタルオーディオ ケーブルおよびコネクタを参照してください。
11	3.5 mmステレオ入力	VGA入力 (オーディオ)	36 ページ およびアナログオーディオ ケーブルとコネクタを参照してください。
12	VGA IN	VGA入力 (ビデオ)	36 ページ および VGAケーブルとコネクタを参照してください。

### 前面コネクタパネル

次の図と表は、SMART Board MX(V4)シリーズモデルの前面コネクタパネルのコネクタを示しています。



No.	コネクタ	接続先	注
1	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	45 ページ および USBケーブルとコネクタを参照してください。
2	USB2.0タイプ-A	対応するUSBドライブ	ディスプレイのファームウェアを更新するにはUSBドライブを接続してください。
3	USB2.0タイプ-B	HDMI 3入力 (タッチ)	36 ページ および USBケーブルとコネクタを参照してください。
4	HDMI 1.4 IN	HDMI 3入力 (ビデオ およびオーディオ)	36 ページ およびアナログオーディオ ケーブルとコネクタを参照してください。

### AM40およびAM50機器

[iQ機器・コネクタパネル](#) をご覧ください。

## 第4章 ディスプレイのメンテナンス

ディスプレイをオフ、オン、およびリセット	60
ハードウェアのクリーニングと管理	62
ディスプレイの設置状態の確認	62
画面のクリーニング	62
タッチセンサーのクリーニング	62
通気の確保	63
結露の防止	63
ペンの交換	63
ディスプレイの取り外しおよび輸送	64
SMART Board MXシリーズモデルのファームウェアアップデートのためのネットワークの設定	65
SMART Board MXシリーズモデルのファームウェアの更新	65
iQシステムソフトウェアの更新	66
自動システムソフトウェアの更新の手動での適用	66
システムソフトウェアの手動更新	66
ディスプレイの向きを変える	67

ディスプレイを適切に使用することで、長期間使用することができます。

### ディスプレイをオフ、オン、およびリセット

ほとんどの場合、ディスプレイを使用していない場合は、SMART Board MX および MX Pro シリーズインタラクティブディスプレイのユーザーガイド ([smarttech.com/kb/171554](http://smarttech.com/kb/171554)) の手順に従ってディスプレイをスリープまたはスタンバイ状態に設定できます。

ディスプレイの移動中や画面をクリーニングする間は、ディスプレイをOFFにする必要があります。ディスプレイは後で点灯させることができます。

また、このディスプレイをリセットすることもできます。

#### ディスプレイの電源をOFFにする



1. フロントコントロールパネルまたはリモコンの電源ボタン  を5秒間押してください。  
画面上にスライダーが表示されます。
2. スライダーを右に動かします。

3. AC電源入力のスイッチをOFF (O) 位置に切り替えます。

#### 注記

30秒以上待つてから、ディスプレイの電源をONにします。

MX

フロントコントロールパネルの電源 ボタン  を2秒間押してください。

### ディスプレイの電源を入れる



#### 注記

ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレイがタッチに反応するようになります。

1. AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置のONにフリックします。
2. フロントコントロールパネルまたはリモコンの電源 ボタン  を押してください。

MX

フロントコントロールパネルの電源 ボタン  を押します。

### ディスプレイをリセットする



フロントコントロールパネルまたはリモコンの電源 ボタン  を10秒間押し続けてください。

ディスプレイがリセットされます。

MX

1. スイッチをOFF(O)の位置に切り替えます。
2. スイッチをON( | )の位置に切り替えます。  
ディスプレイとiQコントローラがリセットされます。

## ハードウェアのクリーニングと管理

### ディスプレイの設置状態の確認

ディスプレイの取り付けを頻繁に確認してしっかりと取り付けられていることを確認してください。

- 時間の経過とともに発生するダメージや弱さの兆候について取り付け位置を確認します。
- 取り付けハードウェアで発生する可能性があるネジの緩み、ギャップ、歪みやその他の問題をチェックしてください。

問題を見つけた場合は、訓練を受けた設置者にお問い合わせください。

### 画面のクリーニング

防眩コーティングやその他の製造部品を損なうことが無く、画面をきれいにするこれらの手順に従います。

#### ⚠ 注意事項

- 画面に油性マーカーまたはホワイトボードマーカーを使用しないでください。ホワイトボードマーカーを画面で使用する場合は、糸くずの無い、非研磨布でできるだけ早くインクを落とします。
- 高密度または粗度材を使って画面をこすらないでください。
- 画面に圧力を与えないでください。
- 画面に洗浄液やガラスクリーナーを使用しないでください。画面が損傷したり変色したりする可能性があります。

#### 画面をきれいに

1. あらゆる接続先のコンピューターの電源を切ります。
2. ディスプレイの電源を切ってください(60 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照)。
3. 画面を糸くずの無い、非研磨布でふき取ります。

#### 注記

また、湿らせた布に食器用洗剤を一滴垂らして使用するか、ナレッジベース記事、[SMART Boardの表面とアクセサリのクリーニング方法](#) の指示に従うこともできます。

### タッチセンサーのクリーニング

このディスプレイは、画面とフレームの間のディスプレイの周囲に赤外線 (IR) 送信機とセンサーを使用しています。保護プラスチックに埃が溜まるとタッチ性能が損なわれる可能性があります。これらの部分の埃を点検し、毎週清掃してください。

### ⚠ 注意事項

- センサーや縁を清掃する場合に圧縮空気を使用しないでください。
- タッチセンサーの洗浄に水や洗浄剤を使用しないでください。
- プラスチックを損傷する可能性があるため、ディスプレイを清掃する際は余り圧力をかけないでください。

### 赤外線送信機とセンサーの清掃

1. 糸くずの出ない表面を傷つけない清潔な布で、ディスプレイの画面の周囲にあるフレームと画面の間のプラスチックを軽く拭いてください。
2. それでも汚れが残っている場合は、50%のイソプロピルアルコール(IPA)を使用して画面とフレームの間の保護プラスチックを清掃してください。

### 通気の確保

ディスプレイには、適切な換気が必要です。換気口で積み重なるほこりが冷却を損ね、製品の故障につながる可能性があります。

- 乾いた布で毎月アクセス可能な通気孔をクリーニングします。
- 背面の換気口を定期的に清掃する狭いホースの先端が適合する電気掃除機を使用します。壁からディスプレイを取り外す必要がある場合があります。

このディスプレイの削除の詳細については、64 ページ [ディスプレイの取り外しおよび輸送](#) を参照してください。

### ⚠ 注意事項

過度に埃や湿気の多い場所、または煙が充満した場所ではディスプレイの設定や使用を避けてください。

### 結露の防止

ディスプレイが寒い環境から暖かい環境に移動した場合(例えば倉庫から設置場所)、ディスプレイを数時間おいて新しい場所の温度に適応させてください。適応のための時間を取らないと、フロントガラスとLCDの間で湿気が発生する可能性があります。

ディスプレイをオンにした後で結露が画面の下に発生する場合、アクティブなビデオソースを選択し、ディスプレイを48時間オンにしたままにします。結露が放散されない場合、ディスプレイがまだ保証期間内であればSMARTのサポート部門に連絡してください。

レイヤー間の湿気が多く、水分が滴り落ちたり流れ出る場合には、すぐに電源を切り、ディスプレイがまだ保証期間内であればSMARTのサポート部門に連絡してください。

### ペンの交換

ディスプレイの反射防止表面を傷めないよう、ペン先が摩耗したペンは交換してください。SMART部品用のストアからペンの交換品を購入できます([smarttech.com/Support/PartsStore](http://smarttech.com/Support/PartsStore)を参照)。

## 注記

ペンの部品番号については、サービス部品の図を参照してください。

## ディスプレイの取り外しおよび輸送

壁に設置したディスプレイを、現在の場所から取り外して別の場所に移動する必要がある場合があります。

ディスプレイの安全な取り外しと移動は、訓練を受けた2名以上の作業者が行ってください。

### ⚠ 警告

- 一人でディスプレイを移動させようとししないでください。ディスプレイはかなりの重量物です。
- 背面のハンドルにロープやワイヤをつないでディスプレイを動かさないでください。ディスプレイが転倒し、怪我や製品の損傷につながる可能性があります。

### ❗ 重要事項

サードパーティ製の取付金具に付属されているマニュアルに従ってください。

## ディスプレイの取り外し

1. 接続されたコンピューターの電源を切ってください。
2. フロントのコントロールパネルにある電源ボタン  を4秒間押し続けてディスプレイの電源を切ってください。
3. ディスプレイの背面にあるスイッチをOFF (O)の位置にしてください。
4. 手が届くすべてのケーブルと、コネクタ、そしてアンテナを取り外してください。
5. アクセサリスロットから全てのモジュールを取り外してください。
6. ディスプレイを取り付け位置から持ち上げ、元の出荷ボックスに入れてください。

### ⚠ 警告

傾いていたり安定しない台車やスタンド、テーブルの上にディスプレイを置かないでください。ディスプレイが転倒して、負傷したり製品が大きく損傷したりするおそれがあります。

### ⚠ 注意事項

ディスプレイの画面を長期間、上や下に向けた状態、または上下逆の状態では放置しないでください。画面に回復不能な損傷が生じるおそれがあります。

7. 取り付けブラケットを取り外します。

## ディスプレイを移動させる

19 ページディスプレイの設置場所への移動を参照してください。

## SMART Board MXシリーズモデルのファームウェアアップデートのためのネットワークの設定

MX

Wi-Fiまたはイーサネット接続で、ディスプレイをネットワークに接続することができます。ディスプレイを接続する前に、組織のネットワーク管理者は、自動ファームウェアの更新を許可するためにネットワークを構成する必要があります。

### ネットワークを設定するには

1. ファームウェアの自動更新に必要なポートを開放する:

プロトコル	ポート範囲
TCP	80

2. ネットワークの許可リストに以下のURLを追加してください:

- <http://api.lango-tech.cn>
- <http://lango-tech.cn/>
- <http://otaa.lango-tech.cn>
- <http://otag.lango-tech.cn>
- <http://downloads.smarttech.com>

## SMART Board MXシリーズモデルのファームウェアの更新

MX

ディスプレイの日付と時刻が正しく設定され(82 ページシステム設定参照)、ディスプレイがインターネットに接続されている場合、ディスプレイは自動的にファームウェアの更新を確認します。ファームウェアの更新が可能な場合は、ディスプレイに通知されます。

ディスプレイがインターネットに接続されており、ディスプレイのファームウェアの更新が可能な場合、更新が可能であることを示すメッセージを表示します。

- **更新**をタップして、ディスプレイのファームウェアを更新します。
- **無視**をタップすると、その特定のファームウェアの更新をスキップすることができます。ディスプレイは、手動で更新を確認しても、その更新は適用されません。
- **[キャンセル]**をタップして、後でディスプレイのファームウェアを更新します。

しばらくして何も選択されないと、自動的にファームウェアの更新が適用されます。

更新をインストールしている間は、タッチと、フロントコントロールパネル、そしてリモコンは応答しません。

ファームウェアを更新するためにネットワークが正しく設定されているかどうかを確認するには、65 ページ *SMART Board MX* シリーズモデルのファームウェアアップデートのためのネットワークの設定を参照してください。

ディスプレイのiQシステムソフトウェアを更新する場合は、66 ページ *iQ* システムソフトウェアの更新を参照してください。

## iQシステムソフトウェアの更新

ディスプレイがインターネットに接続すると、システムソフトウェアが自動的に更新されます。

システムのソフトウェアの更新が利用可能な場合、ディスプレイがバックグラウンドで更新をダウンロードした後、4時間の無活動状態を待機します。インストール実行前には2分間のカウントダウンが表示されます。カウントダウンはいつでも停止できます。カウントダウンが終了すると更新が開始します。画面は4分間、空白になります。アップデートが完了するとホーム画面が表示されます。

更新をインストールしている間は、タッチと、フロントコントロールパネル、そしてリモコンは応答しません。

SMART Board MXシリーズのファームウェアを更新する場合は、65 ページ *SMART Board MX* シリーズモデルのファームウェアの更新を参照してください。

### 注記

システムソフトウェアの自動更新を許可または禁止するために組織のネットワークを構成することができます。(ネットワークへの接続を参照)。

## 自動システムソフトウェアの更新の手動での適用

ディスプレイがシステムソフトウェアの更新プログラムをダウンロードし、更新プログラムをまだ適用していない場合は、設定メニューから更新プロセスを手動で開始することができます。

### iQシステムソフトウェアの自動更新を手動で適用する

1. ホーム画面で、設定  をタップします。
2. 自動更新までスクロールします。
3. 更新プログラムを今すぐ確認の下にある、更新を今すぐ適用をタップします。

## システムソフトウェアの手動更新

[smarttech.com/downloads](http://smarttech.com/downloads) でシステムのソフトウェアの更新をダウンロードし、USBドライブを使用してディスプレイを更新します。

## ディスプレイの向きを変える

ディスプレイがコンピュータに接続されていて、ポインタが実際のディスプレイから離れた場所に表示されている場合は、ディスプレイの向きを変えます 画面をタッチしたときに接触します。

### 注記

ディスプレイの方向を設定するのに指またはペンを使用できます。

コンピューターに接続されている場合にディスプレイの方向を設定するには

1. 通知領域 (Windows) または Mac メニューバー (macOS) で [  ] をタップし、[ 方向 ] を選択します。
2. 表示されているように赤のターゲットをタップします。指またはペンの先で各ターゲットの中心部で押しただけのままにしてから、ペンまたは指を持ち上げてください。ペンや指を持ち上げると、ターゲットは次の方向ポイントに移動します。

### ❗ 重要事項

画面に正しい角度でペンを持ちます。

3. すべてのターゲットを押すまで続けます。  
方向ウィンドウを閉じます。

# 第 5 章 トラブルシューティング

ディスプレイの電源が入っていません	68
画面に何も表示されていないか、画面上の画像に問題があります	69
音が出ない、または音声に問題がある	72
タッチが正常に動作していません	73
ペンと消しゴムが正常に動作していません	74
NFC サインインが期待どおりに機能しない	75
iQアプリが正常に動作していません	75
接続されたコンピュータのSMARTソフトウェアが正常に動作していません	75
SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しない	76
Intel Compute Cardが正常に動作していない	76
RS232が正常に動作していません	76
最低限必要な SMART 製品ドライバーのバージョン	76
その他のサポート、販売店 へのお問い合わせ	76

このページでは、ディスプレイに関するさまざまな一般的な問題を解決する方法について説明します。特定の問題が以下に説明されていない場合、または問題の解決策が機能しない場合には、SMARTのナレッジベースでトラブルシューティングの詳細を参照してください。

[community.smarttech.com/s/topic/0TO0P000000Xt5yWAC/mx-series](https://community.smarttech.com/s/topic/0TO0P000000Xt5yWAC/mx-series)

## ディスプレイの電源が入っていません

兆候について	トラブルシューティングの手順
電源LEDが点灯していません。	<ul style="list-style-type: none"><li>AC電源差込口の横にあるスイッチが(I)の位置でONになっていることを確認します。</li><li>電源ケーブルが、コンセントとディスプレイの両方にしっかりと固定されていることを確認します。</li></ul> <p><b>注記</b></p> <p>電源バーに電源ケーブルが接続されている場合、電源バーがコンセントにしっかりと固定されており、オンになっていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>別のデバイスでテストして、電源コンセントが動作することを確認します。</li><li>別のデバイスでテストして、電源ケーブルが動作することを確認します。</li></ul>
電源LEDは点灯していますが、画面に何も表示されていません。	<ul style="list-style-type: none"><li>ディスプレイの前面またはリモコンの電源ボタンを押してください。</li><li>ディスプレイを再起動します。</li></ul> <p>60 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>問題がビデオにあるかどうかを確認してください。</li></ul>

## 画面に何も表示されていないか、画面上の画像に問題があります

兆候について	トラブルシューティングの手順
画面が空白です。	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <span>V4</span> <span>V4 Pro</span> <span>V3</span> <span>V3 Pro</span> <span>V2-C</span> <span>V2-C Pro</span> <span>V2</span> <span>V2 Pro</span> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイのホームボタンまたはリモコンを押して、ホーム画面を開きます。</li> <li>• 電源ボタン  を押して、ディスプレイがスタンバイモードになっていないことを確認してください。</li> <li>• 接続されているすべてのコンピュータがオンになっていて、省エネモードではないことを確認します。</li> <li>• ディスプレイと接続されている全てのコンピュータを再起動します。 60 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照してください。</li> <li>• 全てのコンピュータとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断してください。</li> </ul> <div style="margin-top: 10px;"> <span style="background-color: #333; color: white; padding: 2px 5px; font-weight: bold;">MX</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フロントコントロールパネルまたはリモコンの<input type="checkbox"/> を押してから、OPSを選択してiQに切り替え、ホーム画面を開きます。</li> <li>• 接続されているすべてのコンピュータがオンになっていて、省エネモードではないことを確認します。</li> <li>• ディスプレイと接続されている全てのコンピュータを再起動します。 60 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照してください。</li> <li>• 全てのコンピュータとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断してください。</li> </ul> </div>
コンピュータはディスプレイに接続されているが、画面上に接続メッセージのみが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューターが、現在選択されている入力に接続されていることを確認します。</li> <li>• ディスプレイが接続されたコンピュータのリフレッシュレートに対応していることを確認してください。 43 ページ接続されたコンピュータの解像度とリフレッシュレートの設定を参照してください。</li> <li>• 現在選択されている入力がコンピュータの場合は、コンピュータが省エネモードでないことを確認してください。</li> </ul>

兆候について	トラブルシューティングの手順
<p>画面上の画像が歪んでいる。 または 画面に線、ちらつき、その他の視覚的なノイズがあります。 または ちらつきや点滅がある場合、イメージ または 画像が暗くなっています。</p>	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイまたはリモコンの <b>ホーム</b> ボタンを押します。 ホーム画面が正常に表示される場合は、ビデオ入力に問題があります。</li> <li>• 別の入力に切り替えてから最初の入力に戻ってください。</li> <li>• 接続されているすべてのコンピュータがオンになっていて、省エネモードではないことを確認します。</li> <li>• ディスプレイと接続されている全てのコンピュータを再起動します。 60 ページ <b>ディスプレイをオフ、オン、およびリセット</b> を参照してください。</li> <li>• 接続されている全てのコンピュータの解像度とリフレッシュレートを、ディスプレイが対応している値に設定してください。 43 ページ <b>接続されたコンピュータの解像度とリフレッシュレートの設定</b> を参照してください。</li> <li>• コンピュータとディスプレイのビデオケーブルを交換して問題がケーブルであるか確認する。 交換するケーブルが必要な仕様であることを確認してください。 36 ページ <b>ジュームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続</b> を参照してください。</li> </ul>
	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 前面のコントロールパネルまたはリモコンの <b>入力</b> を押してから、<b>OPS</b> を選択します。 ホーム画面が正常に表示される場合は、ビデオ入力に問題があります。</li> <li>• IQ コントローラがアクセサリスロット 確実に搭載され、電源ランプが点灯していることを確認します。</li> <li>• 別の入力に切り替えてから最初の入力に戻ってください。</li> <li>• 接続されているすべてのコンピュータがオンになっていて、省エネモードではないことを確認します。</li> <li>• ディスプレイと接続されている全てのコンピュータを再起動します。 60 ページ <b>ディスプレイをオフ、オン、およびリセット</b> を参照してください。</li> <li>• 接続されている全てのコンピュータの解像度とリフレッシュレートを、ディスプレイが対応している値に設定してください。 43 ページ <b>接続されたコンピュータの解像度とリフレッシュレートの設定</b> を参照してください。</li> <li>• コンピュータとディスプレイのビデオケーブルを交換して問題がケーブルであるか確認する。 交換するケーブルが必要な仕様であることを確認してください。 36 ページ <b>ジュームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続</b> を参照してください。</li> </ul>
<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>USB Type-C レセプタクルをコンピュータで使用すると画像が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピュータが USB Type-C 経由でディスプレイポート代替モードビデオをサポートしていることを確認します。コンピュータの USB Type-C レセプタクルの横にある Display Port のロゴを探します。存在しない場合、コンピュータは USB Type-C 経由のディスプレイポート代替モードビデオをサポートしていない可能性があります。</li> <li>• USB Type-C レセプタクルで使用されているケーブルが Super Speed (5 Gbps) USB をサポートしていることを確認します。ケーブルに Super Speed USB のロゴが表示されているか探します。ケーブルに Super Speed USB のロゴがない場合は、ディスプレイポート代替モードビデオデータを運ぶのに必要な内部配線がない可能性があります。</li> </ul>

兆候について	トラブルシューティングの手順
画面上に明るい点があります。	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="margin-right: 5px;">V4</div> <div style="margin-right: 5px;">V4 Pro</div> <div style="margin-right: 5px;">V3</div> <div style="margin-right: 5px;">V3 Pro</div> <div style="margin-right: 5px;">V2-C</div> <div style="margin-right: 5px;">V2-C Pro</div> <div style="margin-right: 5px;">V2</div> <div style="margin-right: 5px;">V2 Pro</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイまたはリモコンの <b>ホーム</b> ボタンを押します。 ホーム画面が正常に表示される場合は、ビデオ入力に問題があります。</li> <li>画面の写真を撮り、SMARTサポートにお送りください。SMARTサポートにより、画面に問題があり、ディスプレイが保証の対象であると判断される場合、代替のディスプレイを提供されます。</li> </ul>
色が正しく表示されません。	<div style="margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>前面のコントロールパネルまたはリモコンの <b>入力</b>  を押してから、<b>OPS</b> を選択します ホーム画面が正常に表示される場合は、ビデオ入力に問題があります。</li> <li>画面の写真を撮り、SMARTサポートにお送りください。SMARTサポートにより、画面に問題があり、ディスプレイが保証の対象であると判断される場合、代替のディスプレイを提供されます。</li> </ul>
色が正しく表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つ以上のディスプレイを横に並べて取り付ける場合には、ディスプレイの色が少々異なる場合があることに注意してください。これは、SMART製品に特有の問題ではありません。</li> <li>画面上で1つの色が完全に欠けている場合や、ホーム画面で色の問題が発生した場合は、76 ページ <i>その他のサポート</i>、販売店へのお問い合わせを参照してください。</li> <li>VGAビデオ入力を使用している場合は、別のケーブルを使ったり、異なるソースを接続して、ケーブルや入力ソースに問題があるかどうかを確認してください。</li> <li>ディスプレイの色設定を調整したり、工場出荷時の設定に戻すことができます。 78 ページ <i>iQ設定の調整</i> または 90 ページ <i>iQ Pro の設定を調整する</i> を参照してください。</li> </ul>
画像が切れるかまたは左右にずれています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続しているコンピューターのビデオ設定、特にズーム、クロップ、アンダースキャンを調整してください。 コンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。</li> <li>VGAビデオ入力を使用していて、接続されているコンピュータのデスクトップがすべて黒い場合、ダークグレーまたは別の色に変更してください。</li> <li>接続されているコンピューターのデスクトップが複数の画面にまたがって拡張されている場合は、デスクトップを複数の画面に複製するか、ディスプレイを唯一の画面に設定してください。</li> </ul>
画像が画面全体に広がっていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続しているコンピューターのビデオ設定、特にオーバースキャンを調整します。 コンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。</li> <li>接続されているコンピューターのビデオコネクタが、サポートされているビデオ信号を出力するように構成されていることを確認してください。サポート技術情報の記事「<a href="#">ラップトップからビデオ表示が出力されない</a>」を参照してください。</li> </ul>
ディスプレイにイメージが表示され続けます。	<p>ナレッジベースの記事「<a href="#">画像の永続化またはLCDディスプレイへの焼き付け</a>」を参照してください。</p>

## 音声が出ない、または音声に問題がある

兆候について	トラブルシューティングの手順
<p>音声 が聞こえません。 または 音声 は聞こえますが、音量 が小さい です。 または 音がひずむかぐもった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部オーディオシステムを使用している場合、その電源が入っていることを確認してください。</li> <li>コンピューターにディスプレイ接続するケーブルがしっかりと固定されていることを確認します。</li> </ul> <p><b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイのコネクタのステレオ3.5mmが対応しているのはVGA入力のみです。</li> <li>本製品の3.5mmステレオ出力ポートにオーディオケーブルを接続すると、内蔵スピーカーが無効になります。</li> <li>ディスプレイのS/PDIF出力コネクタを使用して外部スピーカー用のサウンドバーまたはレシーバーを接続する場合は、47 ページ外部オーディオシステムの接続を参照してください。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>このディスプレイの3.5mm出力コネクタを使用している場合は、本製品と接続したコンピューターで音量を調整し、いずれもミュートされていない事を確認してください。</li> <li>このディスプレイのS/PDIF出力コネクタを使用している場合は、外部オーディオシステムで音量を調整し、そのオーディオシステムがミュートされていない事を確認してください。</li> <li>ディスプレイのオーディオ設定を調整します。 iQ の場合は 82 ページシステム設定を、iQ Pro の場合は 92 ページシステム設定を参照してください。</li> <li>内蔵スピーカーを使用している場合、コンピューターと実行中のアプリケーションの音量を80%に設定した後、ディスプレイの音量を調整します。 または 外部オーディオシステムを使用している場合、コンピューターと、実行中のアプリケーション、およびディスプレイの音量を80%に設定した後、外部オーディオシステムの音量を調整してください。</li> </ul>
<p>ディスプレイ背面から、ウィーンまたはジジジという音が聞こえます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これは正常な音です。すべてのディスプレイ製品が電氣的ノイズを発生しています。このノイズの大きさは、ディスプレイごとに異なります。ただし、ディスプレイ前面から音が聞こえる場合は、詳細な点検が必要になります。</li> <li>すべてのデバイスを同じ電源コンセントまたは電源タップに接続してください。</li> </ul>
<p> マイクアレイが音を拾わない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定メニューでマイクアレイが有効になっていることを確認します。</li> <li>外部のコンピュータを使用する場合は、コンピュータのオーディオ設定が SMART IIFP Mic を入力ソースとして使用するよう設定されていることを確認してください。</li> </ul>

## タッチが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
<p>ディスプレイにタッチしても反応しません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレイがタッチに反応するようになります。</li> <li>• 接続されているコンピューターに、最低限必要なバージョンの SMART 製品ドライバー (またはそれ以降) がインストールされ、実行されていることを確認します (76 ページを参照)。</li> <li>• ディスプレイとコンピューター間の USB ケーブルがサポートされている最大ケーブル長を超えていないことを確認してください。 36 ページ <u>ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続</u> を参照してください。</li> <li>• 接続されたコンピューターが「USB ハブが多すぎます」または「起動できません (コード 10)」と報告する場合は、ナレッジベースの記事 <u>SMART Board インタラクティブディスプレイと USB 層構造の使用</u> を参照してください。</li> <li>• 接続されているコンピューターが、ディスプレイの USB 接続を検出していることを確認してください。</li> <li>• Windows コンピューターでは、デバイスマネージャーを開き、ディスプレイのアイコン上に赤または黄色の感嘆符 (!) が表示されていないことを確認してください。</li> <li>• Mac のコンピューターでは、システム情報を開き、ディスプレイの行にエラーメッセージが表示されていないことを確認してください。</li> <li>• macOS Mojave を搭載した Mac コンピューターの場合は、ナレッジベースの記事「<u>macOS Mojave での SMART ラーニングスイートソフトウェアのインストールと使用に関する問題を解決する方法</u>」を参照してください。</li> </ul>
<p>このディスプレイは断続的なタッチに反応します。 または 画面をタッチするとポインターが正しい場所に表示されません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インクを消去するときは、ジュエリーや衣類が画面に触れないようにしてください。</li> <li>• 消すときは、手のひらや拳が画面上で平らになるようにしてください。</li> <li>• ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレイがタッチに反応するようになります。</li> <li>• ディスプレイを再起動します。 60 ページ <u>ディスプレイをオフ、オン、およびリセット</u> を参照してください。</li> <li>• コンピューターが本のケーブルのみでディスプレイに接続されていることを設置者と一緒に確認します。</li> <li>• 接続されたすべてのコンピューターに SMART Product Drivers と Ink がインストールされ、実行されていることを確認し、ディスプレイを向き合わせてください。 67 ページ <u>ディスプレイの向きを変える</u> を参照してください。</li> <li>• 白熱灯 やアーク灯 等の赤外線発信源、デスクランプ、赤外線オーディオデバイスを取り除くか、ディスプレイを部屋の別な場所に移動させてください。</li> <li>• USB ケーブルを分離するために USB エクステンダーを取り外してください。</li> </ul>

## ペンと消しゴムが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
ディスプレイはタッチまたはペンのライティングには反応しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続されているコンピューターに、最低限必要なバージョンの SMART 製品ドライバー (またはそれ以降) がインストールされ、実行されていることを確認します (76 ページを参照)。</li> <li>ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレイがタッチに反応するようになります。</li> <li>接続されているコンピューターが、ディスプレイの USB 接続を検出していることを確認してください。</li> <li>Windows コンピューターでは、デバイスマネージャーを開き、ディスプレイのアイコン上に赤または黄色の感嘆符 (!) が表示されていないことを確認してください。</li> <li>Mac のコンピューターでは、システム情報を開き、ディスプレイの行にエラーメッセージが表示されていない事を確認してください。</li> <li>接続された全てのコンピューターで SMART Product Drivers および Ink を再インストールまたは更新してください。</li> </ul>
ディスプレイはタッチに反応するが、ペンで書いても反応がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続された全てのコンピューターで SMART Product Drivers および Ink を再インストールまたは更新してください。</li> </ul>
画面上に書き込む際にインクが間違った場所に表示されます。または書き込みが断続的に行われます。またはインクが書くと消えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMART Board MX または MX Pro シリーズのインタラクティブディスプレイのペンを使用していることを確認してください。 <a href="http://smarttech.com/kb/171230">SMART 製品 ペンの比較 (smarttech.com/kb/171230)</a> を参照してください。</li> <li>ディスプレイを再起動します。 60 ページ ディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照してください。</li> <li>コンピューターが本のケーブルのみでディスプレイに接続されていることを設置者と一緒に確認します。</li> <li>画面をきれいにする。 62 ページ 画面のクリーニングを参照してください。</li> <li>もし接続されたコンピューターからの入力でインクが誤った場所に表示される場合は、ディスプレイを方向転換してください。 67 ページ ディスプレイの向きを変えるを参照してください。</li> <li>SMART Product Drivers と Ink がインストールされ、接続されたコンピューターで実行されていることを確認します。</li> <li>ペン先が摩耗していないことを確認してください。交換用 ペンは、SMART の部品ストアから入手できます (<a href="http://smarttech.com/Support/PartsStore">smarttech.com/Support/PartsStore</a> を参照)。</li> <li>接続されたすべてのコンピューターに SMART Product Drivers と Ink がインストールされ、実行されていることを確認し、ディスプレイを向き合わせてください。 67 ページ ディスプレイの向きを変えるを参照してください。</li> <li>白熱灯 やアーク灯 等の赤外線発信源、デスクランプ、赤外線オーディオデバイスを取り除くか、ディスプレイを部屋の別な場所に移動させてください。</li> </ul>
Microsoft®Office では、書き込みや描画を行うことはできません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Office 2013 以降がインストールされていることを確認してください。</li> <li><a href="#">SMART Product Drivers および SMART Ink</a> を、再インストールまたは更新してください。</li> </ul>

## NFC サインインが期待どおりに機能しない



兆候について	トラブルシューティングの手順
SMART IDカードを使用してSMARTアカウントにサインインできません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定でNFCが有効になっていることを確認してください。 iQ の場合は 82 ページシステム設定 を、iQ Pro の場合は 92 ページシステム設定 を参照してください。</li> <li>SMART アカウントで使用する SMART ID カードを設定します。</li> </ul>
接続されたコンピューターでディスプレイの NFC サインイン機能を使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMART ID カードを使用して、接続されたコンピューターにサインインすることはできません。iQ で SMART アカウントにサインインするためにのみ使用できます。</li> <li>ディスプレイの NFC サインイン機能がデバイスマネージャー (Windows オペレーティングシステム) または Apple システム プロファイラー (macOS オペレーティングシステムソフトウェア) に表示されていることを確認します。</li> </ul> <p><b>注記</b></p> <p>ディスプレイの NFC サインイン機能は標準の CCID スマートカードリーダーであり、CCID をサポートするスマートカードとソフトウェアで使用できます。SMART は、そのような製品を販売しておらず、それらのサポートも提供していません。</p>

## iQアプリが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
iQアプリが正常に動作していません。	<a href="#">iQ のトラブルシューティング</a> を参照してください。

## 接続されたコンピュータのSMARTソフトウェアが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
SMART Notebookのソフトウェアが正常に動作していません。	<a href="#">SMART Notebookのトラブルシューティング</a> を参照してください。
Lumio by SMARTが正常に動作していない。	<a href="#">Lumio by SMARTの一般的な問題のトラブルシューティング</a> をご覧ください。
SMART TeamWorksのソフトウェアが正常に動作していません。	<a href="#">SMART TeamWorksのトラブルシューティング</a> を参照してください。
SMART Meeting Proソフトウェアが正常に機能しません。	<a href="#">SMART Meeting Pro の基本的なトラブルシューティング</a> を参照してください。
SMART Inkが正常に動作していません。	<a href="#">SMART Inkのトラブルシューティング</a> を参照してください。
SMART Product Driversが正常に機能していません。	<a href="#">SMART 製品ドライバのトラブルシューティング</a> を参照してください。

## SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しない

兆候について	トラブルシューティングの手順
SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しません。	SMART OPS PCモジュールのユーザーガイド ( <a href="http://smarttech.com/kb/171747">smarttech.com/kb/171747</a> ) を参照してください。

## Intel Compute Cardが正常に動作していない

兆候について	トラブルシューティングの手順
Intel Compute Cardが正常に動作していない	<a href="#">iQ機器 (AM50) および Intel Compute Card のトラブルシューティング</a> を参照してください。

## RS232が正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
RS-232を使用したディスプレイの管理が正常に機能していません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのケーブルがしっかり接続されていることを確認します。</li> <li>ディスプレイとリモート管理システムを再起動してください。 60 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照してください。</li> <li>RS-232ターミナルアプリケーションで、シリアルインターフェースの設定を行います。 104 ページと114 ページを参照してください。</li> </ul>

## 最低限必要な SMART 製品ドライバーのバージョン

この表は、各モデルの SMART Product Drivers の最小バージョンを示しています。

モデル	最小バージョン
	12.20
	12.18
	12.14

SMART Product Drivers と Ink は次の場所からダウンロードできます、[smarttech.com/downloads](http://smarttech.com/downloads)。

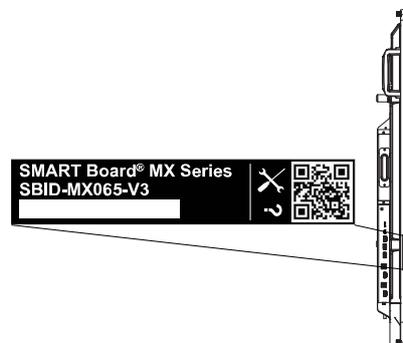
## その他のサポート、販売店へのお問い合わせ

ディスプレイの問題を解決できないか、本章やナレッジベースにも解決策が掲載されていない場合は、SMART正規販売代理店 ([smarttech.com/where](http://smarttech.com/where)) でサポートを受けてください。

販売店がディスプレイのシリアル番号をお伺いする場合がございます。



このシリアル番号はディスプレイの左側にあるラベルに記載されています  
(写真)。



### ヒント

このラベルのQRコードをスキャンして、SMARTウェブサイトのSMART Board MXまたはMX Proシリーズのインタラクティブディスプレイのサポートページをご覧ください。

### MX

シリアル番号は、ディスプレイの下部フレームと背面にあるラベルに記載されています。

### 注記

iQ機器とIntel Compute Cardのシリアル番号を調べるには、[iQ機器とIntel Compute Cardのサポートおよびシリアル番号を調べる](#)を参照してください。

シリアル番号は設定でも確認できます(iQの場合は82 ページシステム設定、iQ Proの場合は92 ページシステム設定を参照)。

# 付録 A iQ設定の調整

ネットワークの設定	78
カスタマイズ	79
アプリケーションの設定	80
システム設定	82



ホーム画面にある  アイコンから設定画面にアクセスできます。

## 注記

- 設定は、ユーザーまたはシステム全体に適用可能です。ユーザーレベルの設定は、サインインしているユーザーによって変わります。システムレベルの設定はすべてのユーザーに適用されます。詳細については設定を参照してください。
- あなたがSMART アカウントにサインインしている間は、一部の設定を使用できません。全ての設定を見るために、ディスプレイのSMARTアカウントからサインアウトしてください。

## ネットワークの設定

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
▶ Wi-Fi				
▶ Wi-Fi	オン オフ	Wi-Fiをディスプレイで有効または無効にする。	Wi-FiをONにしてネットワークを検索します。	システム
• [Wi-Fiネットワーク名]	[N/A]	接続されたワイヤレスネットワークについての情報を表示します。	[N/A]	システム
• Wi-FiのMACアドレス	該当なし	ディスプレイのWi-Fi ネットワークアダプターのMACアドレスを表示します。	該当なし	システム
• Wi-FiのIPアドレス	[N/A]	ディスプレイのWi-Fi ネットワークアダプターのIPアドレスを表示します。	該当なし	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
▶ SMART iQのイーサネット				
▶ 高度なオプション				
<ul style="list-style-type: none"> <li>スタティックIP (DHCPを使用)</li> </ul>	オン オフ	DHCPを有効または無効にして、ディスプレイにIPアドレスを割り当てます。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>プロキシ(プロキシを使用)</li> </ul>	オン オフ	ネットワークに接続するためにプロキシサーバーを有効または無効にする。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>プロキシ(自動構成)</li> </ul>	オン オフ	ネットワークに接続するためプロキシサーバーの自動設定を有効または無効にする。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>MACアドレス</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイのイーサネットネットワークアダプタのMACアドレスを表示します。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>IPアドレス</li> </ul>	該当なし	ディスプレイのイーサネットネットワークアダプタのIPアドレスを表示します。	該当なし	システム
▶ Bluetooth				
<ul style="list-style-type: none"> <li>Bluetooth</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイのBluetoothを有効または無効にします。	Bluetoothをオンにして使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用可能なBluetoothデバイスを表示</li> </ul>	該当なし	使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	Bluetoothをオンにして使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	システム
▶ SMART Cloud				
<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス地域</li> </ul>	[N/A]	サービス地域を表示します。	該当なし	システム

## カスタマイズ

### 注記

iQが無効になっている場合、これらの設定は使用できません。

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>壁紙</li> </ul>	[壁紙]	背景に表示する壁紙を選択します。	1920 × 1080 サイズの画像が最適です 本ディスプレイは、pngおよびjpgのファイル形式をサポートしています。 <u>ディスプレイの壁紙の変更を参照してください。</u>	ユーザー

# アプリケーションの設定

## 注記

iQが無効になっている場合、これらの設定は使用できません。

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ ランチャー</b>				
• ブラウザー	オン オフ	ライブラリアプリでブラウザを有効もしくは無効にします。	該当なし	ユーザー
• 入力	オン オフ	ライブラリアプリで入力を有効もしくは無効にします。		該当なし
• 画面の共有	オン オフ	ライブラリアプリでスクリーンシェアを有効もしくは無効にします。	[N/A]	ユーザー
<b>▶ ファイルライブラリ</b>				
<b>▶ ホワイトボードストレージ</b>				
• デフォルトのホワイトボードの場所	マイファイル > Lumio マイファイル > ボードファイル	SMART アカウントにサインインしているときに、新しいホワイトボードファイルが保存される場所を設定します。	SMART Notebookおよび LumioのファイルをiQエクスペリエンスに同期するをご覧ください。	ユーザー
<b>▶ ファイルストレージ</b>				
• ファイルライブラリでGoogleドライブの統合を許可する	オン オフ	SMART アカウントにサインインしているときに、Google Drive™へのアクセスを有効または無効にします。	 GoogleドライブまたはOneDriveをディスプレイで開くを参照してください。	ユーザー
• ファイルライブラリでOneDriveの統合を許可する	オン オフ	SMART アカウントにサインインしているときにOneDrive™へのアクセスを有効または無効にします。	 GoogleドライブまたはOneDriveをディスプレイで開くを参照してください。	ユーザー
<b>▶ SMART のホワイトボード</b>				
<b>▶ ホワイトボードストレージ</b>				
• 保存を許可	オン オフ	kappホワイトボードセッションの保存を有効もしくは無効にします。	該当なし	システム
• ホワイトボード削除ポリシー	1週間後に削除 1か月に削除 手動で削除	SMART ホワイトボードの保存期間を設定します。	該当なし	システム
<b>▶ その他</b>				
• 指で書く、または描く	オン オフ	有効にすると、指で書くことができますようになります。デフォルトはオフです。		ユーザー
• クラス全体のホワイトボードを有効にする	オン オフ	共同ホワイトボードを開始する機能を有効または無効にします。		ユーザー

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ 画面の共有</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルトのスクリーン共有アプリ</li> </ul>	SMARTスクリーン共有 SMARTミラー	メイン画面から画面共有を選択したときに使用するデフォルトの画面共有アプリを設定します。	 <p>SMART 画面共有はデフォルトで選択されています。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>許可が必要</li> </ul>	オン オフ	画面を共有するデバイスからの自動接続を有効または無効にします。		システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>AirPlay</li> </ul>	オン オフ	AirPlayのプロトコルを有効または無効にします。	 <p>AirPlayはデフォルトで有効になっています。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Google Cast</li> </ul>	オン オフ	Google Castのプロトコルを有効または無効にします。	 <p>Google Castはデフォルトで有効になっています。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Miracast</li> </ul>	オン オフ	Miracastのプロトコルを有効または無効にします。	 <p>Miracastはデフォルトで有効になっています。</p> <p><b>① 重要事項</b></p> <p>Miracastデバイスを接続している間は、AirPlayとGoogleキャストを使用している端末はディスプレイに接続できません。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンスのログ</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートでは、問題の診断に役立つパフォーマンスログを有効にするようユーザーに求める場合があります。	 <p>パフォーマンスログはデフォルトでは無効になっています。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>MiracastのWiFiから自動切断する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、デバイスがMiracastを使用して画面を共有している場合、ディスプレイがネットワークから切断されます。	 <p>SMARTは、ネットワークの飽和度が高いエリアや、ネットワークが混雑しているエリアに対しては、この設定を有効にすることをお勧めしています。</p> <p><b>① 重要事項</b></p> <p>Miracastが有効な場合、ディスプレイに接続可能なデバイスは一つだけです。</p> <p>この設定はかつて、「Miracastの接続の取り扱い」と呼ばれていました。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Webプレーヤーを使用する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、ディスプレイは別の方法でビデオをストリーミングします。	 <p>このメソッドが機能しない場合、無効にして元のメソッドに戻してください。</p>	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ 通知</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>おやすみモード</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、どのアプリの通知も表示されなくなります。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>[アプリ]</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、アプリの通知がディスプレイに表示されます。	[N/A]	ユーザー
<b>▶ インストールされているアプリ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリストアを許可する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、App Storeが利用可能になり、ディスプレイは新しいアプリをダウンロードしてインストールできるようになります。	該当なし	ユーザー
<b>▶ 書き込み</b>				
<b>▶ 書き込み</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>注釈レイヤを有効にする</li> </ul>	オン オフ	ホーム画面、ビデオ入力、およびほとんどのアプリで書き込みを有効または無効にします。		ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>注釈レイヤをリセットする</li> </ul>	該当なし	注釈レイヤが、サポートされているアプリケーション上で動作を停止した場合、注釈レイヤをリセットする		ユーザー
<b>▶ インストールされているアプリで書き込みを有効にする</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>[アプリ]</li> </ul>	オン オフ	インストール済みアプリの注釈を有効または無効にします。		ユーザー
<b>▶ SMART iQ アプリ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>[アプリ]</li> </ul>	オン オフ	デフォルトのiQアプリケーションの注釈を有効または無効にします。		ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリドローワーを表示</li> </ul>	オン オフ	無効にすると、ユーザーはアプリライブラリにアクセスできません。		システム

## システム設定

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ システム</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>USB大容量記憶装置へのアクセスする</li> </ul>	オン オフ	USBドライブへのアクセスを有効または無効にします。		システム
<b>▶ 高度なオプション</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>iQ搭載SMART Board</li> </ul>	オン オフ	iQエクスペリエンスを有効または無効にする。		システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルト入力</li> </ul>	ディスプレイ上で利用可能な入力。	ディスプレイの起動時に使用するデフォルト入力を選択。	 iQ埋め込みエクスペリエンスがデフォルト入力	システム
<b>▶ ペンタッチの詳細設定</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチコントローラーのファームウェアバージョン</li> </ul>	[N/A]	タッチコントローラーのファームウェアバージョンを更新またはロールバックする。		該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチコントローラーを自動的に更新する</li> </ul>	[N/A]	タッチコントローラーのファームウェアの新バージョンがリリースされるたびにアップデートするように選択する。		該当なし
<b>▶ 電源</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>後に画面をオフにする</li> </ul>	無効 1分 5分 30分 1時間 1.5時間 2時間 5時間 10時間	ディスプレイが省エネモードになるまでの非アクティブ時間を分単位で設定します。	 デフォルトは60分です。	システム
<b>▶ 省エネ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>後に省エネモードに移行する</li> </ul>	無効 1分 5分 30分 1時間 1.5時間 2時間 5時間 10時間	ディスプレイが省エネモードに入るまでの非アクティブ時間を分単位で設定します。	 デフォルトは60分です。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>スタンバイ (シャットダウン)</li> </ul>	該当なし	選択すると、ディスプレイはすべての実行中のコンポーネントをオフにして、最大のエネルギー節約を達成しますが、スリープ解除が遅くなります。	 このオプションは省エネ率が高いです。 このオプションは、EUのディスプレイのデフォルトです。 ディスプレイの省エネモードの詳細については、33 ページ省エネモードについてを参照してください。	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークスタンバイ(スリープ)</li> </ul>	[N/A]	選択すると、ディスプレイが速く起動し、ネットワークからのWake on LANコマンドで起動できます。	 <p>このオプションは省エネ率が低いです。</p> <p>このオプションは、EU以外のディスプレイのデフォルトです。</p> <p>ディスプレイの省エネモードの詳細については、33 ページ省エネモードについてを参照してください。</p>	システム
<b>▶ 外部入力</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>外部ビデオソースを表示する場合にも電源設定を適用する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、外部ビデオ入力接続されている場合でも、ディスプレイは省エネモードになります。		システム
<b>▶ ディスプレイ</b>				
<b>▶ 画面調整</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>輝度</li> </ul>	0-100	画像の全体的な明るさを設定。	 <p>明るさの自動調整が有効な状態で明るさのスライダを左右にすばやく移動させると、画面上のイメージがちらつきます。この問題は今後のシステムソフトウェアリリースで修正される予定です。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>明るさの自動調整</li> </ul>	オン オフ	周囲の光レベルに応じた画像の明るさの自動調整を有効または無効にする。		システム
<b>▶ 高度なディスプレイオプション</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>[いろいろ]</li> </ul>	[いろいろ]	明るさ、色温度、コントラストなどの表示設定を変更します。	 <p>使用できる高度な表示オプションは、表示モデルによって異なります。</p>	システム
<b>▶ HDMI出力</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルトの解像度</li> </ul>	自動 4K60 1080p60 720p60 640x480p60	HDMI出力解像度の設定。	 <p>SMART Board MX (V4およびV3)およびMX Pro (V4およびV3)モデルの出力解像度を変更すると、HDMI出力が数秒間表示されない場合があります。</p> <p>SMART Board MX(V4およびV3N)モデルには、HDMI出力コネクタは含まれていません。</p> <p>SMART Board MX(V4)モデルにはHDMI出力コネクタは含まれていません。</p> <p>SMART Board MX(V3N)モデルには、HDMI出力コネクタは含まれていません。</p>	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ HDMI入力</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMIの詳細設定</li> </ul>	HDMI 1.0 HDMI 2.0 HDMI 3.0 OPS VGA	各HDMI入力のHDMIバージョン、HDPパルス幅、MHLセットアップディレイを設定する。	 <p>また、厳密に準拠したHDMI入力DDC SDAタイミングを有効または無効にし、古いレシーバでHDCP 2.2を禁止または許可することもできます。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>信号がないときに入力ローバーに移動する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、信号がないときに入力プレビューを表示します。		システム
<b>▶ オーディオ</b>				
<b>▶ オーディオ入力</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>音量</li> </ul>	レンジスライダー	マイクのゲインを設定します。		システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵マイク</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイの内蔵マイクの有効 / 無効を設定する。デフォルトではオンです。		システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ノイズ抑圧</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイの内蔵マイクのノイズ抑制フィルタの有効 / 無効を設定する。デフォルトではオンです。	 <p>ディスプレイの内蔵マイクを使用する際に、背景のノイズを低減するためのノイズ抑制フィルタを有効にします。</p>	システム
<b>▶ オーディオ出力</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>音量</li> </ul>	レンジスライダー	スピーカーからの音量を設定する		システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵スピーカー</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイ内蔵スピーカーを有効または無効にする。	 <p>アナログスピーカーがディスプレイに接続されると、ディスプレイの内蔵スピーカーは自動的に無効になります。</p>	システム
<b>▶ オーディオのプロパティ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>バランス</li> </ul>	レンジスライダー	スピーカーからのオーディオ出力を設定します。	 <p>オーディオ出力を左側のみにしたい場合は、スライダーを一番左までドラッグします。オーディオ出力を右側のみにしたい場合は、スライダーを一番右までドラッグします。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>バス</li> </ul>	レンジスライダー	低音を設定します。		システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>トレブル</li> </ul>	レンジスライダー	高音を設定します。		システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ 日付と時刻</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動日付と時刻</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイの日付および時間を自動で設定します。	ネットワークタイムプロトコル (NTP) からインターネット時刻サーバーへの要求を許可するよう、ネットワークを設定します。 <u>ネットワークへの接続を参照してください。</u>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>日付</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイの日付を設定します。	<b>自動日付 &amp; 時刻</b> を無効にすると、手動で日付を設定できます。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>時間</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイの時間を設定します。	<b>自動日付 &amp; 時刻</b> を無効にすると、手動で時刻を設定できます。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>24時間形式の時刻</li> </ul>	オン オフ	24時間制を使用してディスプレイの時間を表示します。	[N/A]	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>タイムゾーン</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイのタイムゾーンを設定します。	該当なし	システム
<b>▶ 言語</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>システム言語</li> </ul>	[言語]	設定メニューで言語を設定する。	SMART Board MXシリーズディスプレイのオンスクリーンディスプレイメニューで異なる言語を選択する場合は、99 ページディスプレイ設定の調整を参照してください。	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>インクからテキストへの言語</li> </ul>	[言語]	文章をテキストに変換する際の言語を設定する。	言語のインストールおよびアンインストールすることができます。 <u>テキストペンでインクからテキストへの言語を設定するを参照してください。</u>	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボード言語</li> </ul>	物理キーボード スクリーンキーボードを使用する キーボードショートカット	スクリーンキーボードの設定を選択する	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>国</li> </ul>	国	ディスプレイの国を設定する。	[N/A]	システム
<b>▶ 診断</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>工場出荷時リセット</li> </ul>	該当なし	すべてのオプションをデフォルト値にリセットします。	ディスプレイのリセットは管理者以外には行わないでください。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログファイルをUSBキーに保存する</li> </ul>	[N/A]	USBドライブを使用するため診断ログをコピーする。	ログはUSBドライブにZIPファイルとして保存されます。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログファイルをSMARTIに送信する</li> </ul>	該当なし	SMARTIに診断ログを送信します。	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>操作性を向上します</li> </ul>	オン オフ	使用状況統計、エラーレポートをSMARTIに送信する。	該当なし	ユーザー

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートID</li> </ul>	[サポートID]	ディスプレイ用のサポートIDを表示する。	SMARTサポートのアドバイスにより、ボードのサポートIDとの組み合わせでのみ、このオプションを有効にします。	該当なし
<b>▶ ログサービス</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログサービスを有効化する</li> </ul>	オン オフ	USBドライブへのログの保存を有効または無効にする	このオプションにより、一時的なiQシステムログファイルは、デバイスのストレージスペースを犠牲にして、システムの再起動後も存続することができます。	システム
<b>▶ ログレベル</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルRAW</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルSPM</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルRATP</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルSEP</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルEXT</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
<b>▶ セキュリティ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定をロック</li> </ul>	該当なし	USBドライブにあるセキュリティ証明書を使用して、ディスプレイの設定をロックします。	詳細は、 <a href="#">設定アプリのロック</a> を参照してください。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードを表示させる</li> </ul>	オン オフ	アプリまたはWebサイトでパスワードを入力するときに文字が表示される	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>証明書をインストールします</li> </ul>	該当なし	ネットワークに接続するためのセキュリティ証明書をインストールする。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>証明書の表示</li> </ul>	[N/A]	インストールされている証明書を表示する。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ルートCA証明書の表示</li> </ul>	該当なし	インストールされているルートCAセキュリティ証明書を表示します。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動非アクティブログアウト</li> </ul>	無効 1時間 8時間 12時間	非アクティブの時間が経過すると、自動的にユーザーをログアウトします。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動ログインを有効にする</li> </ul>	オン オフ	有効な場合、ユーザーを自動的にログインさせる	デフォルトはオフです。	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ 整理します</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ポリシーを整理します。</li> </ul>	無効 <b>クリーンアップボタン</b> で手動でリセットします。 1時間 2時間 3時間 1日	ディスプレイのクリーンアップの頻度を設定します。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラウザーを整理します</li> </ul>	該当なし	ブラウザのタブを閉じ、履歴とキャッシュ、クッキーを消去する。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>レイアウトとバックグラウンドを復元する</li> </ul>	該当なし	ディスプレイのホーム画面をデフォルトのレイアウトに戻します。ピン留めされたアプリ、ウィジェット、または壁紙に対するカスタマイズはリセットされます。		システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリのデータと環境設定のクリーンアップ</li> </ul>	該当なし	開いているアプリをすべて閉じ、アプリのデータと環境設定をクリアにする。	該当なし	システム
<b>▶ ソフトウェアの更新</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>更新プログラムチャンネル</li> </ul>	安定チャンネル ベータチャンネル	どのiQシステムソフトウェアがディスプレイの受信を更新するかを設定する。	BetaからStableチャンネルに切り替えると、工場出荷時初期設定にリセットされます。工場出荷時初期設定へのリセットの詳細に関しては、82ページを参照してください。  Betaチャンネルについては、 <a href="#">Betaチャンネルへの切り替え</a> を参照してください。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>今すぐ更新を確認 (C)</li> </ul>	該当なし	システムのソフトウェアの更新を確認します。	利用可能な更新プログラムがある場合、表示が更新を適用するに変わります。  システムソフトウェアのアップデートを確認するには、ディスプレイをインターネットに接続するか、システムソフトウェアアップデートファイルを含むUSBドライブがディスプレイに接続されている必要があります。	[N/A]
<b>▶ リモート管理</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート管理の設置を起動</li> </ul>	[N/A]	SMART Remote Managementを使用して、ディスプレイの接続設定を構成します。	このオプションは、SMART Remote Managementが有効な場合にのみ有効になります。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート管理が有効になっています</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイで SMART Remote Management を有効または無効にします。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Radix Visoバージョン</li> </ul>	該当なし	Radix Visoバージョンを表示します	該当なし	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ バージョン情報</b>				
• ボード名	該当なし	ディスプレイの名前を選択します。	該当なし	システム
• ヘルプ	該当なし	iQのSMARTサポートサイトを表示します。	該当なし	該当なし
• フィードバックを送信します	[N/A]	SMARTに機能要請を送信します。	該当なし	該当なし
<b>▶ ボードの詳細</b>				
• ビルド番号	該当なし	iQシステムソフトウェアのバージョン番号が表示されます。	[N/A]	該当なし
• シリアル番号	該当なし	ディスプレイのシリアル番号を表示します(SMART Board MX (V2以降)およびMX Pro (V2以降)シリーズモデル)。 iQ機器のシリアル番号 (SMART Board MXシリーズディスプレイ) を表示します。	該当なし	該当なし
• 部品番号	該当なし	ディスプレイの部品番号を表示します。	該当なし	該当なし
• モデル番号	[N/A]	ディスプレイの基本モデル番号を表示します。 62xxSまたは64xxSのSKUとして購入されたディスプレイは、60xxSの基本モデル番号を持っています。	該当なし	該当なし
• 構成	EDU-iQ(教育iQエクスペリエンス) ENT-iQ(エンタープライズiQエクスペリエンス) ENT-NoiQ(エンタープライズ、iQを使用しないディスプレイのみの構成)	ディスプレイのiQシステム構成を表示します。	該当なし	該当なし
<b>▶ ファームウェアの詳細</b>				
• タッチコントローラーのファームウェアバージョン	該当なし	ディスプレイのタッチコントローラーのファームウェアバージョンを表示します。	該当なし	該当なし
• スカラーバージョン	該当なし	ディスプレイの scalerバージョンを表示します。	該当なし	該当なし
<b>▶ 法令情報</b>				
• 使用許諾契約書	該当なし	SMART使用許諾契約書を表示します。	該当なし	該当なし
• オープンソースライセンス	該当なし	オープンsourceライセンスを表示します。	[N/A]	該当なし
• SMARTの知的財産	該当なし	SMART知的所有権情報を表示します。	該当なし	該当なし

# 付録 B iQ Pro の設定を調整する

ネットワークの設定 .....	90
アプリケーションの設定 .....	91
システム設定 .....	92



ホーム画面にある  アイコンから設定画面にアクセスできます。

## 注記

- 設定は、ユーザーまたはシステム全体に適用可能です。ユーザーレベルの設定は、サインインしているユーザーによって変わります。システムレベルの設定はすべてのユーザーに適用されます。詳細については設定を参照してください。
- あなたがSMART アカウントにサインインしている間は、一部の設定を使用できません。全ての設定を見るために、ディスプレイのSMARTアカウントからサインアウトしてください。

## ネットワークの設定

オプション	値	機能	注
▶ Wi-Fi			
▶ Wi-Fi	オン オフ	Wi-Fiをディスプレイで有効または無効にする。	Wi-FiをONにしてネットワークを検索します。
• [Wi-Fiネットワーク名]	[N/A]	接続されたワイヤレスネットワークについての情報を表示します。	[N/A]
• Wi-FiのMAC アドレス	該当なし	ディスプレイのWi-Fi ネットワークアダプターのMAC アドレスを表示します。	該当なし
• Wi-FiのIP アドレス	[N/A]	ディスプレイのWi-Fi ネットワークアダプターのIP アドレスを表示します。	該当なし
▶ SMART iQのイーサネット			
▶ 高度なオプション			
• スタティックIP (DHCPを使用)	オン オフ	DHCP を有効または無効にして、ディスプレイにIP アドレスを割り当てます。	[N/A]
• プロキシ(プロキシを使用)	オン オフ	ネットワークに接続するためにプロキシサーバーを有効または無効にする。	該当なし

オプション	値	機能	注
<ul style="list-style-type: none"> <li>プロキシ(自動構成)</li> </ul>	オン オフ	ネットワークに接続するためプロキシサーバーの自動設定を有効または無効にする。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>MACアドレス</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイのイーサネット ネットワークアダプタのMACアドレスを表示します。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>IPアドレス</li> </ul>	該当なし	ディスプレイのイーサネット ネットワークアダプタのIPアドレスを表示します。	該当なし
<b>▶ Bluetooth</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>Bluetooth</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイのBluetoothを有効または無効にします。	Bluetoothをオンにして使用可能なBluetoothデバイスを表示します。
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用可能なBluetoothデバイスを表示</li> </ul>	該当なし	使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	Bluetoothをオンにして使用可能なBluetoothデバイスを表示します。
<b>▶ SMART Cloud</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス地域</li> </ul>	[N/A]	サービス地域を表示します。	該当なし

## アプリケーションの設定

### 注記

iQ が無効になっている場合、これらの設定は使用できません。

オプション	値	機能	注
<b>▶ SMART のホワイトボード</b>			
<b>▶ ホワイトボードストレージ</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>保存を許可</li> </ul>	オン オフ	kappホワイトボードセッションの保存を有効もしくは無効にします。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボード削除ポリシー</li> </ul>	1週間後に削除 1か月後に削除 手動で削除	SMART ホワイトボードの保存期間を設定します。	該当なし
<b>▶ その他</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>指で書く、または描く</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、指で書くことができるようになります。デフォルトはオフです。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボードの共有を有効にする</li> </ul>	オン オフ	共同ホワイトボードを開始する機能を有効または無効にします。	該当なし
<b>▶ 通知</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>おやすみモード</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、どのアプリの通知も表示されなくなります。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>[アプリ]</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、アプリの通知がディスプレイに表示されます。	[N/A]

オプション	値	機能	注
<b>▶ 書き込み</b>			
<b>▶ 書き込み</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>注釈レイヤを有効にする</li> </ul>	オン オフ	ホーム画面、ビデオ入力、およびほとんどのアプリで書き込みを有効または無効にします。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>注釈レイヤをリセットする</li> </ul>	該当なし	注釈レイヤが、サポートされているアプリケーション上で動作を停止した場合、注釈レイヤをリセットする	該当なし
<b>▶ インストールされているアプリで書き込みを有効にする</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>[アプリ]</li> </ul>	オン オフ	インストール済みアプリの注釈を有効または無効にします。	該当なし
<b>▶ SMART iQ アプリ</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>[アプリ]</li> </ul>	オン オフ	デフォルトのiQアプリケーションの注釈を有効または無効にします。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリドローを表示</li> </ul>	オン オフ	無効にすると、ユーザーはアプリライブラリにアクセスできません。	該当なし

## システム設定

オプション	値	機能	注
<b>▶ システム</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>USB大容量記憶装置へのアクセスする</li> </ul>	オン オフ	USBドライブへのアクセスを有効または無効にします。	該当なし
<b>▶ 高度なオプション</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>iQ搭載 SMART Board</li> </ul>	オン オフ	iQエクスペリエンスを有効または無効にする。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルト入力</li> </ul>	ディスプレイ上で利用可能な入力。	ディスプレイの起動時に使用するデフォルト入力を選択。	iQ埋め込みエクスペリエンスがデフォルト入力
<b>▶ ペンタッチの詳細設定</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチコントローラーのファームウェアバージョン</li> </ul>	[N/A]	タッチコントローラーのファームウェアバージョンを更新またはロールバックする。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチコントローラーを自動的に更新する</li> </ul>	[N/A]	タッチコントローラーのファームウェアの新バージョンがリリースされるたびにアップデートするように選択する。	[N/A]

オプション	値	機能	注
<b>▶ 電源</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>後に画面をオフにする</li> </ul>	無効 1分 5分 30分 1時間 1.5時間 2時間 5時間 10時間	ディスプレイが省エネモードになるまでの非アクティブ時間を分単位で設定します。	デフォルトは60分です。
<b>▶ 省エネ</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>後に省エネモードに移行する</li> </ul>	無効 1分 5分 30分 1時間 1.5時間 2時間 5時間 10時間	ディスプレイが省エネモードに入るまでの非アクティブ時間を分単位で設定します。	デフォルトは60分です。
<ul style="list-style-type: none"> <li>スタンバイ(シャットダウン)</li> </ul>	該当なし	選択すると、ディスプレイはすべての実行中のコンポーネントをオフにして、最大のエネルギー節約を達成しますが、スリープ解除が遅くなります。	このオプションは省エネ率が高いです。このオプションは、EUのディスプレイのデフォルトです。ディスプレイの省エネモードの詳細については、33 ページ省エネモードについてを参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークスタンバイ(スリープ)</li> </ul>	[N/A]	選択すると、ディスプレイが速く起動し、ネットワークからのWake on LANコマンドで起動できます。	このオプションは省エネ率が低いです。このオプションは、EU以外のディスプレイのデフォルトです。ディスプレイの省エネモードの詳細については、33 ページ省エネモードについてを参照してください。
<b>▶ 外部入力</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>外部ビデオソースを表示する場合にも電源設定を適用する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、外部ビデオ入力接続されている場合でも、ディスプレイは省エネモードになります。	[N/A]
<b>▶ ディスプレイ</b>			
<b>▶ 画面調整</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>輝度</li> </ul>	0-100	画像の全体的な明るさを設定。	明るさの自動調整が有効な状態で明るさのスライダーを左右にすばやく移動させると、画面上のイメージがちらつきません。この問題は今後のシステムソフトウェアリリースで修正される予定です。
<ul style="list-style-type: none"> <li>明るさの自動調整</li> </ul>	オン オフ	周囲の光レベルに応じた画像の明るさの自動調整を有効または無効にする。	該当なし

オプション	値	機能	注
<b>▶ 高度なディスプレイオプション</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>[いろいろ]</li> </ul>	[いろいろ]	明るさ、色温度、コントラストなどの表示設定を変更します。	使用できる高度な表示オプションは、表示モデルによって異なります。
<b>▶ HDMI出力</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルトの解像度</li> </ul>	自動 4K60 1080p60 720p60 640x480p60	HDMI出力解像度の設定。	SMART Board MX (V4およびV3)およびMX Pro (V4およびV3)モデルの出力解像度を変更すると、HDMI出力が数秒間表示されない場合があります。 SMART Board MX(V4およびV3N)モデルには、HDMI出力コネクタは含まれていません。 SMART Board MX(V4)モデルにはHDMI出力コネクタは含まれていません。 SMART Board MX(V3N)モデルには、HDMI出力コネクタは含まれていません。
<b>▶ HDMI入力</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMIの詳細設定</li> </ul>	HDMI 1.0 HDMI 2.0 HDMI 3.0 OPS VGA	各HDMI入力のHDMIバージョン、HDPパルス幅、MHLセットアップディレイを設定する。	また、厳密に準拠したHDMI入力DDC SDAタイミングを有効または無効にし、古いレシーバでHDCP 2.2を禁止または許可することもできます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>信号がないときに入力ロビーに移動する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、信号がないときに入力プレビューを表示します。	[N/A]
<b>▶ オーディオ</b>			
<b>▶ オーディオ入力</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>音量</li> </ul>	レンジスライダー	マイクのゲインを設定します。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵マイク</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイの内蔵マイクの有効 / 無効を設定する。デフォルトではオンです。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ノイズ抑圧</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイの内蔵マイクのノイズ抑制フィルタの有効 / 無効を設定する。デフォルトではオンです。	 ディスプレイの内蔵マイクを使用する際に、背景のノイズを低減するためのノイズ抑制フィルタを有効にします。
<b>▶ オーディオ出力</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>音量</li> </ul>	レンジスライダー	スピーカーからの音量を設定する	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵スピーカー</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイ内蔵スピーカーを有効または無効にする。	アナログスピーカーがディスプレイに接続されると、ディスプレイの内蔵スピーカーは自動的に無効になります。
<b>▶ オーディオのプロパティ</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>バランス</li> </ul>	レンジスライダー	スピーカーからのオーディオ出力を設定します。	オーディオ出力を左側のみにしたい場合は、スライダーを一番左までドラッグします。オーディオ出力を右側のみにしたい場合は、スライダーを一番右までドラッグします。

オプション	値	機能	注
• バス	レンジスライダー	低音を設定します。	[N/A]
• トレブル	レンジスライダー	高音を設定します。	該当なし
<b>▶ 日付と時刻</b>			
• 自動日付と時刻	オン オフ	ディスプレイの日付および時間を自動で設定します。	ネットワークタイムプロトコル (NTP) からインターネット時刻サーバーへの要求を許可するよう、ネットワークを設定します。 <u>ネットワークへの接続を参照してください。</u>
• 日付	[N/A]	ディスプレイの日付を設定します。	<b>自動日付 &amp; 時刻</b> を無効にすると、手動で日付を設定できます。
• 時間	[N/A]	ディスプレイの時間を設定します。	<b>自動日付 &amp; 時刻</b> を無効にすると、手動で時刻を設定できます。
• 24時間形式の時刻	オン オフ	24時間制を使用してディスプレイの時間を表示します。	[N/A]
• タイムゾーン	[N/A]	ディスプレイのタイムゾーンを設定します。	該当なし
<b>▶ 言語</b>			
• システム言語	[言語]	設定メニューで言語を設定する。	SMART Board MXシリーズディスプレイのオンスクリーンディスプレイメニューで異なる言語を選択する場合は、99ページディスプレイ設定の調整を参照してください。
• インクからテキストへの言語	[言語]	文章をテキストに変換する際の言語を設定する。	言語のインストールおよびアンインストールすることができます。 <u>テキストペンでインクからテキストへの言語を設定するを参照してください。</u>
• キーボード言語	物理キーボード スクリーンキーボード を使用する キーボードショート カット	スクリーンキーボードの設定を選択する	[N/A]
• 国	国	ディスプレイの国を設定する。	[N/A]
<b>▶ 診断</b>			
• 工場出荷時リセット	該当なし	すべてのオプションをデフォルト値にリセットします。	ディスプレイのリセットは管理者以外には行わないでください。
• ログファイルをUSBキーに保存する	[N/A]	USBドライブを使用するため診断ログをコピーする。	ログはUSBドライブにZIPファイルとして保存されます。
• ログファイルをSMARTに送信する	該当なし	SMARTに診断ログを送信します。	[N/A]
• 操作性を向上します	オン オフ	使用状況統計、エラーレポートをSMARTに送信する。	該当なし
• サポートID	[サポートID]	ディスプレイ用のサポートIDを表示する。	SMARTサポートのアドバイスにより、ボードのサポートIDとの組み合わせでのみ、このオプションを有効にします。

オプション	値	機能	注
<b>▶ ログサービス</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログサービスを有効化する</li> </ul>	オン オフ	USBドライブへのログの保存を有効または無効にする	このオプションにより、一時的なiQシステムログファイルは、デバイスのストレージスペースを犠牲にして、システムの再起動後も存続することができます。
<b>▶ ログレベル</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルRAW</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルSPM</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルRATP</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルSEP</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルEXT</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし
<b>▶ セキュリティ</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定をロック</li> </ul>	該当なし	USBドライブにあるセキュリティ証明書を使用して、ディスプレイの設定をロックします。	詳細は、 <a href="#">設定アプリのロック</a> を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードを表示させる</li> </ul>	オン オフ	アプリまたはWebサイトでパスワードを入力するときに文字が表示される	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>証明書をインストールします</li> </ul>	該当なし	ネットワークに接続するためのセキュリティ証明書をインストールする。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>証明書の表示</li> </ul>	[N/A]	インストールされている証明書を表示する。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ルートCA証明書の表示</li> </ul>	該当なし	インストールされているルート CA セキュリティ証明書を表示します。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動非アクティブログアウト</li> </ul>	無効 1時間 8時間 12時間	非アクティブの時間が経過すると、自動的にユーザーをログオフします。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動ログインを有効にする</li> </ul>	オン オフ	有効な場合、ユーザーを自動的にログインさせる	デフォルトはオフです。
<b>▶ 整理します</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>ポリシーを整理します。</li> </ul>	無効 <b>クリーンアップボタン</b> で手動でリセットします。 1時間 2時間 3時間 1日	ディスプレイのクリーンアップの頻度を設定します。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラウザーを整理します</li> </ul>	該当なし	ブラウザのタブを閉じ、履歴とキャッシュ、クッキーを消去する。	該当なし

オプション	値	機能	注
<ul style="list-style-type: none"> <li>レイアウトとバックグラウンドを復元する</li> </ul>	該当なし	ディスプレイのホーム画面をデフォルトのレイアウトに戻します。ピン留めされたアプリ、ウィジェット、または壁紙に対するカスタマイズはリセットされます。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリのデータと環境設定のクリーンアップ</li> </ul>	該当なし	開いているアプリをすべて閉じ、アプリのデータと環境設定をクリアにする。	該当なし
<b>▶ ソフトウェアの更新</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>更新プログラムチャンネル</li> </ul>	安定チャンネル ベータチャンネル	どのiQシステムソフトウェアがディスプレイの受信を更新するかを設定する。	BetaからStableチャンネルに切り替えると、工場出荷時初期設定にリセットされます。工場出荷時初期設定へのリセットの詳細に関しては、92 ページを参照してください。 Betaチャンネルについては、 <a href="#">Betaチャンネルへの切り替え</a> を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>今すぐ更新を確認 (C)</li> </ul>	該当なし	システムのソフトウェアの更新を確認します。	利用可能な更新プログラムがある場合、表示が更新を適用するに変わります。 システムソフトウェアのアップデートを確認するには、ディスプレイをインターネットに接続するか、システムソフトウェアアップデートファイルを含むUSBドライブがディスプレイに接続されている必要があります。
<b>▶ リモート管理</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート管理の設置を起動</li> </ul>	[N/A]	SMART Remote Management を使用して、ディスプレイの接続設定を構成します。	このオプションは、SMART Remote Management が有効な場合にのみ有効になります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート管理が有効になっています</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイで SMART Remote Management を有効または無効にします。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>Radix Visoバージョン</li> </ul>	該当なし	Radix Visoバージョンを表示します	該当なし
<b>▶ バージョン情報</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>ボード名</li> </ul>	該当なし	ディスプレイの名前を選択します。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルプ</li> </ul>	該当なし	iQのSMARTサポートサイトを表示します。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>フィードバックを送信します</li> </ul>	[N/A]	SMARTに機能要請を送信します。	該当なし
<b>▶ ボードの詳細</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>ビルド番号</li> </ul>	該当なし	iQシステムソフトウェアのバージョンナンバーが表示されます。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>シリアル番号</li> </ul>	該当なし	ディスプレイのシリアル番号を表示します (SMART Board MX (V2以降) および MX Pro (V2以降) シリーズモデル)。 iQ機器のシリアル番号 (SMART Board MX シリーズディスプレイ) を表示します。	該当なし

オプション	値	機能	注
<ul style="list-style-type: none"> <li>部品番号</li> </ul>	該当なし	ディスプレイの部品番号を表示します。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル番号</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイの基本モデル番号を表示します。 62xxSまたは64xxSのSKUとして購入されたディスプレイは、60xxSの基本モデル番号を持っています。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>構成</li> </ul>	EDU-iQ(教育iQエクスペリエンス) ENT-iQ(エンタープライズiQエクスペリエンス) ENT-NoiQ(エンタープライズ、iQを使用しないディスプレイのみの構成)	ディスプレイのiQシステム構成を表示します。	該当なし
<b>▶ ファームウェアの詳細</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチコントローラーのファームウェアバージョン</li> </ul>	該当なし	ディスプレイのタッチコントローラーのファームウェアバージョンを表示します。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>スカラーバージョン</li> </ul>	該当なし	ディスプレイのスカラーバージョンを表示します。	該当なし
<b>▶ 法令情報</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>使用許諾契約書</li> </ul>	該当なし	SMART使用許諾契約書を表示します。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンソースライセンス</li> </ul>	該当なし	オープンsourceライセンスを表示します。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>SMARTの知的財産</li> </ul>	該当なし	SMART知的所有権情報を表示します。	該当なし

# 付録 C ディスプレイ設定の調整

ネットワーク	99
画面ロック	100
詳細	100
更新	102
リカバリ	102
バージョン情報	102
ディスプレイ設定の終了	103

MX

SMART Board MXシリーズモデルの設定には、フロントコントロールパネルのメニューボタンを使用してアクセスできます。

## ネットワーク

オプション	値	機能	注
<b>▶ イーサネット</b>			
• イーサネット	有効 無効にする	有線RJ45ジャックによるネットワーク接続の有効または無効を設定します。	イーサネットを有効にし、Wi-Fiを無効にする。
• IPアドレスを自動で取得	有効 無効にする	ディスプレイは、ネットワーク上のDHCPサーバーから自動的にIPアドレスを取得します	Wi-Fiホットスポットを有効にすると、Wi-Fiを使ってモバイルデバイスをディスプレイに接続し、画面共有することができます。
• 静的IPアドレス	有効 無効にする	静的IPアドレスを入力する。	オンスクリーンキーボードを使用するか、USBキーボードを前面コネクタパネルのUSB Type-Aレセプタクルに接続して、情報を入力します。
• Wi-Fi	有効 無効にする	ワイヤレスでネットワークに接続することを有効または無効にする。	Wi-FiをONにしてネットワークを検索します。 Wi-Fiを有効にすると、Ethernetが無効になります。
<b>▶ Wi-Fiホットスポット</b>			
• Wi-Fiホットスポット	有効 無効にする	Wi-Fiホットスポットの有効または無効を設定する。	[N/A]
• Wi-Fiホットスポットの設定	該当なし	ネットワーク名、セキュリティ、パスワード、アクセスポイント頻度を設定する	オンスクリーンキーボードを使用するか、USBキーボードを前面コネクタパネルのUSB Type-Aレセプタクルに接続して、情報を入力します。
• ネットワーク状況	該当なし	ディスプレイの現在のネットワーク接続に関する情報を表示する。	[N/A]

## 画面ロック

オプション	値	機能	注
▶ 画面モードをロックする			
<ul style="list-style-type: none"> <li>画面モードをロックする</li> </ul>	有効 無効にする	ロック画面のオン / オフ。	ロック画面は、ディスプレイのスリープ解除後に表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージ</li> </ul>	該当なし	ロック画面用のカスタム画像を選択する。	.png、.jpg、および.bmpのファイルのみ対応 壁紙ファイルをUSBドライブに保存し、フロントコントロールパネルのUSB Type-Aコネクタにドライブを挿入してください。50 ページコネクタ図を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>無効にする</li> </ul>	[N/A]	ロック画面のカスタム画像をオフにする。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>ロック画面のパスワード</li> </ul>	有効 無効にする	ロック画面の解除にPINを設定する。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティの設定</li> </ul>	有効 無効にする	特定の設定にアクセスするためのPINを設定。	設定のセキュリティが有効な場合、「詳細設定」と「設定について」のみが利用可能です。その他の設定にアクセスするには、設定をタップしてPINを入力します。

## 詳細

オプション	値	機能	注
▶ ディスプレイ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>壁紙</li> </ul>	該当なし	ディスプレイの背景画像を設定する。	.png、.jpg、および.bmpのファイルのみ対応 壁紙ファイルをUSBドライブに保存し、フロントコントロールパネルのUSB Type-Aコネクタにドライブを挿入してください。50 ページコネクタ図を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>ランチャー</li> </ul>	[アプリ]	ランチャーに表示するアプリを選択する。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホーム画面</li> </ul>	[アプリ]	ホーム画面に表示するアプリを3つ選択する。	ホーム画面から削除したいアプリをタップする。次に、代わりにホーム画面に表示させたいアプリを選択する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMI出力</li> </ul>	480p 1080p 4K	出力解像度の設定。	ディスプレイのHDMI出力信号を受信しているデバイスが、選択した出力解像度と一致していることを確認してください。

オプション	値	機能	注
<ul style="list-style-type: none"> <li>スリープ</li> </ul>	15 分 30 分 45 分間 60 分 常にオン	時間間隔を選択すると、接続されているコンピュータやデバイスの電源が入ったままでも、ディスプレイの画面が消灯します。	iQが選択されている場合、時間間隔を選択してもディスプレイの画面はオフになりません。
<b>▶ 輝度および音量</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動</li> </ul>	[N/A]	部屋の明るさに応じて、ディスプレイの明るさを自動的に設定します。	環境光センサーは室内の明るさを検知し、画面の明るさを調整します。
<ul style="list-style-type: none"> <li>取扱説明書</li> </ul>	該当なし	ディスプレイの輝度レベルを設定する。	<b>自動</b> を無効にして、輝度をマニュアルで設定する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>音量</li> </ul>	該当なし	ディスプレイの音量レベルを設定する。	該当なし
<b>▶ OTA</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>OTA サーバー</li> </ul>	[OTAサーバー]	ディスプレイが更新するために接続するサーバーを設定する。	デフォルトは <b>自動</b> です。 システムソフトウェアの更新を確認するには、ディスプレイがインターネットに接続されている必要があります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>更新の自動確認</li> </ul>	有効 無効にする	ディスプレイのファームウェアの更新を確認し、ダウンロードすることを有効または無効にします。	デフォルトで有効になっています。 この機能が無効な場合は、手動で102 ページ更新のアップデートを確認します。
<ul style="list-style-type: none"> <li>省電力モード</li> </ul>	有効 無効にする	省電力モードを有効または無効にする。	デフォルトで有効になっています。 有効時には90分間非アクティブ状態になると省電力モードになります。 省電力モードを有効にすると、フロントコントロールパネルの電源ボタンを使用してディスプレイの電源を入れるまでディスプレイをRS-232で制御できなくなります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルト入力</li> </ul>	OPS HDMI1 HDMI2 HDMI 3 VGA	ディスプレイをオンにしたときのデフォルトの入力を選択する。	OPSはデフォルトで「有効」になっています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルトのタッチ設定を使用する</li> </ul>	有効 無効	タッチポイントの数を設定する。	デフォルトでは「有効」になっています。 10点のタッチポイントを使用する場合は、「有効」を選択します。 20点のタッチポイントを使用する場合は、「無効」を選択します。
<ul style="list-style-type: none"> <li>電源オン RS232</li> </ul>	有効 無効	有効にすると、RS-232を使用して、低電力状態(ソフトオフ)からディスプレイをオンにすることができます。	デフォルトでは「無効」になっています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMI [コネクタ番号]-EDIDバージョン</li> </ul>	デフォルト EDID 1.4 EDID 2.0	ディスプレイのアクティブなHDMIコネクタのHDMI-EDIDバージョンを、Default、EDID 1.4、またはEDID 2.0に設定します。  <b>注記</b> デフォルトでは、「デフォルト」が選択されています。	「デフォルト」を選択すると、接続されたデバイスのHDMI-EDIDバージョンを自動的に検出し、ディスプレイのHDMIコネクタをEDID 1.4と2.0の間で切り替えます。この機能は、古いデバイスやEDID 1.4非対応の機器では、安定して動作しない場合があります。

## 更新

オプション	値	機能	注
• ファームウェアバージョン	該当なし	ディスプレイのスカラーフームウェアに関する技術情報を表示します。	ファームウェアのバージョンを確認するには、バージョン情報オプションを使用します(102 ページバージョン情報を参照)。
• 更新	[N/A]	システムのソフトウェアの更新を確認します。	利用可能な更新プログラムがある場合、表示が更新を適用するに変わります。 システムソフトウェアの更新を確認するには、ディスプレイがインターネットに接続されている必要があります。ディスプレイのネットワーク設定を確認する。 ネットワーク設定を確認するには、99 ページネットワークを参照してください。

## リカバリ

オプション	値	機能	注
• ユーザー設定の復元	[N/A]	ユーザーが変更した可能性のあるオプションをリセットします。	該当なし
• 工場出荷時の設定に戻す	該当なし	すべてのオプションをデフォルト値にリセットします。	ディスプレイのリセットは管理者以外には行わないでください。

## バージョン情報

オプション	値	機能	注
• 名前	該当なし	ディスプレイの名前を選択します。	この名称は、iQシステムソフトウェアで設定されたディスプレイ名称とは異なります。
• RAM	該当なし	ディスプレイに搭載されているRAMの容量を表示する	該当なし
• ローカルストレージ	該当なし	ストレージメモリの空き容量と現在の使用量を表示する	[N/A]
• 解像度	[N/A]	ディスプレイの現在の画面解像度を表示する	[N/A]
• Android	[N/A]	Android™オペレーティングシステムの現行バージョンをディスプレイに表示する	該当なし
• MXシステムバージョン	該当なし	ディスプレイのスカラーフームウェアの現行バージョンを表示する。	[N/A]
• タッチキット	該当なし	タッチシステムのファームウェアの現行バージョンを表示	該当なし

オプション	値	機能	注
• HDMI出力	該当なし	HDMI出力システムのファームウェアの 現行バージョンを表示	該当なし
• MACアドレス	該当なし	ネットワークのMACアドレスを表示	該当なし
• シリアル番号	該当なし	ディスプレイのシリアルナンバーを表示 します。	該当なし
• 使用許諾契約	該当なし	サードパーティーコンポーネントのライ センスを表示	該当なし
• ユーザー契約書	該当なし	SMART EULAを表示	[N/A]

## ディスプレイ設定の終了

[終了]をタップします。

または

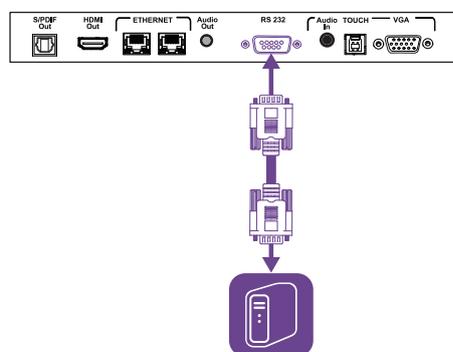
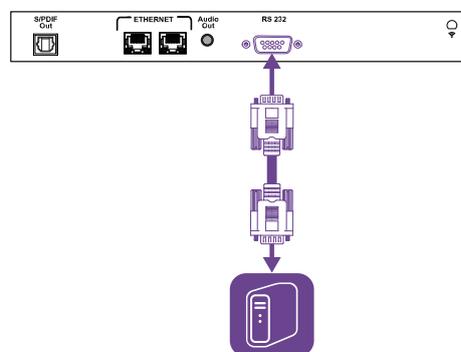
フロントコントロールパネルの「メニュー」ボタンを  押します。

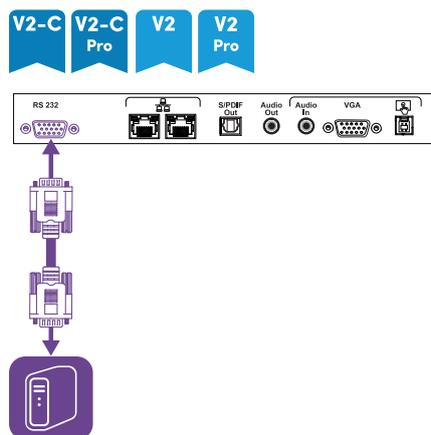
# 付録 D RS-232を使用 SMART Board MX (V2)、MXプロ(V2)、およびそれ以降のシリーズモデルの管理

シリアルインターフェース設定を構成します。.....	105
コマンドと応答 .....	106
電源状態コマンド .....	108
入力コマンド .....	110
明るさコマンド .....	110
フリーズコマンド .....	110
スクリーンシェードのコマンド .....	111
ボリュームコマンド .....	111
ミュートコマンド .....	111
ファームウェアバージョンのコマンド .....	111
モデル番号コマンド .....	112
シリアル番号のコマンド .....	112
パーツ番号のコマンド .....	112
非同期メッセージ .....	112



RS-232ケーブルをコンピューターまたは制御システムのシリアル出力からこのディスプレイのRS-232 コネクタに接続して、ビデオ入力やディスプレイのオン/オフを離れた場所から操作したり、音量や電源状態などのディスプレイの現在の設定内容を取得することができます。





### ❗ 重要事項

標準のRS-232ケーブルのみを使用してください。ヌルモデムケーブルを使用しないでください。ヌルモデムケーブルは通常、両端が同じ形状をしています。

### ヒント

また、SMARTは、SMART Remote Managementのクラウドベースのデバイス管理ソフトウェアも提供しており、このソフトウェアを使用すると、iQを搭載したSMART Boardや、Windows、Chrome™ OS、Android、およびiOSのオペレーティングシステムを実行しているデバイスを管理することができます。詳細については [SMART Remote Management](#) を参照してください。

## シリアルインターフェイス設定を構成します。

ディスプレイにコマンドを送信する前に、コンピューターまたは制御システムのシリアルインターフェイスを設定します。

1. ディスプレイをONにします。
2. コンピューターでターミナルアプリケーションを使用している場合は、ローカルエコーをアクティブにして、入力してディスプレイに送信している内容を確認します。
3. 次の値を使用して、シリアルインターフェイス設定を構成します。

ボーレート	19200
データ長	8
パリティビット	なし
ストップビット	1

4. キャリッジリターン文字 (<CR>) をディスプレイに送信します。ディスプレイには、ディスプレイがコマンドを受け入れることができることを示すコマンドプロンプト (>) が表示されます。

#### 注記

- コンピュータでターミナルアプリケーションを使用している場合は、入力キーを押すとキャリッジリターン文字 (<CR>) が送信されますが、ターミナルアプリケーションの構成によっては、改行文字 (<LF>) も送信される場合があります。
- メッセージがなにも表示されないか、エラーメッセージが表示された場合、シリアルインターフェイスが正しく設定されていません。手順3~4を繰り返してください。

以下の例で示されるように、ターミナルプログラムの代わりに制御システムプログラムを使用する場合、ディスプレイから出力されるすべての行にはキャリッジリターン文字 (<CR>) と改行文字 (<LF>) が先行し、キャリッジリターン文字 (<CR>) と改行文字 (<LF>) が続きます。必要に応じて、文字コードの詳細については、[ASCII表](#)を参照してください。

```
>set volume=0<CR>
<CR><LF>
volume=0<CR><LF>
>
```

## コマンドと応答

ディスプレイ情報にアクセスしたり、ルームコントロールシステムを使用して、ディスプレイの設定を調整するには、コマンドプロンプト (>) の後にコマンドを入力し、キャリッジリターン文字を送信するか、ENTERキーを押して、ディスプレイからの応答を待ちます。応答の前にはキャリッジリターン文字 (<CR>) と改行文字 (<LF>) が続き、その後にキャリッジリターン文字 (<CR>) と改行文字 (<LF>) が続きます。コマンドプロンプトがない場合は、キャリッジリターン文字をディスプレイに送信します。ディスプレイがコマンドを受け取る準備ができている場合は、キャリッジリターンを受信したときにコマンドプロンプト (>) が表示されます。以下の例を参照してください。

#### 正解です

```
>get volume
volume=55
>
```

以下の例では、ユーザーは-50の代わりに=-50を使用しました。

#### 誤っています

```
>set volume=-50
invalid cmd: setvolume=-50
```

>

### 注記

- コマンドはASCIIで入力してください。
- コマンドでは大文字と小文字が区別されず、余分なスペースは無視されます。
- コンピュータ上の多くのターミナルアプリケーションでは、コマンドを入力するときに BACKSPACE キーを使用できます。
- ディスプレイにコマンドを送信する前に、各エントリを注意深く確認してください。
- 応答が返され次のコマンドプロンプト(>)が表示されるまで、別のコマンドを送信しないでください。コマンドプロンプトがない場合は、キャリッジリターン文字 (<CR>) をディスプレイに送信します。ディスプレイがコマンドを受け取る準備ができている場合は、キャリッジリターンを受け取った後にコマンドプロンプトが表示されます。

### 設定の現在の値の取得

getコマンドを使用します。

次の例は、ボリュームの取得方法を示します。

```
>get volume  
volume=55  
>
```

### 設定に値を割り当てるには

setコマンドを使用します。

この例では、ボリュームを65に設定します。

```
>set volume=65  
volume=65  
>
```

## 設定の値を増減するには

setコマンドを使用して値を上下させ、希望の値にします。

この例では、ボリュームを5上げます。

```
>set volume+5
volume=70
>
```

この例では、ボリュームを15下げます。

```
>set volume-15
volume=55
>
```

## 電源状態コマンド

Get command	Set command	回答
get powerstate	set powerstate[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =ready</li> <li>• =standby</li> <li>• =powersave</li> </ul> <b>注記</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイがUPDATEONまたはUPDATEREADYの状態にある場合、コマンドを受信した後の電源の状態を変更する場合があります。</li> <li>• iQ 3.11 以前を実行しているディスプレイで電源状態を切り替えるときは、別のコマンドを送信する前に少なくとも 30 秒待ってください。</li> </ul>	powerstate=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• ready</li> <li>• standby</li> <li>• powersave</li> <li>• updateon</li> <li>• updateready</li> </ul>

ディスプレイの電源状態は6とあります。

電源状態	説明
オン	ディスプレイは通常の動作モードです。

電源状態	説明
準備完了	画面は消灯ですが、次のいずれかが発生するとディスプレイはオンになります： <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押してください。</li> <li>• set powerstate=onコマンドを送信する。</li> <li>• ディスプレイには映像信号が入力されます。</li> </ul>
スタンバイ	画面は消灯し、ディスプレイは低電力モードです。次のいずれかが発生するとディスプレイは準備もしくはONの状態になります： <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザーがフロントコントロールパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押します。</li> <li>• set powerstate=standbyコマンドを送信する。</li> </ul> <p>この電力状態は、EU以外の場所に設定されたディスプレイのデフォルトの省エネモードです。</p> <p><b>注記</b> EUは、この電力状態を説明するために「ネットワークスタンバイ」を使用しています。</p>
POWERSAVE	画面は消灯し、ディスプレイは超低電力モードです。次のいずれかが発生するとディスプレイは準備もしくはONの状態になります： <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザーがフロントコントロールパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押します。</li> <li>• set powerstate=readyまたはset powerstate=onコマンドを送信します。</li> </ul> <p>この電力状態は、EUロケーションに設定されたディスプレイのデフォルトの省エネモードです。</p> <p><b>注記</b> EUは、この電力状態を説明するために「スタンバイ」を使用しています。</p>
UPDATEON	ディスプレイでファームウェアを更新しています。ディスプレイをOFFにしないでください。
UPDATEREADY	画面消灯中にディスプレイがファームウェアを更新しています。ディスプレイをOFFにしないでください。

get powerstateおよびset powerstateを除き、ディスプレイ電源が準備状態もしくはオン状態になっている場合にのみコマンドが利用可能です。

## 入力コマンド

Get command	Set command	回答
get input	set input[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =hdmi1</li> <li>• =hdmi2</li> <li>• =hdmi3</li> <li>• =vga1</li> <li>• =ops1</li> <li>• =usbc1</li> <li>• =usbc2</li> <li>• =android</li> </ul> <p><b>注記</b> usbc1 set コマンドは、USB タイプ C レセプタクルを備えたディスプレイにのみ適用されます。</p>	input=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• hdmi1</li> <li>• hdmi2</li> <li>• hdmi3</li> <li>• vga1</li> <li>• ops1</li> <li>• usbc1</li> <li>• usbc2</li> <li>• android</li> </ul>

## 明るさコマンド

Get command	Set command	回答
get brightness	set brightness[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• +[値]</li> <li>• -[値]</li> <li>• =[5-100]</li> </ul>	brightness=[値] [Value]は5~100の数字です。

## フリーズコマンド

Get command	Set command	回答
get videofreeze	set videofreeze[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	videofreeze=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>

## スクリーンシェードのコマンド

Get command	Set command	回答
get screenshade	set screenshade[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	screenshade=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>

## ボリュームコマンド

Get command	Set command	回答
get volume	set volume[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• +[値]</li> <li>• -[値]</li> <li>• =[0-100]</li> </ul>	volume=[値] [Value]は、0~100の数字です。

## ミュートコマンド

Get command	Set command	回答
get mute	set mute[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	mute=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>

## ファームウェアバージョンのコマンド

Get command	回答
get fwversion	fwversion=[値] [Value]は、ファームウェアのバージョンです。

## モデル番号コマンド

Get command	回答
get modelnum	modelnum=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• sbid-mx055-v4</li> <li>• sbid-mx065-v4</li> <li>• sbid-mx075-v4</li> <li>• sbid-mx086-v4</li> <li>• sbid-mx055-v3</li> <li>• sbid-mx065-v3</li> <li>• sbid-mx075-v3</li> <li>• sbid-mx086-v3</li> <li>• sbid-mx055-v2</li> <li>• sbid-mx065-v2</li> <li>• sbid-mx075-v2</li> <li>• sbid-mx086-v2</li> </ul>

## シリアル番号のコマンド

Get command	回答
get serialnum	serialnum=[値] [Value]は、シリアル番号です。

## パーツ番号のコマンド

Get command	回答
get partnum	partnum=[値] [Value]は、改訂を含むパーツ番号です。

## 非同期メッセージ

コンビニエンスパネル、フロントコントロールパネル、設定アプリ、またはリモコンを使用してRS-232で制御できるディスプレイの設定を変更すると、ディスプレイは非同期メッセージを送信します。ディスプレイの電源状態が変わるときも、ディスプレイは非同期メッセージを送信します。非同期メッセージは、メッセージの前にシャープ記号 (#) で識別され、コマンドプロンプト (>) が続くことはありません。

変更	非同期メッセージ
ディスプレイの電源状態	<p>#powerstate=[値] [Value]は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• ready</li> <li>• standby</li> <li>• powersave</li> <li>• updateon</li> <li>• updateready</li> </ul>
入力の選択	<p>#input=[値] [Value]は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• hdmi1</li> <li>• hdmi2</li> <li>• hdmi3</li> <li>• vga1</li> <li>• ops1</li> <li>• android</li> </ul>
輝度	<p>#brightness=[値] [Value]は5～100の数字です。</p>
フレームの一時停止	<p>#videofreeze=[値] [Value]は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>
スクリーンシールド	<p>#screenshade=[値] [Value]は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>
音量の増減	<p>#volume=[値] [Value]は、0～100の数字です。</p>
音量のミュート	<p>#mute=[値] [Value]は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>

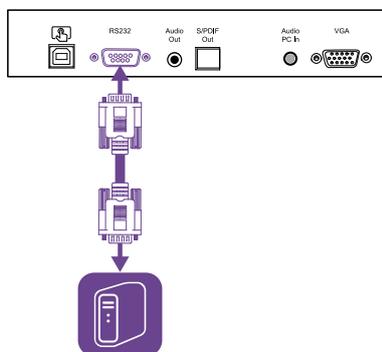
# 付録 E RS-232を使用 SMART Board MXシリーズモデルの管理

シリアルインターフェース設定を構成します。.....	115
通信体制 .....	115
電源状態 .....	118
コマンド .....	119

MX

コンピュータのコントロールシステムまたはターミナルエミュレーションプログラムをディスプレイのルームコントロール入力に接続し、ビデオ入力の選択、電源やスリープ状態の変更、現在の入力ソース、コントラスト、電源状態など、ディスプレイの現在の設定に関する情報をリモートで取得することができます。

制御システムまたはコンピュータのシリアルポートからRS-232ケーブルをディスプレイ底面のRS-232コネクタに接続します。



## ❗ 重要事項

標準のRS-232ケーブルのみを使用してください。ヌルモデムケーブルを使用しないでください。ヌルモデムケーブルは通常、両端が同じ形状をしています。

## シリアルインターフェイス設定を構成します。

ディスプレイにコマンドを送信する前に、制御システムまたはコンピュータのシリアルインターフェイスを設定する。

### シリアルインターフェイスの設定を行うには

1. ディスプレイをONにします。
2. 制御システムまたはコンピュータの電源を入れ、シリアルデータ通信の設定にアクセスします。
3. コンピュータでターミナルエミュレーションプログラムを使用する場合は、ローカルエコーを有効にします。
4. 次の値を使用してシリアルインターフェイスを設定し、ENTERを押します。

ボーレート	19200
データ長	8
パリティビット	なし
ストップビット	1

制御システムまたはターミナルエミュレーションプログラムからコマンド・プロンプト(>)を受信すると、ディスプレイはコマンドを受け入れることができます。コマンドプロンプトが受信できない場合は、キャリッジリターン文字(0x0d)をディスプレイに送信します(コンピュータでターミナルエミュレーションプログラムを使用している場合は、キーボードの入力を押してください)。

#### 注記

制御システムまたはターミナルエミュレーションプログラムでメッセージを受信しないか、またはエラーメッセージを受信する場合、シリアル・インターフェイスが正しく設定されていません。手順3および4を繰り返してください。

## 通信体制

通信は、コマンドの引数、影響を受けるプロパティ、演算子記号、適用する値、終端キャリッジリターン文字(0x0d)で構成されます。

### ❗ 重要事項

ターミナルエミュレーションプログラムに手動でコマンドを入力する場合、コマンドはキャリッジリターン文字(0x0d)のみで終了する必要があります。コマンドをキャリッジリターン文字(0x0d)とラインフィード(0x0a)の両方で終了させた場合、コマンドが処理されず、次のコマンドを受信する準備ができたことを示すコマンドプロンプトを受信できない場合があります。

**注記**

- ディスプレイが低電力状態(ソフトオフ)のとき、RS-232コマンドに 응답しません。ディスプレイが低電力状態になるのを防ぐため、省電力モードを無効にします。101 ページ省電力モードを参照してください。
- 初めてディスプレイの電源を入れたとき、RS-232コネクタは制御モードではなく特別な診断モードで動作し、ディスプレイは制御コマンドに 응답しません。また、接続された制御システムやターミナルエミュレーションプログラムが予期せぬデータ文字を受信することがあります。

接続された制御システムが予期せぬデータ文字を無視し、コマンドプロンプト(>)を受信した後にはのみコマンドを送信するようにプログラムしてください。

省電力モードを無効にしていない場合、ディスプレイを起動するたびに予期せぬ文字が表示されません。

**正解です**

```
>set input=HDMI1
```

**誤っています**

```
>set HDMI1
```

ルームコントロールシステムでディスプレイの情報を取得したり、ディスプレイの設定を変更したりするには、コマンドプロンプト(>)を受信してからコマンドを送信し、ディスプレイからの 응답を待ってから次のコマンドを送信してください。

**正解です**

```
>get volume
volume=55
>
```

ルームコントロールシステムが認識しないコマンドを入力すると、無効なコマンドのレスポンスが応答します。

この例では、音量コマンドに余分なスペースが含まれています。

**誤っています**

```
>set vol ume=65
invalid cmd=set vol ume=65
>
```

**注記**

- コマンドはASCIIで入力してください。
- コマンドは、大文字小文字を区別しません。

- ターミナルエミュレーションプログラムに手動でコマンドを入力する場合、[入力]を押してキャリッジ・リターン(0x0d)を送り、コマンドを終了させる前に、各項目をよく確認するようにしてください。
- 応答が返され次のコマンドプロンプトが表示されるまで、別のコマンドを送信しないでください。

### 現在の設定値を確認するには

getコマンドを使用します。

この例では、ディスプレイの現在の音量設定を取得する方法を説明します。

```
>get volume
volume=55
>
```

### 設定に値を割り当てるには

setコマンドを使用します。

この例では、ボリュームを65に設定します。

```
>set volume=65
volume=65
>
```

### 設定の値を増減するには

setコマンドを使用して値を上下させ、希望の値にします。

この例では、ボリュームを5上げます。

```
>set volume+5
volume=70
>
```

この例では、ボリュームを15下げます。

```
>set volume-15
volume=55
>
```

## 電源状態

ディスプレイには以下の電源状態があります。

電源状態	説明
オン	ディスプレイは通常の動作モードです。
準備完了	画面は消灯ですが、次が場合ディスプレイはオンになります： <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザーがフロントコントロールパネルの電源 ボタン  を押す。</li> <li>• ユーザーがリモコンの電源 ボタンを押す。</li> <li>• set powerstate=onコマンドを送信する。</li> </ul> <p><b>ヒント</b></p> <p>set powerstateコマンドが「無効なコマンド」というメッセージを返す場合は、演算子記号 (=) の周囲にスペースを追加します。</p>
SOFT OFF( 低電力状態)	画面が低電力状態(ソフトオフ)になっており、RS-232コマンドに回答しない。ディスプレイが低電力状態になるのを防ぐため、省電力モードを無効にします。101 ページ省電力モードを参照してください。 ディスプレイが点灯するとき： <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザーがフロントコントロールパネルの電源 ボタン  を押す。</li> <li>• ユーザーがリモコンの電源 ボタンを押す。</li> </ul>
UPDATEON	ディスプレイでファームウェアを更新しています。ディスプレイをOFFにしないでください。
UPDATEREADY	画面消灯中にディスプレイがファームウェアを更新しています。ディスプレイをOFFにしないでください。

get powerstate および set powerstate を除き、ディスプレイ電源がON状態になっている場合にのみコマンドが利用可能です。

# コマンド

Get command	Set command	回答
get powerstate	set powerstate[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• = on</li> <li>• = ready</li> </ul> <b>注記</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コマンドが「無効なコマンドです」というメッセージを返す場合は、演算子記号(=)の周りにスペースを入れてください。</li> <li>• 画面が低電力状態のときは、RS-232コマンドに一切応答しません。ディスプレイが低電力状態になるのを防ぐため、省電力モードを無効にします。101 ページ省電力モードを参照してください。</li> <li>• ディスプレイがUPDATEONまたはUPDATEREADYの状態にある場合、コマンドを受信した後の電源の状態を変更する場合があります。</li> </ul>	powerstate=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• ready</li> <li>• updateon</li> <li>• updateready</li> </ul>
get input	set input[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =OPS</li> <li>• =OPSCC</li> <li>• =HDMI1</li> <li>• =HDMI2</li> <li>• =HDMI3</li> <li>• =VGA</li> </ul>	input=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =OPS</li> <li>• =OPSCC</li> <li>• =HDMI1</li> <li>• =HDMI2</li> <li>• =HDMI3</li> <li>• =VGA</li> <li>• =ANDROID</li> </ul> <b>注記</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• =OPSCCは、AM50 iQ機器とコンピュータカードをインストールした場合のみ利用可能です。</li> <li>• =ANDROIDはディスプレイの設定です。</li> </ul>
get brightness	set brightness[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• +[Value]</li> <li>• -[Value]</li> <li>• =[5-100]</li> </ul>	brightness=[Value] [Value]は5 ~ 100の数字です。 <b>注記</b> オートブライテネスを有効にすると、手動で設定した明るさの値より優先されます。

Get command	Set command	回答
get volume	set volume[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• +[Value]</li> <li>• -[Value]</li> <li>• =[0-100]</li> </ul>	volume=[Value] [Value]は、0~100の数字です。
get mute	set mute[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	mute=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>
get fwversion	N/A	fwversion=[Value] [Value]は、ファームウェアのバージョンです。
get serialnum	N/A	serialnum=[Value] [値]はディスプレイのシリアル番号です。  <b>注記</b> 複数のディスプレイが接続されている場合、応答には、カンマで区切ったすべてのディスプレイのシリアル番号が含まれています。
get partnum	N/A	partnum=[Value] [Value]は、改訂を含むパーツ番号です。
get videofreeze  <b>注記</b> このコマンドは、SMART Board MXのファームウェア1.8.7以降でのみ使用可能です。	set videofreeze=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul> <b>注記</b> このコマンドは、SMART Board MXのファームウェア1.8.7以降でのみ使用可能です。	videofreeze=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul> <b>注記</b> このコマンドは、SMART Board MXのファームウェア1.8.7以降でのみ使用可能です。

# 付録 F SMART Remote Management にディスプレイを登録する

SMART Board MXまたはMX Proには、組織のSMART Remote Managementアカウントにディスプレイを登録できる機能が組み込まれています。これらのディスプレイのいずれかを登録すると、SMART Remote Managementを使用して、次のようなディスプレイの機能や設定を集中管理できます。

- ブロックリストおよび許可リスト
- Wi-Fi
- 壁紙
- 証明書
- ロックスクリーン
- 利用可能なアプリ

ディスプレイを登録する方法については、「[SMART Boardインタラクティブディスプレイの登録](#)」を参照してください。

# 証明書およびコンプライアンス

## 米連邦通信委員会の干渉に関する声明

### FCC

#### サプライヤーの適合宣言書

#### 47 CFR § 2.1077 コンプライアンス情報

ユニーク識別子: IDX55-2、IDX55-3、IDX55-4、IDX65-1、IDX65-2、IDX65-3、IDX65-4、IDX75-1、IDX75-2、IDX75-3、IDX75-4、IDX86-1、IDX86-2、IDX86-3、IDX86-4

#### 責任者-米国連絡先

SMART Technologies Inc.

2401 4th Ave., 3rd Floor

Seattle, WA 98121

[compliance@smarttech.com](mailto:compliance@smarttech.com)

本デバイスは、FCC規則第15章に準拠しています。操作は、次の2つの条件が適用されます。

1. 本デバイスが有害な干渉を引き起こさない場合があり、そして
2. 本デバイスは望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要があります。

#### 注記

この機器は、検査を行い、FCC規則第15章で定められたA分類のデジタル機器の規制に準拠することが確かめられています。これらの規制は、製品を商用環境で使用する場合の有害な混信に対し妥当な保護機能を提供することを目的としています。本装置は、無線周波数を生成・使用・発信するもので、指定の方法に従わずに設置・使用すると、無線通信に関し有害な混信を引き起こす場合があります。本装置を住宅地で使用する場合、有害な混信を引き起こすことがあります。そのような場合、混信を防止するため、ユーザー様のご負担による改修等の対策が必要になります。

#### ⚠️ 注意事項

コンプライアンス担当責任者による明確な承認のあらゆる変更または修正が本装置を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

#### 制限

5.15-5.25GHz 帯域での使用は屋内使用のみに制限されています。

米国における本製品のIEEE 802.11bまたは802.11gでの使用は、チャンネル1〜11に制限されたファームウェアです。

#### ⚠️ 注意事項

- i. 5150 ~ 5250MHzの帯域用のデバイスは、同一チャンネルを共有する衛生システムへの有害な干渉を低減するため、屋内使用限定とします。
- ii. 5250-5350MHzおよび5470-5725MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得はe.i.r.p.制限に準拠するものとし、そして

iii. 5725-5825MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得は必要に応じてポイントツーポイントとポイントツーポイント以外の操作に指定されるe.i.r.p.制限に準拠するものとし、そして

iv. ユーザーは、高出力レーダーが、5250-5350MHzおよび5650-5850MHz帯域のプライマリユーザーとして(つまり、優先ユーザー)割り当てられること、さらにこれらのレーダーがLE-LANデバイスへの干渉および/または損傷を引き起こす可能性がある事も警告されるものとします。

#### 放射線被曝ステートメント

本装置は、ISEDの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は本デバイスのアンテナとすべての近くの人との間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

## イノベーション、科学・経済開発省のカナダにおける声明

本デバイスは、イノベーション、科学および経済開発のカナダの規則RSS-247に準拠しています。操作には、次の2つの条件が適用されます。

1. 本デバイスが有害な干渉を引き起こさない場合があり、そして
2. 本デバイスは望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要があります。

#### 放射線被曝ステートメント

本装置は、ISEDの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は本デバイスのアンテナとすべての近くの人との間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

## EU適合宣言

これにより、スマートテクノロジーズULCIは、無線機器タイプのインタラクティブディスプレイモデルIDX55-2、IDX55-3、IDX55-4、IDX65-1、IDX65-2、IDX65-3、IDX65-4、IDX75-1、IDX75-2、IDX75-3、IDX75-4、IDX86-1、IDX86-2、IDX86-3、IDX86-4、およびOPS AM40、AM50、PCM8、PCM11が指令2014/53 / EUIに準拠していることを宣言します。

#### ⚠️ 警告

住宅環境でこの機器を動作させると電波干渉を引き起こす可能性があります。

EU適合宣言の完全なテキストは次のインターネットアドレスでご利用可能です: [smarttech.com/compliance](http://smarttech.com/compliance)

EUの周波数帯域と最大送信電力は次のとおりです。

## 証明書およびコンプライアンス

送信帯域(MHz)	最大送信電力
<b>IDX55-2, IDX55-3, IDX65-1, IDX65-2, IDX65-3, IDX75-1, IDX75-2, IDX75-3, IDX86-1, IDX86-2, IDX86-3</b>	
2402-2483.5	19dBm (EIRP)
5150-5350	23dBm (EIRP)
5470-5350	23dBm (EIRP)
<b>IDX55-4, IDX65-4, IDX65-4, IDX86-4</b>	
13.56	0.0007μW (ERP)
2402-2483.5	20dBm (EIRP)
5150-5350	22dBm (EIRP)
5470-5725	20dBm (EIRP)
5725-5875	14dBm (EIRP)

### 制限事項:

AT/BE/BG/CZ/DK/EE/FR/DE/IS/IE/IT/EL/ES/CY/LV/LI/LT/LU/HU/MTNL/NO/PL/PT/RO/SI/SK/TR/FI/SE/CH/UK/HR-5150MHz-5350MHz は室内利用限定です。

### ⚠ 注意事項: 無線周波数の被曝

本装置は、EUの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は人体と放射体の間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。

## ハードウェア環境コンプライアンス

SMART Technologiesは、安全かつ環境にやさしい方法で電子機器の製造、販売、廃棄を実現するために、グローバルな取り組みを支持しています。

### 電気および電子機器・電池の廃棄(WEEEおよび電池指令)

電気・電子機器や電池には、環境や人間の健康に有害なおそれがある物質を含みます。車輪付きゴミ箱にバツ印が表示されている機器は、通常のゴミとしてではなく、正しいリサイクル方法に沿って廃棄してください。詳細については [smarttech.com/compliance](http://smarttech.com/compliance) を参照してください。



### バッテリー

リモコンはアルカリ電池を使用しています。電池は正しくリサイクルまたは廃棄してください。

**SMART Technologies**

[smarttech.com/support](https://smarttech.com/support)

[smarttech.com/contactsupport](https://smarttech.com/contactsupport)

[smarttech.com/ja/kb/171555](https://smarttech.com/ja/kb/171555)